令和2年度

江東区長期計画区民アンケート調査

報告書

令和3年3月



目次

Ι.	調査の概要	1
Π.	サンプル(調査回答者)特性	4
Ш.	江東区長期計画における成果指標	8
IV.	調査結果	. 21
	【みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現】	. 21
	【地球温暖化対策と環境保全】	. 23
	【みんなで取り組む子育て家庭への支援】	. 26
	【多様なニーズに応じた教育環境の充実】	. 32
	【こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり】	. 34
	【次代を担う青少年の健全育成の推進】	. 36
	【魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成】	. 38
	【人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化】	. 42
	【多様性を認め合う(ダイバーシティ)社会の実現】	. 46
	【生涯にわたり学習できる環境の充実】	. 53
	【スポーツを楽しめる環境の充実】	. 57
	【文化・歴史の継承と観光振興】	. 59
	【切れ目のない支援による母子保健の充実】	. 62
	【健康づくりの推進と保健・医療体制の充実】	. 63
	【感染症対策と生活衛生の確保】	. 70
	【高齢者支援と活躍の推進】	. 73
	【障害者支援と共生社会の実現】	. 79
	【地域福祉と生活支援の充実】	. 81
	【計画的なまちづくりの推進】	. 87
	【良好な住宅の形成と住環境の向上】	. 93
	【便利で安全な道路・交通ネットワークの整備】	. 95
	【災害に強い都市の形成】	. 97
	【地域防災力の強化】	
	【犯罪のないまちづくり】	104
貨	資料:調査票の見本	106

I. 調査の概要

・ 調査の目的

本調査は令和2年度から 11 年度までを計画期間とする「江東区長期計画」において、各施策に 設定する施策実現に関する指標のうち、区民の意識や生活実態に基づくものについて、その現状値 を把握することを目的として実施した。

・ 調査の方法

- ① 調査対象 区内居住の18歳以上の人(令和3年1月1日時点での満年齢)
- ② 対象者数 3,000人
- ③ 抽出方法 住民基本台帳(令和3年1月1日現在)から無作為抽出
- ④ 調査方法 郵送配布、郵送回収
- ⑤ 調査期間 令和3年1月15日送付、2月5日締切

調查項目

- ・ みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現
- 地球温暖化対策と環境保全
- ・ みんなで取り組む子育て家庭への支援
- 多様なニーズに応じた教育環境の充実
- ・ こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり
- 次代を担う青少年の健全育成の推進
- 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成
- 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化
- 多様性を認め合う(ダイバーシティ)社会の実現
- ・ 生涯にわたり学習できる環境の充実
- ・ スポーツを楽しめる環境の充実
- ・ 文化・歴史の継承と観光振興
- ・ 切れ目のない支援による母子保健の充実
- ・ 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実
- 感染症対策と生活衛生の確保
- 高齢者支援と活躍の推進
- 障害者支援と共生社会の実現
- ・ 地域福祉と生活支援の充実
- ・ 計画的なまちづくりの推進
- 良好な住宅の形成と住環境の向上
- 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備
- 災害に強い都市の形成
- ・ 地域防災力の強化
- ・ 犯罪のないまちづくり

回収結果

- ① 標本数 3,000票
- ② 有効回答数 1,531 票
- ③ 有効回収率 51.0%

報告書の見方

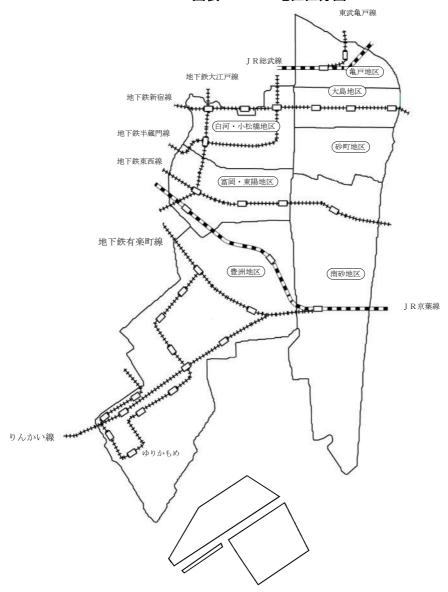
① 集計について

比率は全て百分率(%)で表し、小数点第二位以下を四捨五入して算出している。このため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。

② 設問ごとの集計の基数

全員が回答すべき設問では、1,531 となるが、回答者が限定される場合は、この数を下回る。なお、無回答・無効回答は基数から除いて算出している。

図表 I - 1 地区区分図



図表 I - 2 地区 ■ 町丁目対応表

地	区	該 当 町 丁 目
白	河	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋
小 松	橋	千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利
富	岡	佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島
東	陽	木場、東陽、南砂2丁目(1番1号~5号・5番~7番)、新砂1丁目1番、海の森
豊	洲	塩浜、枝川、豊洲、東雲、有明、辰巳、潮見、青海
亀	戸	亀戸
大	島	大島
砂	町	北砂、南砂1丁目・5丁目、南砂2丁目(24番~34番)、 東砂1丁目~5丁目
南	砂	東砂6丁目~8丁目、南砂2丁目(1番1号~5号・5番~7番・24番~34番を除く)・3・4・6・7丁目、新砂1丁目(1番を除く)・2・3丁目、新木場、夢の島、若洲

・ 標本誤差(サンプル誤差)はおよそ下表のとおりである。標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基数 (n)、②回答の比率 (p) によって異なる。

標本誤差=
$$\pm 2$$
 / $\frac{N-n}{N-1}$ × $\frac{p(100-p)}{n}$ N=母集団 n=回収数 p=回答率

図表 I - 3 誤差率

回答比率 (p) n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
1, 531	1.53%	2.04%	2. 34%	2.50%	2.55%
1, 400	1.60%	2. 13%	2. 45%	2.61%	2.67%
1, 200	1.73%	2.31%	2.64%	2.82%	2.88%
1,000	1.90%	2.53%	2.89%	3.09%	3. 16%
500	2.68%	3. 58%	4. 10%	4. 38%	4. 47%
300	3.46%	4.62%	5. 29%	5.65%	5. 77%
100	6.00%	8.00%	9. 16%	9.80%	10.00%

※母集団は令和3年1月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上(人口:447,482人)

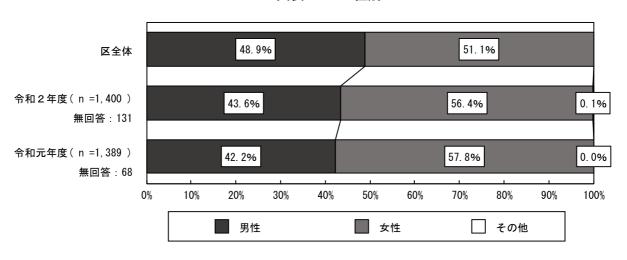
上表は、各設問における、各選択肢の回答率に応じた標本誤差の大きさを表している。本調査の場合は、回収数が 1,531 サンプルであったため、ある設問 Aの選択肢 a の回答率が 50%であった場合 (誤差が最も大きくなる場合)でも、その結果の誤差は $\pm 2.55\%$ 、すなわち、母集団 (全区民)の回答率は 47.45% $\sim 52.55\%$ の範囲内に収まっていることを示している。

Ⅱ. サンプル (調査回答者) 特性

F1 性別

・ 区全体では男性、女性は概ね同じ割合であるが、回答者の性別では女性の割合が男性より 12.8 ポイント高くなっている。

図表Ⅱ-1 性別

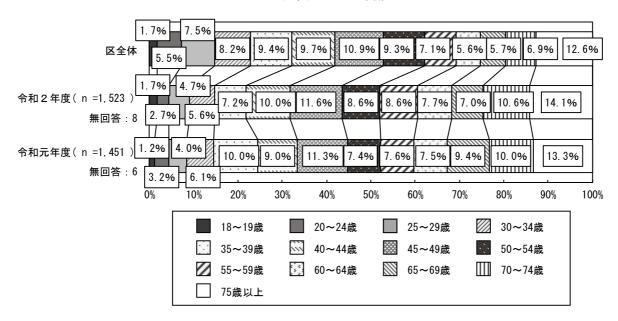


※区全体は令和3年1月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上(人口:447,482人)

F2 年齢

・ 区全体の割合に対して、75 歳以上が14.1%と最も高く、70 歳以上の回答者は全体の24.7%となっている。年代別で見ると、20 歳代は7.4%、30 歳代は12.8%、40 歳代は21.6%、50 歳代は17.2%、60 歳代は14.7%となっている。

図表Ⅱ-2 年齢



※区全体は令和3年1月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上(人口:447,482人)

F3 職業

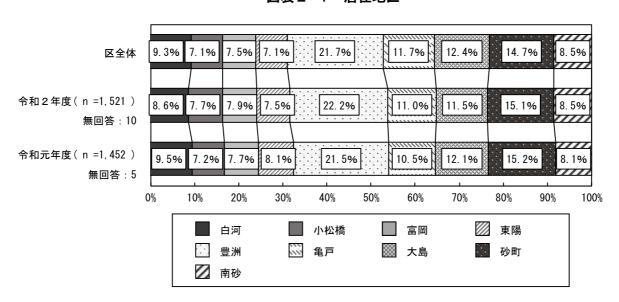
・ 職業別では会社員・団体職員が 40.7%と最も高く、次いで無職 (専業主婦・主夫含む) が 31.3% となっている。

4. 8% 🙀 3. 2% 令和2年度(n=1,500) 12.1% 40.7% 2.8% 31.3% 2.8% 2.3% 無回答:31 2.4% 令和元年度(n=1,431) 38.5% 14.5% 2.6% 30.6% 3.6% 無回答:26 4. 2% 3.6% 0% 10% 20% 30% 60% 70% 80% 90% 100% 40% 50% 会社員・団体職員 商工自営業 公務員 会社役員・団体役員 パート・アルバイト ※ 学生 ── 無職 (専業主婦・主夫含む) その他

図表Ⅱ-3 職業

F4 居住地区

・ 区全体の割合に対して、豊洲地区が22.2%と最も高く、次いで砂町地区が15.1%となっている。



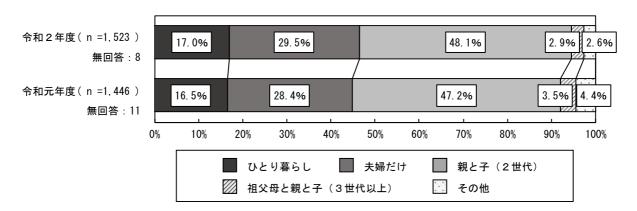
図表Ⅱ-4 居住地区

※区全体は令和3年1月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上(人口:447,482人)

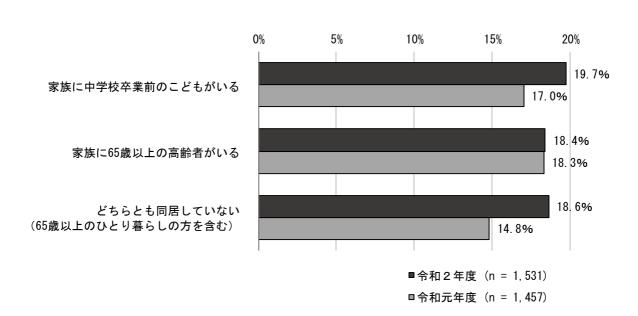
F5 世帯の構成

・ 世帯の構成別では親と子(2世代)が48.1%と最も高く、次いで夫婦だけが29.5%となっている。 また、家族に中学校卒業前のこどもがいる回答者が19.7%、家族に65歳以上の高齢者がいる回答者が18.4%となっている。

図表 II-5 世帯の構成



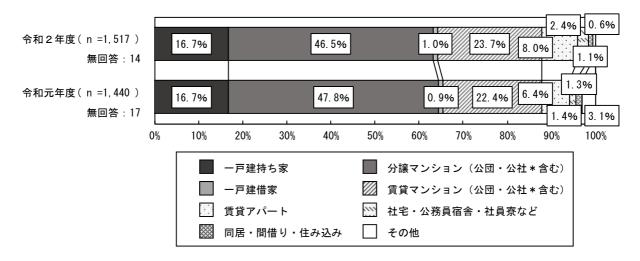
図表Ⅱ-6 世帯に中学校卒業前のこども及び65歳以上の高齢者のいる回答者



F6 住宅の形態

・ 住宅の形態別では分譲マンション (公団・公社含む) の割合が 46.5%で最も高く、次いで賃貸マンション (公団・公社含む) が 23.7%となっている。

図表Ⅱ-7 住宅の形態



^{*}公団とは「UR都市機構(旧日本住宅公団、住宅・都市整備公団、都市基盤整備公団)」、公社とは「東京都住宅供給公社」を指す。

Ⅲ. 江東区長期計画における成果指標

- ・ 本アンケートの結果を利用した長期計画の各施策の指標について整理した。なお、単位は全て「%」である。
- ・ 全ての集計は小数第二位を四捨五入して算出した。そのため、2つ以上の項目を合計した割合は、 各集計値を合計した数値とは異なる場合がある。
- ・ 割合については、小数第二位を四捨五入して算出した。そのため、合計が 100.0%にならない場合 がある。
- ・ 成果指標の数値は母集団から無回答を除いて算出した。
- ・ 問 3-1、4-1、1 5-1、1 9-1、2 3 ②③、2 6-1、2 6-2、2 9-1、2 9-2 は、指標数値の取得とは直接関係がないため、本項では記載しない。これらの設問の結果は、「IV. 調査結果」を参照のこと。

■問1 みどり0	D中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現:施策1 (詳細はP21)
指標名:	水辺と緑に満足している区民の割合
算出方法:	「1.満足している」及び「2.どちらかといえば満足している」の割合を算出
指標値:	70. 8%

図表Ⅲ-1 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現:施策1 集計結果

n=1, 521	満足している	どちらかとい えば満足して いる	どちらともい えない	どちらかとい えば不満であ る	不満である	わからない
回答数	384	693	247	100	30	67
割合	25. 2	45. 6	16. 2	6. 6	2. 0	4. 4

無回答:10

■問2 地球温暖	爰化対策と環境保全:施策2 (詳細はP23)
指標名:	環境に配慮した行動に取り組む区民の割合
算出方法:	「12. 特に何もしていない」以外の選択肢を5個以上選んだ区民の割合を算出
指標値:	68. 4%

図表Ⅲ-2 地球温暖化対策と環境保全:施策2 集計結果

n=1, 52	3 1個選択	2個選択	3個選択	4個選択	5個選択	6個選択	7個選択	8個選択	9個選択	10個選択	11個選択	特に何もし ていない
回答数	32	57	170	203	252	259	195	165	110	57	7	21
割台	2. 1	3.7	11.1	13. 3	16. 5	17. 0	12. 8	10.8	7. 2	3. 7	0. 5	1. 4

■問3 みんなで取り組む子育て家庭への支援:施策5 (詳細はP26) 指標名: 地域に見守られて子育てしていると感じる保護者の割合 算出方法: 「1. そう感じる」及び「2. どちらかといえばそう感じる」の割合を算出 指標値: 56.8%

図表Ⅲ-3 みんなで取り組む子育て家庭への支援:施策5 集計結果

n=345	そう感じる	どちらかとい えばそう感じ る	どちらかとい えばそう感じ ない	そう感じない	わからない
回答数	29	167	56	45	48
割合	8. 4	48. 4	16. 2	13. 0	13. 9

■問4 みんなで	■問4 みんなで取り組む子育て家庭への支援:施策5 (詳細はP28)							
指標名:	必要な子育て情報が入手できる保護者の割合							
算出方法:	「1.そう思う」及び「2.どちらかといえばそう思う」の割合を算出							
指標値:	66. 8%							

図表Ⅲ-4 みんなで取り組む子育て家庭への支援:施策5 集計結果

n=334	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	41	182	43	27	41
割合	12. 3	54. 5	12. 9	8. 1	12. 3

■問5 みんなで	で取り組む子育て家庭への支援:施策5 (詳細はP30)
指標名:	しつけであってもこどもに体罰を与えてはならないと理解している区民の割合
算出方法:	「1. しつけであっても体罰はすべきでない」の割合を算出
指標値:	59. 5%

図表Ⅲ-5 みんなで取り組む子育て家庭への支援:施策5 集計結果

n=1, 137	しつけであっ ても体罰はす べきではない	しつけのため なら、ある程 度の体罰もや むを得ない	しつけのため なら、体罰は 必要である	わからない
回答数	677	360	17	83
割合	59. 5	31. 7	1. 5	7. 3

■問6 多様なニーズに応じた教育環境の充実:施策7 (詳細はP32) 指標名: 一人一人を大切にした教育が行われていると思う区民の割合 算出方法: 「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出 指標値: 19.7%

図表Ⅲ-6 多様なニーズに応じた教育環境の充実:施策7 集計結果

n=1, 352	そう思う		どちらともい えない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	56	210	261	81	53	691
割合	4. 1	15. 5	19. 3	6. 0	3. 9	51. 1

無回答: 179

■問っ こどもだ	が安全に過ごせる居場所・環境づくり:施策8 (詳細はP34)
指標名:	行政・地域の活動により、こどもの安全・安心が確保されていると思う区民の割合
算出方法:	「1.そう思う」及び「2.どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値:	47. 7%

図表Ⅲ-7 こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり:施策8 集計結果

n=1, 369	そう思う		どちらともい えない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	209	444	199	76	48	393
割合	15. 3	32. 4	14. 5	5. 6	3. 5	28. 7

無回答:162

■問8 次代を担	旦う青少年の健全育成の推進:施策 9 (詳細はP36)
指標名:	青少年が健全に育つことができる環境が整っていると思う区民の割合
算出方法:	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値:	18.0%

図表Ⅲ-8 次代を担う青少年の健全育成の推進:施策9 集計結果

n=1, 379	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともい えない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	45	203	260	83	54	734
割合	3. 3	14. 7	18. 9	6. 0	3. 9	53. 2

■問9 魅力的で	で活力ある区内産業・商店街の形成:施策10 (詳細はP38)
指標名:	区内の企業やお店が元気に活動していると思う区民の割合
算出方法:	「1.そう思う」及び「2.どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値:	42. 3%

図表Ⅲ-9 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成:施策10 集計結果

n=1, 500	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともい えない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	112	523	345	219	160	141
割合	7. 5	34. 9	23. 0	14. 6	10. 7	9. 4

無回答:31

■問10 魅力的	りで活力ある区内産業・商店街の形成:施策10 (詳細はP40)
指標名	魅力ある商店街やお店が区内にあると思う区民の割合
算出方法	: 「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値	: 60.2%

図表Ⅲ-10 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成:施策10 集計結果

n=1, 499	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともい えない	どちらかとい えばそ う 思わ ない	そう思わない
回答数	352	551	299	166	131
割合	23. 5	36. 8	19. 9	11. 1	8. 7

無回答:32

■問11 人・地均	■問11 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化:施策11 (詳細はP42)					
指標名:	この1年間に地域活動に参加した区民の割合					
算出方法:	「1.よく参加している」及び「2.ときどき参加している」の割合を算出					
指標値:	13. 4%					

図表Ⅲ-11 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化:施策 11 集計結果

n=1, 506	よく参加して いる	ときどき参加 している	ははてひて参	まったく参加 したことはな い
回答数	70	132	355	949
割合	4. 6	8. 8	23. 6	63. 0

■問12 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化:施策11 (詳細はP44) 指標名: 気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合 算出方法: 「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出 指標値: 35.8%

図表Ⅲ-12 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化:施策11 集計結果

n=1, 504	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともい えない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	164	375	226	122	119	498
割合	10. 9	24. 9	15. 0	8. 1	7. 9	33. 1

無回答:27

■問13 多様性を	を認め合う(ダイバーシティ)社会の実現:施策12 (詳細はP46)
指標名:	江東区は多様性を認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちであると思う区民の割合
算出方法:	「1.そう思う」及び「2.どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値:	41.8%

図表Ⅲ-13 多様性を認め合う(ダイバーシティ)社会の実現:施策12 集計結果

	n=1, 512	そう思う	どちらかとい えばそう思う		どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
Ī	回答数	125	507	311	96	68	405
	割合	8. 3	33. 5	20. 6	6. 3	4. 5	26. 8

無回答:19

■問14 多様性を	を認め合う(ダイバーシティ)社会の実現:施策12 (詳細はP48)
指標名:	仕事と生活の調和がとれた生き方を実現することが出来ていると答えた区民の割合
算出方法:	「1.そう思う」及び「2.どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値:	53. 3%

図表Ⅲ-14 多様性を認め合う (ダイバーシティ) 社会の実現:施策 12 集計結果

n=1, 493	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともい えない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	233	563	246	177	156	118
割合	15. 6	37. 7	16. 5	11. 9	10. 4	7. 9

■問15 多様性 a	を認め合う(ダイバーシティ)社会の実現:施策12 (詳細はP50)
指標名:	DV相談窓口を知っている区民の割合
算出方法:	「1.知っている」の割合を算出
指標値:	29. 2%

図表Ⅲ-15 多様性を認め合う (ダイバーシティ) 社会の実現:施策 12 集計結果

n=1, 463	知っている	知らない
回答数	427	1, 036
割合	29. 2	70. 8

無回答:68

■問16 生涯にネ	ったり学習できる環境の充実:施策13 (詳細はP53)
指標名:	趣味や学習などに取り組んでいる区民の割合
算出方法:	「1.よく参加している」及び「2.ときどき参加している」の割合を算出
指標値:	7. 4%

図表Ⅲ-16 生涯にわたり学習できる環境の充実:施策13 集計結果

n=1, 478	よく参加して いる	ときどき参加 している	参加したこと はあるが、今 はほとんど参 加していない	まったく参加 したことはな い
回答数	43	66	252	1, 117
割合	2. 9	4. 5	17. 1	75. 6

無回答:53

■問17 生涯にネ	ったり学習できる環境の充実:施策13 (詳細はP55)
指標名:	図書館が学びの場として役立っていると感じている区民の割合
算出方法:	「1.そう感じる」及び「2.どちらかといえばそう感じる」の割合を算出
指標値:	69. 9%

図表Ⅲ-17 生涯にわたり学習できる環境の充実:施策13 集計結果

n=1, 507	そう感じる	どちらかとい えば感じる	どちらかとい えば感じない	そう感じない	わからない
回答数	454	599	122	99	233
割合	30. 1	39. 7	8. 1	6. 6	15. 5

■問18 スポーツを楽しめる環境の充実:施策14 (詳細はP57) 指標名: 週1回以上スポーツ・運動を行う区民の割合 算出方法: 週1日以上を選んだ区民の割合を算出 指標値: 59.0%

図表Ⅲ-18 スポーツを楽しめる環境の充実:施策14 集計結果

n=1, 504	週1日	週2日	週3日以上週 6日以下	毎日	しない
回答数	305	198	254	130	617
割合	20. 3	13. 2	16. 9	8. 6	41.0

無回答:27

■問19 文化· B	歴史の継承と観光振興:施策15 (詳細はP59)
指標名:	江東区は魅力的な文化観光資源があると思う区民の割合
算出方法:	「1.そう思う」及び「2.どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値:	74. 0%

図表Ⅲ-19 文化・歴史の継承と観光振興:施策15 集計結果

n=1, 461	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	395	686	114	61	205
割合	27. 0	47. 0	7. 8	4. 2	14. 0

無回答:70

■問20 切れ目のない支援による母子保健の充実:施策16 (詳細はP62)					
指標名:	母子保健サービスが充実していると思う保護者の割合				
算出方法:	「1.そう思う」及び「2.どちらかといえばそう思う」の割合を算出				
指標値:	65. 4%				

図表Ⅲ-20 切れ目のない支援による母子保健の充実:施策16 集計結果

n=358			どちらともい えない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	73	161	49	20	11	44
割合	20. 4	45. 0	13. 7	5. 6	3. 1	12. 3

■問21 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実:施策17 (詳細はP63) 指標名: 自分は健康だと思う区民の割合 算出方法: 「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出 指標値: 67.0%

図表Ⅲ-21 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実:施策17 集計結果

n=1, 489	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともい えない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	397	601	235	131	116	9
割合	26. 7	40. 4	15. 8	8. 8	7. 8	0. 6

無回答: 42

■問22 健康づく	くりの推進と保健・医療体制の充実:施策17 (詳細はP65)
指標名:	この1年間でがん検診を受診した区民の割合
算出方法:	「5. がん検診は受けていない」と回答した区民を除く割合を算出 (n-「がん検診を受けていない」) /n
指標値:	50. 3%

図表Ⅲ-22 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実:施策17 集計結果

n=1, 466	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックな どのがん検診	その他	がん検診は受 けていない
回答数	303	251	166	73	728
割合	20. 7	17. 1	11. 3	5. 0	49. 7

無回答:65

■問23 健康づく	くりの推進と保健・医療体制の充実:施策17	(詳細はP67)
指標名:	かかりつけ医を持つ区民の割合	
算出方法:	「1.もっている」の割合を算出	
指標値:	61.8%	

図表Ⅲ-23 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実:施策17 集計結果

n=1, 496	もっている	もっていない
回答数	925	571
割合	61.8	38. 2

■問24 感染症	■問24 感染症対策と生活衛生の確保:施策18 (詳細はP70)						
指標名:	感染症予防のため「手洗い」「咳エチケット」を実施している区民の割合						
算出方法:	「手洗い」「咳エチケット」全てについて「行っている」と回答した区民の割合を算出						
指標値:	98. 5%						

図表Ⅲ-24 感染症対策と生活衛生の確保:施策18 集計結果

n=1, 498	全てを行って いる	それ以外
回答数	1, 475	23
割合	98. 5	1. 5

無回答:33

■問25 高齢者3	を援と活躍の推進:施策19 (詳細はP73)
指標名:	生きがいや幸せを感じている高齢者の割合
算出方法:	「1.そう思う」及び「2.どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値:	68. 4%

図表Ⅲ-25 高齢者支援と活躍の推進:施策19 集計結果

n=471	そう思う	どちらかとい えばそう思う		どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	127	195	93	16	28	12
割合	27. 0	41. 4	19. 7	3. 4	5. 9	2. 5

無回答:11

■問26 高齢者3	支援と活躍の推進:施策19 (詳細はP74)
指標名:	地域活動や就労をしている高齢者の割合
算出方法:	「1.就労をしている」及び「2.地域活動をしている」の割合を算出
指標値:	33.8%

図表Ⅲ-26 高齢者支援と活躍の推進:施策19 集計結果

n=464	就労をしてい る	地域活動をしている	就労も地域活 動もしている	何もしていな い
回答数	59	85	13	307
割合	12. 7	18. 3	2. 8	66. 2

■問27 高齢者支援と活躍の推進:施策19 (詳細はP77) 指標名: 地域包括支援センター(長寿サポートセンター)の活動内容を知っている区民の割合 算出方法: 「1. 内容を知っている」及び「2. ある程度の内容は知っている」の割合を算出 指標値: 23.4%

図表Ⅲ-27 高齢者支援と活躍の推進:施策19 集計結果

n=1, 426	内容を知っている	ある程度の内 容は知ってい る	内容は知らな いが、聞いた ことはある	知らない
回答数	115	218	286	807
割合	8. 1	15. 3	20. 1	56. 6

無回答:105

■問28 障害者支援と共生社会の実現:施策20 (詳細はP79)							
指標名:	障害者が社会参加しやすいまちだと思う区民の割合						
算出方法:	「1.そう思う」及び「2.どちらかといえばそう思う」の割合を算出						
指標値:	22. 5%						

図表Ⅲ-28 障害者支援と共生社会の実現:施策20 集計結果

n=1, 505		どちらかとい えばそう思う		どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	66	272	210	60	46	851
割合	4. 4	18. 1	14. 0	4. 0	3. 1	56. 5

無回答:26

■問29 地域福祉と生活支援の充実:施策21 (詳細はP81)						
指標名:	身近に生活の相談をすることができる人がいる区民の割合					
算出方法:	「1. いる」の割合を算出					
指標値:	75. 9%					

図表Ⅲ-29 地域福祉と生活支援の充実:施策21 集計結果

n=1, 507	いる	いない	どちらともい えない
回答数	1, 144	241	122
割合	75. 9	16. 0	8. 1

■問30 計画的なまちづくりの推進:施策22 (詳細はP87) 指標名: 地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思う区民の割合 算出方法: 「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出 指標値: 48.8%

図表Ⅲ-30 計画的なまちづくりの推進:施策22 集計結果

n=1, 513	そう思う	どちらかとい えばそう思う		どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	166	573	276	94	86	318
割合	11. 0	37. 9	18. 2	6. 2	5. 7	21. 0

無回答:18

■問31 計画的な	なまちづくりの推進:施策22 (詳細はP89)
指標名:	江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合
算出方法:	「1.そう思う」及び「2.どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値:	54. 7%

図表Ⅲ-31 計画的なまちづくりの推進:施策22 集計結果

n=1, 524	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともい えない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない
回答数	201	632	404	159	128
割合	13. 2	41. 5	26. 5	10. 4	8. 4

無回答:7

■問32 計画的な	■問32 計画的なまちづくりの推進:施策22 (詳細はP91)		
指標名:	ユニバーサルデザインの理念を理解している区民の割合		
算出方法:	「1.内容を知っている」の割合を算出		
指標値:	38. 6%		

図表Ⅲ-32 計画的なまちづくりの推進:施策22 集計結果

n=1, 520	内容を知っている	内容は知らな いが、聞いた ことがある	わからない
回答数	587	420	513
割合	38. 6	27. 6	33. 8

■問33 良好な信	主宅の形成と住環境の向上:施策23 (詳細はP93)
指標名:	住環境に満足している区民の割合
算出方法:	「1.満足している」及び「2.どちらかといえば満足している」の割合を算出
指標値:	76. 2%

図表Ⅲ-33 良好な住宅の形成と住環境の向上:施策 23 集計結果

n=1, 526	満足している	どちらかとい えば満足して いる	どちらともい えない	どちらかとい えば不満であ る	不満である
回答数	408	755	202	103	58
割合	26. 7	49. 5	13. 2	6. 7	3. 8

無回答:5

■問34 便利で3	安全な道路・交通ネットワークの整備:施策24 (詳細はP95)
指標名:	区内の移動環境に対する区民の満足度
算出方法:	「1.そう思う」及び「2.どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値:	60. 6%

図表Ⅲ-34 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備:施策 24 集計結果

	n=1, 525	そう思う	どちらかとい えばそう思う	とちらともい えかい	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
	回答数	330	594	191	199	177	34
I	割合	21. 6	39. 0	12. 5	13. 0	11. 6	2. 2

無回答:6

■問35 災害に引	蛍い都市の形成:施策25 (詳細はP97)
指標名:	災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合
算出方法:	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値:	31.4%

図表Ⅲ-35 災害に強い都市の形成:施策25 集計結果

n=1, 515	そう思う		どちらともい えない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	102	374	358	215	176	290
割合	6. 7	24. 7	23. 6	14. 2	11. 6	19. 1

■問36 災害に強い都市の形成:施策25 (詳細はP99) 指標名: 江東区洪水ハザードマップを見たことがあり、自宅周辺の状況を理解している区民の割合 算出方法: 「1. 見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合を算出 指標値: 62.0%

図表Ⅲ-36 災害に強い都市の形成:施策25 集計結果

n=1, 523	り、自宅周辺	見たことはあ るが、自宅周 辺の状況はわ からない	見たことはな い	あることも知 らない
回答数	944	430	119	30
割合	62. 0	28. 2	7. 8	2. 0

無回答:8

■問37 地域防災	災力の強化:施策26 (詳細はP101)
指標名:	家具などの転倒防止策を行っている区民の割合
算出方法:	「1.家具などの転倒防止対策」の割合を算出
指標値:	43. 3%

図表Ⅲ-37 地域防災力の強化:施策26 集計結果

n=1, 522	家具などの転 倒防止対策	1. を未選択
回答数	659	863
割合	43. 3	56. 7

無回答:9

■問38 犯罪の7	ないまちづくり:施策27 (詳細はP104)
指標名:	治安が良いと思う区民の割合
算出方法:	「1.そう思う」及び「2.どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値:	64. 1%

図表Ⅲ-38 犯罪のないまちづくり:施策27 集計結果

n=1, 517	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらともい えない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない
回答数	226	746	374	111	60
割合	14. 9	49. 2	24. 7	7. 3	4. 0

IV. 調査結果

- 各設問について、分析を行った。なお、分析にあたっては、成果指標同様に無回答は割合に含めない。また、各設問の無回答数は記載していない。
- ・ 全ての集計は小数第二位を四捨五入して算出しており、2つ以上の項目を合計した割合は、それぞれの四捨五入した数値を合計したものである。そのため、「Ⅲ. 江東区長期計画における成果指標」で表示されている指標値の合計値と数値が異なる場合がある。
- ・ 回答者が限定される設問は標本数が少なくなるため、単純集計のみとなっている。
- ・ 属性別の集計において塗りつぶしをしている項目は、その区分の上位2つまでの項目を示している。
- ・ 性年齢別分析は、「その他」が極少数であったため、「その他」を除く男性・女性別のみで実施している。

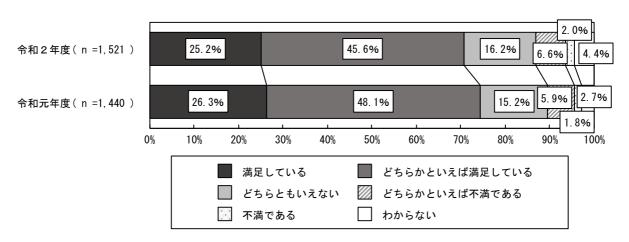
【みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現】

問1 あなたは、江東区内の水辺と緑に満足していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「どちらかといえば満足している」の割合が 45.6%で最も高く、次いで「満足している」(25.2%) となっている。
- ・ これらを合わせた『満足している(計)』の割合は70.8%となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、『満足している(計)』が3.6ポイント減少している。

図表Ⅳ-1 水辺と緑に対する満足度



① 地区別

・ 地区別では、『満足している(計)』の割合は、白河地区(72.5%)、小松橋地区(71.6%) 東陽 地区(80.7%)、豊洲地区(77.1%)、砂町地区(72.6%)で全体を上回っている。

	図表Ⅳ-2 地区別水辺と緑に対する満足度 (%)											
	n	満足している	どちらかといえ ば満足している		どちらかといえ ば不満である	不満である	わからない					
全体	1, 521	25. 2	45. 6	16. 2	6. 6	2. 0	4. 4					
白河	131	31.3	41. 2	12. 2	5. 3	3. 1	6. 9					
小松橋	116	25. 9	45. 7	12. 9	5. 2	4. 3	6.0					
富岡	120	27. 5	42. 5	19. 2	5. 0	3. 3	2. 5					
東陽	114	28. 9	51.8	11. 4	5. 3	0.0	2. 6					
豊洲	336	28. 0	49. 1	12. 8	6. 3	1.8	2. 1					
亀戸	167	16. 2	45. 5	20. 4	7.8	2. 4	7.8					
大島	173	24. 3	40. 5	21. 4	8. 1	1.7	4. 0					
砂町	226	24. 8	47. 8	17. 3	6. 2	0. 9	3. 1					
南砂	129	20. 2	41. 9	19. 4	8. 5	1.6	8. 5					
居住地区不詳	9	22. 2	33. 3	22. 2	22. 2	0.0	0.0					

② 性年齢別

- ・ 男女別にみると、『満足している(計)』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、『満足している(計)』の割合は、男性では20~34歳、45~59歳、75歳以上で 男性全体を上回っている。女性では30~39歳、45~54歳、75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-3 性年齢別水辺と緑に対する満足度

<男性> (%) どちらかといえ どちらともいえ どちらかといえ n 満足している 不満である わからない |ば満足している| ない ば不満である 43.6 608 17.9 全体 26. 5 6.4 1.8 14 35. 7 18~19歳 28. 6 14. 3 14.3 0.0 7. 1 20~24歳 13 61.5 7. 7 0.0 7. 7 0.0 23. 1 29 6.9 3.4 6.9 25~29歳 34. 5 37.9 10.3 30~34歳 28 57. 1 10.7 3.6 0.0 3.6 25. 0 35~39歳 48 47.9 14.6 8.3 6.3 2. 1 20.8 40~44歳 63 23.8 38. 1 22. 2 6.3 1.6 7.9 45~49歳 70 28. 6 48.6 14.3 4.3 0.0 4. 3 49 50~54歳 30.6 42.9 12. 2 8.2 2.0 4. 1 60 55~59歳 16. 7 56. 7 6. 7 11.7 6. 7 1.7 60~64歳 52 40.4 26. 9 5.8 7.7 19. 2 0.0 65~69歳 43 32. 6 30. 2 27. 9 7.0 0.0 2.3 70~74歳 58 25. 9 37.9 24. 1 10.3 0.0 1.7 75歳以上 80 35.0 41.3 22. 5 0.0 0.0 1.3 年齡不詳 1 0.0 0.0 100.0 0.0 0.0 0.0

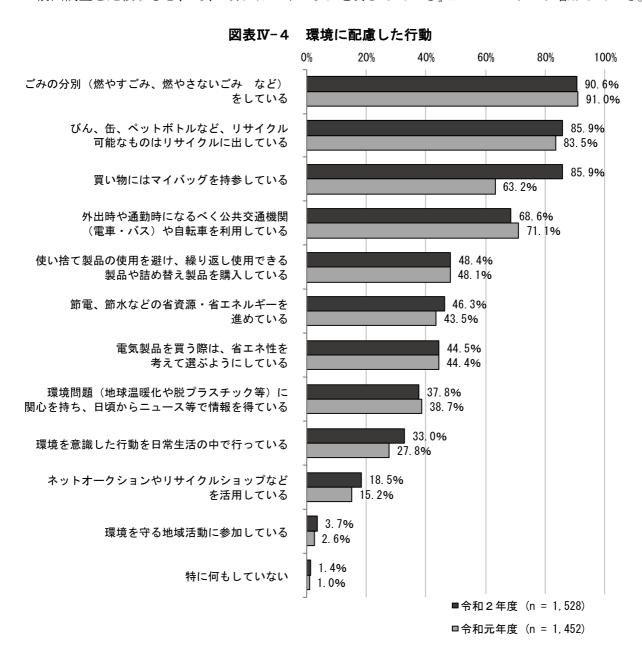
<女性>							(%)
	n	満足している	どちらかといえ ば満足している		どちらかといえ ば不満である	不満である	わからない
全体	782	23. 7	47. 8	15. 1	6.3	2. 2	5.0
18~19歳	12	25. 0	41. 7	8. 3	8. 3	0.0	16. 7
20~24歳	27	18. 5	44. 4	11. 1	11.1	3. 7	11.1
25~29歳	41	24. 4	36. 6	14. 6	4. 9	2. 4	17. 1
30~34歳	55	40. 0	40.0	10. 9	3.6	0.0	5. 5
35~39歳	58	32. 8	46. 6	12. 1	5. 2	1.7	1.7
40~44歳	84	15. 5	53. 6	20. 2	7. 1	1. 2	2. 4
45~49歳	103	24. 3	48. 5	15. 5	4. 9	0.0	6.8
50~54歳	74	20. 3	51. 4	13. 5	6.8	4. 1	4. 1
55~59歳	66	21. 2	48. 5	13. 6	9. 1	6. 1	1.5
60~64歳	56	17. 9	51.8	17. 9	5. 4	3. 6	3. 6
65~69歳	47	17. 0	51. 1	12. 8	10.6	4. 3	4. 3
70~74歳	67	23. 9	46. 3	20. 9	4. 5	0.0	4. 5
75歳以上	92	27. 2	47. 8	14. 1	5. 4	2. 2	3.3
年齢不詳	0	-	_	_	_	_	-

【地球温暖化対策と環境保全】

問2 あなたは、以下のような環境に配慮した行動に取り組んでいますか。あてはまるものを選び ○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体/経年比較>

- ・ 「ごみの分別 (燃やすごみ、燃やさないごみ など) をしている」が 90.6%で最も高く、次いで「びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している」「買い物にはマイバッグを持参している」(85.9%) となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「買い物にはマイバッグを持参している」が22.7 ポイント増加している。



① 地区別

・ 地区別では、ほとんどの地区で1位は「ごみの分別(燃やすごみ、燃やさないごみ など)をしている」となっており、砂町地区のみ「買い物にはマイバッグを持参している」が1位となっている。

図表Ⅳ-5 地区別環境に配慮した行動

(%)

													(%)
	n	環意たを生中行いをし動常ので	外や時る公通(車ス自をしる出通にベ共機電・)転利て時勤なく交関 バや車用い	節節ど資省ルをて、な省・ネーめる	電品うはエをてよしる気を際、ネ考選うて製買 省性えぶにい	使てのをけり使き品め製購てい製使避、返用るや替品入い捨品用 繰しで製詰えをしる	ネオシやイシプをしるッーョリクョな活てトクンサルッど用い	ご分(すみやいなしるみ別燃ご、さごどての や 燃なみをい	び缶ペボなリク能のサルしるん、ットどサルなはイにて、 トル、イ可もリク出い	買にイグ参い いなッ持て る	環題球化プチ等関持日らニス情得る境(温やラッ)心ち頃 ユ等報て問地暖脱スクにを、か 一でをい	環守域にしるを地動加い	特に何 もしない
全体	1, 528	33. 0	68. 6	46.3	44. 5	48. 4	18. 5	90.6	85. 9	85. 9	37.8	3. 7	1.4
白河	131	29. 8	66. 4	48. 9	41. 2	48. 1	21.4	92. 4	87. 0	85. 5	34. 4	3. 1	0.8
小松橋	117	39. 3	72. 6	48. 7	47. 0	53.8	18. 8	85. 5	82. 1	81. 2	41.0	5. 1	1.7
富岡	120	34. 2	73. 3	46. 7	50.8	46. 7	16. 7	90.8	82. 5	81. 7	42. 5	1. 7	1.7
東陽	114	30. 7	72. 8	50. 9	49. 1	45. 6	21.9	93. 9	85. 1	82. 5	40. 4	3. 5	1.8
豊洲	338	39.6	65. 1	47. 6	42. 9	48. 2	20. 1	89.3	87. 0	86. 1	37. 3	3. 6	0.6
亀戸	168	29. 2	68. 5	40.5	43. 5	49.4	17. 9	92. 9	83. 9	86. 3	39. 9	4. 8	2. 4
大島	174	28. 2	69. 0	47. 7	42. 5	49.4	18. 4	92. 5	86.8	84. 5	33. 9	2. 9	1.7
砂町	228	30. 3	68. 4	43. 9	43. 0	47. 8	16. 7	88. 6	86.8	91. 2	36.4	4. 4	0.9
南砂	129	29. 5	67. 4	44. 2	48. 1	48. 1	13. 2	92. 2	89. 1	89. 1	36.4	3. 1	2. 3
居住地区不詳	9	44. 4	77. 8	44. 4	22. 2	22. 2	33. 3	77.8	77.8	88. 9	55.6	11.1	0.0

② 性年齢別

- ・ 男女別にみると、ほとんどの項目において、割合は女性の方が男性よりポイントが高くなっている。 男性では、「ごみの分別(燃やすごみ、燃やさないごみ など)をしている」が1位となっている。 女性では、「買い物にはマイバッグを持参している」が1位となっている。
- ・ 年齢別にみると、男性では、「ごみの分別(燃やすごみ、燃やさないごみ など)をしている」の 割合は、20~24歳、40~49歳、55歳以上で男性全体を上回っている。女性では、「買い物にはマ イバッグを持参している」の割合は、30~34歳、40~74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-6 性年齢別環境に配慮した行動

<男性>													(%)
	n	環意たを生中行い境識行日活でっるをし動常ので	外や時る公通(車ス自をしる出通にベ共機電・)転利て時勤なく交関 バや車用い	節節ど資省ルをて電水の源エギ進い、な省・ネーめる	電品うはエをてよしる気を際、ネ考選うて製買 省性えぶにい	使てのをけり使き品め製購てい製使避、返用るや替品入い捨品用 繰しで製詰えをしる	ネオシやイシプをしるッーョリクョな活てトクンサルッど用い	ご分(すみやいなしるみ別燃ご、さごどての や 燃なみをい	び缶ペボなリク能のサルしるん、ットどサルなはイにて、 トル、イ可もリク出い	買にイグ参い物マッ持て	環題球化プチ等関持日らニス情得る境(温やラッ)心ち頃 ュ等報て問地暖脱スクにを、か 一でをい	環守域にしるを地動加い	特に何ていない
全体	610	33. 3	64. 4	45. 6	40. 5	41.1	18.0	89. 8	83. 1	79.0	35. 1	4. 3	1.8
18~19歳	14	14. 3	92. 9	7. 1	7. 1	50.0	21.4	57. 1	50.0	64. 3	28. 6	0.0	0.0
20~24歳	13	0.0	70.0	1	7 7								0 0
25~20年		0.0	76. 9	15. 4	7.7	23. 1	30.8	92. 3	69. 2	61.5	0.0	0.0	0.0
25~29歳	29	37. 9	62. 1	62. 1	27. 6	23. 1 41. 4	30.8 41.4	92. 3 79. 3	69. 2 72. 4	61. 5 58. 6	0. 0 24. 1	10.3	3. 4
25~29歳 30~34歳	29 28					_							
		37. 9	62. 1	62. 1	27. 6	41.4	41.4	79. 3	72. 4	58. 6	24. 1	10. 3	3. 4
30~34歳	28	37. 9 28. 6	62. 1 57. 1	62. 1 32. 1	27. 6 25. 0	41. 4 28. 6	41. 4 7. 1	79. 3 78. 6	72. 4 67. 9	58. 6 53. 6	24. 1 10. 7	10. 3 0. 0	3. 4 10. 7
30~34歳 35~39歳	28 48	37. 9 28. 6 35. 4	62. 1 57. 1 62. 5	62. 1 32. 1 35. 4	27. 6 25. 0 39. 6	41. 4 28. 6 50. 0	41. 4 7. 1 29. 2	79. 3 78. 6 79. 2	72. 4 67. 9 72. 9	58. 6 53. 6 85. 4	24. 1 10. 7 25. 0	10. 3 0. 0 2. 1	3. 4 10. 7 2. 1
30~34歳 35~39歳 40~44歳	28 48 63	37. 9 28. 6 35. 4 22. 2	62. 1 57. 1 62. 5 60. 3	62. 1 32. 1 35. 4 38. 1	27. 6 25. 0 39. 6 28. 6 42. 9 36. 7	41. 4 28. 6 50. 0 34. 9 40. 0 34. 7	41. 4 7. 1 29. 2 19. 0	79. 3 78. 6 79. 2 90. 5	72. 4 67. 9 72. 9 81. 0	58. 6 53. 6 85. 4 74. 6 91. 4 85. 7	24. 1 10. 7 25. 0 23. 8	10. 3 0. 0 2. 1 0. 0 0. 0 8. 2	3. 4 10. 7 2. 1 3. 2
30~34歳 35~39歳 40~44歳 45~49歳	28 48 63 70	37. 9 28. 6 35. 4 22. 2 37. 1	62. 1 57. 1 62. 5 60. 3 62. 9	62. 1 32. 1 35. 4 38. 1 44. 3	27. 6 25. 0 39. 6 28. 6 42. 9 36. 7 53. 3	41. 4 28. 6 50. 0 34. 9 40. 0	41. 4 7. 1 29. 2 19. 0 21. 4	79. 3 78. 6 79. 2 90. 5 91. 4	72. 4 67. 9 72. 9 81. 0 85. 7	58. 6 53. 6 85. 4 74. 6 91. 4	24. 1 10. 7 25. 0 23. 8 27. 1	10. 3 0. 0 2. 1 0. 0 0. 0	3. 4 10. 7 2. 1 3. 2 0. 0
30~34歳 35~39歳 40~44歳 45~49歳 50~54歳	28 48 63 70 49	37. 9 28. 6 35. 4 22. 2 37. 1 38. 8	62. 1 57. 1 62. 5 60. 3 62. 9 57. 1 61. 7 61. 5	62. 1 32. 1 35. 4 38. 1 44. 3 38. 8	27. 6 25. 0 39. 6 28. 6 42. 9 36. 7 53. 3 38. 5	41. 4 28. 6 50. 0 34. 9 40. 0 34. 7	41. 4 7. 1 29. 2 19. 0 21. 4 22. 4	79. 3 78. 6 79. 2 90. 5 91. 4 85. 7	72. 4 67. 9 72. 9 81. 0 85. 7 89. 8	58. 6 53. 6 85. 4 74. 6 91. 4 85. 7	24. 1 10. 7 25. 0 23. 8 27. 1 32. 7	10. 3 0. 0 2. 1 0. 0 0. 0 8. 2 3. 3 1. 9	3. 4 10. 7 2. 1 3. 2 0. 0 4. 1
30~34歳 35~39歳 40~44歳 45~49歳 50~54歳 55~59歳 60~64歳 65~69歳	28 48 63 70 49 60 52 43	37. 9 28. 6 35. 4 22. 2 37. 1 38. 8 51. 7 25. 0 32. 6	62. 1 57. 1 62. 5 60. 3 62. 9 57. 1 61. 7 61. 5 62. 8	62. 1 32. 1 35. 4 38. 1 44. 3 38. 8 66. 7 38. 5 48. 8	27. 6 25. 0 39. 6 28. 6 42. 9 36. 7 53. 3 38. 5 51. 2	41. 4 28. 6 50. 0 34. 9 40. 0 34. 7 51. 7	41. 4 7. 1 29. 2 19. 0 21. 4 22. 4 21. 7 19. 2 11. 6	79. 3 78. 6 79. 2 90. 5 91. 4 85. 7 98. 3 92. 3 97. 7	72. 4 67. 9 72. 9 81. 0 85. 7 89. 8 86. 7 92. 3	58. 6 53. 6 85. 4 74. 6 91. 4 85. 7 88. 3 75. 0 74. 4	24. 1 10. 7 25. 0 23. 8 27. 1 32. 7 48. 3 34. 6 37. 2	10. 3 0. 0 2. 1 0. 0 0. 0 8. 2 3. 3 1. 9 11. 6	3. 4 10. 7 2. 1 3. 2 0. 0 4. 1 0. 0 0. 0 2. 3
30~34歳 35~39歳 40~44歳 45~49歳 50~54歳 55~59歳 60~64歳 65~69歳 70~74歳	28 48 63 70 49 60 52	37. 9 28. 6 35. 4 22. 2 37. 1 38. 8 51. 7 25. 0 32. 6 27. 1	62. 1 57. 1 62. 5 60. 3 62. 9 57. 1 61. 7 61. 5 62. 8 71. 2	62. 1 32. 1 35. 4 38. 1 44. 3 38. 8 66. 7 38. 5 48. 8 54. 2	27. 6 25. 0 39. 6 28. 6 42. 9 36. 7 53. 3 38. 5 51. 2	41. 4 28. 6 50. 0 34. 9 40. 0 34. 7 51. 7 42. 3 34. 9 42. 4	41. 4 7. 1 29. 2 19. 0 21. 4 22. 4 21. 7 19. 2 11. 6 13. 6	79. 3 78. 6 79. 2 90. 5 91. 4 85. 7 98. 3 92. 3	72. 4 67. 9 72. 9 81. 0 85. 7 89. 8 86. 7 92. 3	58. 6 53. 6 85. 4 74. 6 91. 4 85. 7 88. 3 75. 0 74. 4 79. 7	24. 1 10. 7 25. 0 23. 8 27. 1 32. 7 48. 3 34. 6 37. 2 52. 5	10. 3 0. 0 2. 1 0. 0 0. 0 8. 2 3. 3 1. 9 11. 6 1. 7	3. 4 10. 7 2. 1 3. 2 0. 0 4. 1 0. 0
30~34歳 35~39歳 40~44歳 45~49歳 50~54歳 55~59歳 60~64歳 65~69歳	28 48 63 70 49 60 52 43	37. 9 28. 6 35. 4 22. 2 37. 1 38. 8 51. 7 25. 0 32. 6	62. 1 57. 1 62. 5 60. 3 62. 9 57. 1 61. 7 61. 5 62. 8	62. 1 32. 1 35. 4 38. 1 44. 3 38. 8 66. 7 38. 5 48. 8	27. 6 25. 0 39. 6 28. 6 42. 9 36. 7 53. 3 38. 5 51. 2	41. 4 28. 6 50. 0 34. 9 40. 0 34. 7 51. 7 42. 3 34. 9	41. 4 7. 1 29. 2 19. 0 21. 4 22. 4 21. 7 19. 2 11. 6	79. 3 78. 6 79. 2 90. 5 91. 4 85. 7 98. 3 92. 3 97. 7	72. 4 67. 9 72. 9 81. 0 85. 7 89. 8 86. 7 92. 3	58. 6 53. 6 85. 4 74. 6 91. 4 85. 7 88. 3 75. 0 74. 4	24. 1 10. 7 25. 0 23. 8 27. 1 32. 7 48. 3 34. 6 37. 2	10. 3 0. 0 2. 1 0. 0 0. 0 8. 2 3. 3 1. 9 11. 6	3. 4 10. 7 2. 1 3. 2 0. 0 4. 1 0. 0 0. 0 2. 3

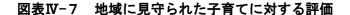
<u><女性></u>													(%)
	n	環意たを生中行い境識行日活でっるをし動常ので	外や時る公通(車ス自をしる出通にベ共機電・)転利で時勤なく交関 バや車用い	節節ど資省ルをて電水の源エギ進い	電品うはエをてよしる気を際、ネ考選うて製買 省性えぶにい	使てのをけり使き品め製購てい製使避、返用るや替品入い捨品用 繰しで製詰えをしる	ネオシやイシプをしるッーョリクョな活てトクンサルッど用い	ご分(すみやいなしるみ別燃ご、さごどて	び缶ペボなリク能のサルしるん、ットどサルなはイにて、 トル、イ可もリク出い	買い物マッ 持て がある	環題球化プチ等関持日ら二ス情得る境(温やラッ)心ち頃 ュ等報て問地暖脱スクにを、か 一でをい	環守域にしる	特に何てい
全体	788	32. 4	72. 8	46. 1	47. 5	53. 9	19. 2	91.1	88. 5	92. 0	37. 4	2. 5	0.8
18~19歳	12	25. 0	66. 7	25. 0	8. 3	33. 3	16.7	91.7	66. 7	75. 0	16. 7	0.0	0.0
20~24歳	28	17. 9	75. 0	25. 0	21. 4	35.7	28.6	82. 1	60.7	82. 1	17. 9	0.0	3. 6
25~29歳	41	26. 8	70. 7	26. 8	19. 5	46. 3	26.8	63. 4	68. 3	73. 2	17. 1	2. 4	2. 4
30~34歳	55	18. 2	78. 2	38. 2	20. 0	38. 2	25.5	81.8	76. 4	94. 5	18. 2	0.0	0.0
35~39歳	58	20. 7	70. 7	41. 4	34. 5	39. 7	31.0	89. 7	89. 7	89. 7	29. 3	0.0	0.0
40~44歳	85	29. 4	70. 6	36. 5	42. 4	52. 9	25. 9	90. 6	91.8	94. 1	32. 9	1. 2	0.0
45~49歳	103	39.8	68. 0	49. 5	55. 3	56.3	27. 2	95. 1	91.3	95. 1	35. 9	1.0	1.0
50~54歳	74	45. 9	79. 7	66. 2	58. 1	60.8	18. 9	94. 6	94. 6	93. 2	39. 2	4. 1	1.4
55~59歳	66	40. 9	69. 7	50.0	62. 1	65. 2	28.8	97. 0	93. 9	95. 5	50.0	4. 5	0.0
60~64歳	56	35. 7	75. 0	51.8	58. 9	53.6	12.5	98. 2	96. 4	98. 2	33. 9	1.8	0.0
65~69歳	50	40. 0	70.0	56. 0	62. 0	60.0	0.0	98. 0	96. 0	94. 0	44. 0	10.0	0.0
70~74歳	67	28. 4	82. 1	50. 7	59. 7	67. 2	7.5	95. 5	94. 0	95. 5	52. 2	3.0	1.5
75歳以上	93	30. 1	69. 9	45. 2	50. 5	55. 9	3. 2	90. 3	87. 1	89. 2	54.8	3. 2	1.1
年齢不詳	0	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	I-	-

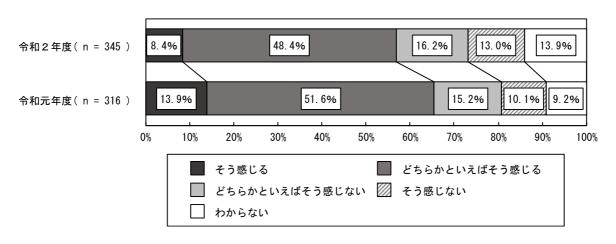
【みんなで取り組む子育て家庭への支援】

問3 中学生以下のお子さんがいる保護者の方におたずねします。 あなたは、地域に見守られて子育てしていると感じますか。あてはまるものを選び○印をお つけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「どちらかといえばそう感じる」が 48.4%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう感じない」 (16.2%) となっている。
- 「そう感じる」(8.4%)と「どちらかといえばそう感じる」(48.4%)を合わせた『そう感じる (計)』の割合は56.8%となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、『そう感じる(計)』が8.7ポイント減少している。





間 3-1 間 3 で「3. どちらかといえばそう感じない」「4. そう感じない」を選んだ方におたずね します。

地域に見守られて子育てしていると感じない理由について、自由にご記入ください。

- ・ 問3の質問において「どちらかといえばそう感じない」または「そう感じない」と回答された方に、 その(地域に見守られて子育てしていると感じない)理由を自由記述でたずねたところ、92人から 延べ96件の回答をいただいた。
- ・ 回答を分類した結果、「近所付き合い等、地域での接点がない」が43件と最も多く、次いで「実体験がないなど、具体的に思い当たらない」(17件)、「子育てやこどもに対する職場や地域の理解、配慮が乏しい」(11件)となっている。
- ・ 最も多かった「近所付き合い等、地域での接点がない」の具体的な内容をみると、「近所付き合い 等はなく見守られているという意識はない」、「地域での触れ合いがあまりない」といった意見がみ られた。

図表Ⅳ-8 地域に見守られて子育てしていると感じない理由

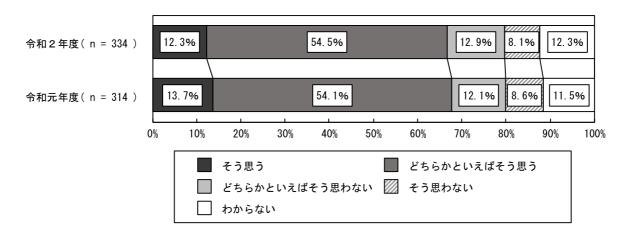
近所付き合い等、地域での接点がない	43 件
実体験がないなど、具体的に思い当たらない	17 件
子育てやこどもに対する職場や地域の理解、配慮が乏しい	11 件
防犯・安全面での不安	6 件
コロナ禍の影響で交流ができない	6 件
子育て支援に関する情報やサービスが不足していたり、利用しにくい	4 件
町会・自治会の活動が停滞している	3 件
定義がわからない	2 件
保育園に入所できない	1 件
その他	3 件

問4 中学生以下のお子さんがいる保護者の方におたずねします。 あなたは、必要な子育て情報を入手しやすいと思いますか。あてはまるものを選び○印をお つけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- 「どちらかといえばそう思う」が54.5%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(12.9%)となっている。
- ・ 「そう思う」(12.3%)と「どちらかといえばそう思う」(54.5%)を合わせた『そう思う(計)』 の割合は66.8%となっている。
- · 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-9 子育て情報の入手の容易さ



間 4-1 間 4 で「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」を選んだ方におたずね します。

必要な子育て情報を入手しやすいと思わない理由について、自由にご記入ください。

- ・ 問4の質問において「どちらかといえばそう思わない」または「そう思わない」と回答された方に、 その(必要な子育て情報を入手しやすいと思わない)理由を自由記述でたずねたところ、60人から 延べ62件の回答をいただいた。
- ・ 回答を分類した結果、「区の情報がわかりにくい」が 17 件と最も多く、次いで「情報の入手方法が わからない」(16 件)、「必要な情報が受動的だと届かない」(12 件)となっている。
- ・ 最も多かった「区の情報がわかりにくい」の具体的な内容をみると、「区報を見ないとわからない情報もありHPもわかりにくいので必要な情報をすべて把握するのが難しい」、「子育て施設イベントのHPは特に探しにくく、友人からの口コミで知った」といった意見がみられた。

図表Ⅳ-10 必要な子育て情報を入手しやすいと思わない理由

区の情報がわかりにくい	17 件
情報の入手方法がわからない	16 件
必要な情報が受動的だと届かない	12 件
区の情報発信が不足している	10 件
コロナ禍の影響	2 件
その他	5 件

問5 こどものしつけと体罰の考え方についてうかがいます。あてはまるものを選び \bigcirc 印をおつけください。 $(\bigcirc$ は1 \bigcirc 0

<全体/経年比較>

- ・ 「しつけであっても体罰はすべきではない」が 59.5%で最も高く、次いで「しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない」 (31.7%) となっている。
- ・ 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

59.5% 31.7% 1.5% 7.3% 令和2年度(n=1,137) 58.2% 33.3% 1.3% 7.3% 令和元年度(n = 950) 0% 10% 30% 20% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■ しつけであっても体罰はすべきではない ■ しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない □ しつけのためなら、体罰は必要である

わからない

図表Ⅳ-11 しつけと体罰の認識

① 地区別

・ 地区別では、「しつけであっても体罰はすべきではない」割合は、小松橋地区(67.0%)、東陽地区(65.9%)、豊洲地区(60.7%)、亀戸地区(60.6%)、南砂地区(61.5%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-12 地区別しつけと体罰の認識

(%)

	n	しつけであっても体 罰はすべきではない	しつけのためなら、 ある程度の体罰もや むを得ない	しつけのためなら、 体罰は必要である	わからない
全体	1, 137	59. 5	31.7	1.5	7.3
白河	94	57. 4	31.9	2. 1	8.5
小松橋	91	67. 0	28. 6	1.1	3.3
富岡	96	56. 3	33. 3	1.0	9.4
東陽	88	65. 9	26. 1	2. 3	5.7
豊洲	257	60. 7	31.9	0.4	7.0
亀戸	127	60. 6	30. 7	1.6	7. 1
大島	129	53. 5	35. 7	2. 3	8.5
砂町	159	56. 0	35. 2	1.3	7.5
南砂	91	61.5	27. 5	2. 2	8.8
居住地区不詳	5	60.0	20.0	20.0	0.0

② 性年齢別

- ・ 男女別にみると、「しつけであっても体罰はすべきではない」の割合は、女性(62.5%)の方が男性(55.9%)より6.6ポイント高くなっている。
- ・ 年齢別にみると、「しつけであっても体罰はすべきではない」の割合は、男性では $25\sim29$ 歳、 $35\sim39$ 歳、 $50\sim54$ 歳、70 歳以上で男性全体を上回っている。女性では $20\sim34$ 歳、 $40\sim44$ 歳、 $50\sim64$ 歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-13 性年齢別しつけと体罰の認識

く男性> (%) しつけのためなら、 しつけであっても体 しつけのためなら、 ある程度の体罰もや わからない n 罰はすべきではない 体罰は必要である むを得ない 全体 463 55.9 35.6 2.8 5.6 18~19歳 12 50.0 25.0 0.0 25.0 20~24歳 12 50.0 33.3 0.0 16.7 25~29歳 23 73.9 26. 1 0.0 0.0 30~34歳 26 53.8 34.6 3.8 7.7 35~39歳 47 66.0 27.7 4.3 2. 1 40~44歳 59 52.5 37.3 5. 1 5. 1 45~49歳 59 50.8 42.4 3.4 3.4 42 50~54歳 35.7 0.0 7. 1 57. 1 55~59歳 54 51.9 44.4 1.9 1.9 35 60~64歳 54.3 31.4 2.9 11.4 25 4.0 4.0 65~69歳 52.0 40.0 70~74歳 33 60.6 33.3 3.0 3.0 35 75歳以上 57.1 31.4 5.7 5.7 0.0 年齢不詳 100.0 0.0 1 0.0

<女性> (%) しつけのためなら、 しつけであっても体 しつけのためなら、 ある程度の体罰もや わからない n 罰はすべきではない 体罰は必要である むを得ない 603 28.5 8.8 全体 62.5 0.2 18~19歳 10 60.0 30.0 0.0 10.0 20~24歳 18 72.2 22. 2 0.0 5.6 25~29歳 30 73.3 20.0 0.0 6.7 30~34歳 46 65.2 26. 1 0.0 8.7 35~39歳 54 61.1 27.8 0.0 11.1 76 40~44歳 67. 1 27.6 0.0 5.3 45~49歳 92 56.5 31.5 0.0 12.0 50~54歳 70 62.9 24.3 0.0 12.9 55~59歳 57 73.7 21.1 0.0 5.3 60~64歳 40 65.0 30.0 0.0 5.0 65~69歳 34 35.3 0.0 5.9 58.8 70~74歳 37 51.4 40.5 0.0 8. 1 35.9 12.8 75歳以上 39 48.7 2.6 年齢不詳 0

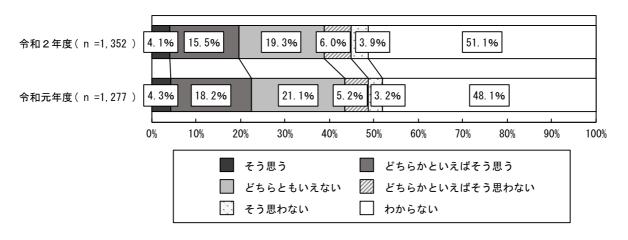
【多様なニーズに応じた教育環境の充実】

問6 江東区では、一人ひとりを大切にした教育が行われていると思いますか。あてはまるものを 選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「わからない」が51.1%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(19.3%)となっている。
- 「そう思う」(4.1%)と「どちらかといえばそう思う」(15.5%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は19.6%となっている。
- 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-14 一人ひとりを大切にした教育への認知度



① 地区別

・ 地区別では、『そう思う(計)』の割合は、小松橋地区(22.0%)、東陽地区(19.8%)、豊洲地 区(22.7%)、亀戸地区(23.3%)、砂町地区(22.1%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-15 地区別一人ひとりを大切にした教育への認知度

(%) どちらかといえ どちらともいえ どちらかといえ そう思わない わからない そう思う n ばそう思う ない ばそう思わない 全体 1, 352 4. 1 15.5 19.3 6.0 3.9 51.1 白河 116 4.3 12. 1 20. 7 2.6 5. 2 55. 2 55.0 17.4 109 4.6 15. 6 3.7 3.7 小松橋 60.4 富岡 111 1.8 6.3 23. 4 6.3 1.8 101 6.9 12.9 6.9 5.0 51.5 東陽 16.8 305 3.0 19.7 16. 1 7. 2 3.3 50.8 豊洲 亀戸 150 3.3 20.0 21.3 6.0 2. 7 46.7 52.4 大島 147 4. 1 14.3 21. 1 6.1 2.0 砂町 194 8. 2 13.9 20. 1 7. 2 6. 2 44.3 15.9 20. 4 4.4 6. 2 52. 2 南砂 113 0.9 居住地区不詳 6 0.0 50.0 16.7 0.0 16.7 16.7

- ・ 男女別にみると、『そう思う(計)』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、『そう思う(計)』の割合は、男性では18~19歳、35~44歳、50~59歳、65~69歳で男性全体を上回っている。女性では20~24歳、35~54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-16 性年齢別一人ひとりを大切にした教育への認知度

<男性> (%)										
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う		どちらかといえ ばそう思わない		わからない			
全体	542	4. 6	16. 2	19. 6	5.4	3. 7	50.6			
18~19歳	14	21. 4	21. 4	21. 4	7. 1	0.0	28. 6			
20~24歳	13	0.0	0.0	46. 2	15. 4	15. 4	23. 1			
25~29歳	29	0.0	17. 2	10. 3	0.0	3. 4	69.0			
30~34歳	28	3. 6	7. 1	21. 4	3. 6	0.0	64. 3			
35~39歳	47	2. 1	23. 4	14. 9	4. 3	8. 5	46.8			
40~44歳	62	6. 5	14. 5	25. 8	6. 5	6. 5	40. 3			
45~49歳	67	4. 5	14. 9	17. 9	4. 5	4. 5	53. 7			
50~54歳	47	6. 4	19. 1	6. 4	10.6	4. 3	53. 2			
55~59歳	60	5. 0	20. 0	15. 0	5. 0	1. 7	53. 3			
60~64歳	48	2. 1	14. 6	20. 8	8.3	4. 2	50.0			
65~69歳	34	5. 9	20. 6	32. 4	0.0	2. 9	38. 2			
70~74歳	39	2. 6	12. 8	20. 5	7. 7	0.0	56. 4			
75歳以上	53	5. 7	15. 1	20. 8	1.9	0.0	56. 6			
年齢不詳	1	0.0	0.0	100. 0	0.0	0.0	0.0			

<女性> (%)								
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う		どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない	
全体	716	3. 8	15. 1	18. 9	6. 3	4. 1	52.0	
18~19歳	12	0.0	0.0	66. 7	8.3	0.0	25. 0	
20~24歳	28	14. 3	10. 7	7. 1	35. 7	0.0	32. 1	
25~29歳	38	2. 6	10. 5	2. 6	7. 9	5. 3	71.1	
30~34歳	55	1.8	9. 1	14. 5	1.8	0.0	72. 7	
35~39歳	57	1.8	21. 1	15. 8	1.8	5. 3	54. 4	
40~44歳	84	1. 2	25. 0	22. 6	6. 0	4. 8	40. 5	
45~49歳	102	3. 9	18. 6	22. 5	4. 9	2. 0	48. 0	
50~54歳	73	4. 1	20. 5	20. 5	6.8	4. 1	43.8	
55~59歳	64	1. 6	15. 6	28. 1	7. 8	10. 9	35. 9	
60~64歳	56	1.8	14. 3	17. 9	5. 4	1.8	58. 9	
65~69歳	46	2. 2	13. 0	6. 5	8. 7	8. 7	60. 9	
70~74歳	49	12. 2	4. 1	18. 4	0.0	2. 0	63. 3	
75歳以上	52	5. 8	5. 8	19. 2	3.8	3. 8	61.5	
年齡不詳	0	-			_	_		

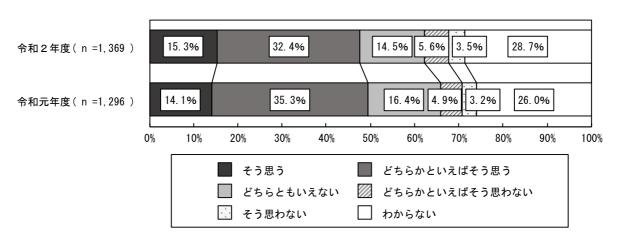
【こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり】

問7 あなたは、行政や地域の活動(こども 110 番の家、地域でのパトロールなど)が、こどもたちを犯罪や事故から守る地域環境づくりに役立っていると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「どちらかといえばそう思う」が32.4%で最も高く、次いで「わからない」(28.7%)となっている。
- 「そう思う」(15.3%)と「どちらかといえばそう思う」(32.4%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は47.7%となっている。
- ・ 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-17 行政地域の活動がこどもたちの安全な地域環境づくりに役立っているという認識



① 地区別

・ 地区別では、『そう思う(計)』の割合は、豊洲地区(49.4%)、大島地区(48.7%)、南砂地区(54.5%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-18 地区別行政地域の活動がこどもたちの安全な地域環境づくりに役立っているという認識

(%) どちらかといえ どちらともいえ どちらかといえ そう思う そう思わない わからない ばそう思う ない ばそう思わない 32.4 全体 1.369 15.3 14.5 5.6 3.5 28.7 白河 118 16.9 30.5 11.9 4. 2 5. 1 31.4 107 18.7 26. 2 11. 2 4.7 3.7 35.5 小松橋 113 12.4 32.7 15.0 7. 1 3.5 29.2 富岡 東陽 105 15.2 31.4 3.8 1.0 30.5 18. 1 豊洲 308 16.6 32. 8 12. 0 5.5 2. 9 30.2 152 30.9 21. 1 5.9 24.3 亀戸 15. 1 2. 6 150 10.0 38.7 14. 7 6.7 4. 0 26.0 大島 24. 9 197 7. 1 砂町 16.8 27. 9 16.8 6.6 112 12.5 42.0 10.7 0.9 31.3 南砂 2.7 居住地区不詳 7 42.9 28.6 14. 3 14.3 0.0 0.0

- ・ 男女別にみると、『そう思う(計)』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、『そう思う(計)』の割合は、男性では 18~19歳、25~29歳、45~74歳で男性 全体を上回っている。女性では 18~24歳、30~34歳、45~59歳、65~69歳で女性全体を上回って いる。

図表Ⅳ-19 性年齢別行政地域の活動がこどもたちの安全な地域環境づくりに役立っているという認識

<男性> (%) どちらかといえ どちらともいえ どちらかといえ n そう思う そう思わない わからない ばそう思う ない ばそう思わない 全体 550 16. 4 30. 2 15.3 4.9 4. 2 29.1 18~19歳 14 21.4 50.0 7. 1 7. 1 7. 1 7. 1 20~24歳 13 23. 1 23. 1 15. 4 7.7 15.4 15.4 25~29歳 29 17. 2 31.0 6.9 27.6 13.8 3.4 30~34歳 28 32. 1 0.0 10.7 35.7 7. 1 14. 3 35~39歳 47 12.8 25. 5 17.0 4.3 8.5 31.9 62 9. 7 40~44歳 27.4 12.9 12.9 4.8 32.3 45~49歳 67 29. 9 19.4 14.9 6.0 1.5 28.4 47 50~54歳 42.6 17.0 25.5 10.6 2. 1 2. 1 55~59歳 60 13.3 38.3 11.7 5.0 5.0 26.7 22. 4 49 26.5 12. 2 8. 2 2. 0 28.6 60~64歳 65~69歳 35 28.6 11.4 0.0 5. 7 22.9 31.4 70~74歳 44 22. 7 27.3 22. 7 4.5 0.0 22.7 54 75歳以上 13.0 20.4 20. 4 0.0 0.0 46.3 1 0.0 0.0 100.0 0.0 0.0 0.0 年齢不詳

<女性>							(%)
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	721	13. 6	34. 4	14. 0	5.8	3. 3	28.8
18~19歳	12	41. 7	33. 3	16. 7	0.0	0.0	8.3
20~24歳	28	17. 9	32. 1	7. 1	14. 3	3. 6	25. 0
25~29歳	38	7. 9	31.6	13. 2	2. 6	2. 6	42. 1
30~34歳	55	14. 5	36. 4	5. 5	5. 5	1.8	36. 4
35~39歳	57	5. 3	33. 3	17. 5	14. 0	1.8	28. 1
40~44歳	84	10. 7	34. 5	13. 1	10. 7	2. 4	28. 6
45~49歳	102	13. 7	39. 2	12. 7	4. 9	2. 0	27. 5
50~54歳	73	12. 3	41. 1	13. 7	4. 1	4. 1	24. 7
55~59歳	64	10. 9	46. 9	17. 2	1.6	7. 8	15. 6
60~64歳	56	12. 5	33. 9	19. 6	1.8	7. 1	25. 0
65~69歳	47	8. 5	40. 4	17. 0	6. 4	4. 3	23. 4
70~74歳	49	20. 4	12. 2	12. 2	6. 1	2. 0	46. 9
75歳以上	56	25. 0	19. 6	16. 1	1.8	1.8	35. 7
年齢不詳	0	-	-	-	_	_	-

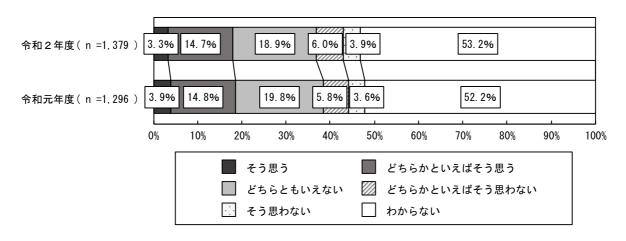
【次代を担う青少年の健全育成の推進】

問8 江東区は、青少年への支援や相談窓口の定着・充実など、青少年が健全に育つ環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「わからない」が53.2%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(18.9%)となっている。
- ・ 「そう思う」(3.3%)と「どちらかといえばそう思う」(14.7%)を合わせた『そう思う(計)』 の割合は18.0%となっている。
- ・ 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-20 青少年が健全に育つ環境が整備されているという認識



① 地区別

・ 地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(22.7%)、東陽地区(19.8%)、豊洲地区(18.5%)、亀戸地区(19.4%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-21 地区別青少年が健全に育つ環境が整備されているという認識

							(%)
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	1, 379	3. 3	14. 7	18. 9	6.0	3. 9	53. 2
白河	119	1.7	21. 0	16. 0	2. 5	3. 4	55. 5
小松橋	108	3. 7	13. 0	12. 0	4. 6	6. 5	60. 2
富岡	113	1.8	11.5	21. 2	4. 4	3. 5	57. 5
東陽	106	7. 5	12. 3	16. 0	6. 6	2. 8	54.7
豊洲	308	3. 2	15. 3	15. 3	5. 2	3. 9	57. 1
亀戸	154	1. 9	17. 5	22. 7	7. 1	2. 6	48. 1
大島	151	2. 6	15. 2	17. 9	9. 9	4. 6	49.7
砂町	201	5. 5	10. 9	24. 4	6.0	5. 5	47.8
南砂	113	0. 9	15. 9	22. 1	7. 1	1.8	52. 2
居住地区不詳	6	0.0	16. 7	66. 7	16. 7	0.0	0.0

- ・ 男女別にみると、『そう思う(計)』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、『そう思う(計)』の割合は、男性では 18~19 歳、25~29 歳、45~54 歳、65~69 歳、75 歳以上で男性全体を上回っている。女性では 20~24 歳、40~54 歳、70 歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-22 性年齢別青少年が健全に育つ環境が整備されているという認識

<男性> (%) どちらかといえ どちらともいえ どちらかといえ n そう思う そう思わない わからない ばそう思う ない ばそう思わない 全体 558 2.9 15. 9 18.6 5.6 4.8 52.2 18~19歳 14 7. 1 21.4 7. 1 0.0 7. 1 57.1 20~24歳 13 0.0 7. 7 23. 1 30.8 7.7 30.8 25~29歳 29 17. 2 6.9 6. 9 65.5 3.4 0.0 30~34歳 28 0.0 14.3 10.7 7. 1 64.3 3.6 35~39歳 47 0.0 14.9 17.0 2.1 6.4 59.6 62 40~44歳 1.6 11.3 14. 5 6.5 8. 1 58.1 45~49歳 67 19. 4 4. 5 6.0 3. 0 50.7 16.4 47 50~54歳 17.0 57.4 2. 1 19. 1 2. 1 2. 1 55~59歳 60 3. 3 6.7 25. 0 11.7 6. 7 46.7 49 0.0 46.9 60~64歳 16.3 22. 4 10.2 4. 1 65~69歳 35 5.7 28.6 28.6 2.9 5. 7 28.6 70~74歳 45 4. 4 11.1 26. 7 4.4 0.0 53.3 75歳以上 61 4.9 21.3 16.4 1.6 3.3 52.5 1 0.0 0.0 100.0 0.0 0.0 0.0 年齢不詳

<女性> (%)										
	n	そう思う		どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない			
全体	723	2. 6	13. 6	18. 9	6.4	3. 6	54. 9			
18~19歳	12	0.0	8. 3	16. 7	8. 3	0.0	66. 7			
20~24歳	28	0.0	25. 0	3. 6	17. 9	14. 3	39. 3			
25~29歳	38	0.0	15. 8	2. 6	5. 3	2. 6	73. 7			
30~34歳	55	1.8	12. 7	10. 9	7. 3	7. 3	60.0			
35~39歳	56	0. 0	3. 6	25. 0	3. 6	3. 6	64. 3			
40~44歳	84	1. 2	16. 7	16. 7	9. 5	1. 2	54. 8			
45~49歳	102	3. 9	18. 6	23. 5	2. 9	1.0	50.0			
50~54歳	74	1.4	16. 2	16. 2	8. 1	4. 1	54. 1			
55~59歳	64	0. 0	15. 6	28. 1	0.0	7. 8	48. 4			
60~64歳	56	0.0	8. 9	17. 9	10. 7	3. 6	58. 9			
65~69歳	47	4. 3	10. 6	21. 3	8. 5	2. 1	53. 2			
70~74歳	50	12. 0	8. 0	18. 0	0.0	4. 0	58. 0			
75歳以上	57	7. 0	10. 5	28. 1	8.8	0. 0	45. 6			
年齡不詳	0	_	_	_	_	_	_			

【魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成】

問9 あなたは、区内の企業やお店が元気に活動していると思いますか。あてはまるものを選び○ 印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「どちらかといえばそう思う」が34.9%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(23.0%)となっている。
- ・ 「そう思う」(7.5%)と「どちらかといえばそう思う」(34.9%)を合わせた『そう思う(計)』 の割合は42.4%となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が3.5ポイント減少している。

7.5% 34.9% 23.0% 14.6% 10.7% 9.4% 令和2年度(n=1,500) 10.7% 35.2% 22.8% 12.5% 8.6% 10.2% 令和元年度(n=1,438) 20% 30% 40% 50% 60% 70% 10% 80% 90% 100% ■ どちらかといえばそう思う そう思う どちらかといえばそう思わない どちらともいえない そう思わない □ わからない

図表Ⅳ-23 区内の産業やお店が元気に活動している認識

① 地区別

・ 地区別では、『そう思う(計)』の割合は、東陽地区(42.8%)、豊洲地区(49.8%)、亀戸地区 (43.6%)、砂町地区(43.4%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-24 地区別区内の産業やお店が元気に活動している認識

(%) どちらかといえ どちらともいえ どちらかといえ そう思う そう思わない n わからない ばそう思う ばそう思わない 全体 1,500 7.5 34.9 23. 0 14.6 10.7 9.4 129 9.3 32.6 24. 8 17.8 7.8 7.8 白河 小松橋 116 4.3 29.3 25. 0 9.5 18. 1 13.8 富岡 118 9.3 33. 1 24. 6 14.4 11.9 6.8 13.4 東陽 112 8.0 34.8 26.8 8.9 8.0 329 9.4 10.0 豊洲 40.4 19.1 13.4 7.6 亀戸 163 4.9 38. 7 10.4 17.8 19.6 8.6 7.0 大島 171 4. 1 33.9 31.0 14.6 9.4 33. 2 23. 5 15.0 11. 9 6. 2 砂町 226 10.2 127 3.9 18. 1 15.0 14.2 南砂 28.3 20. 5 居住地区不詳 9 11.1 44.4 11. 1 0.0 22. 2 11.1

- ・ 男女別にみると、『そう思う(計)』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、『そう思う (計) 』の割合は、男性では $18\sim19$ 歳、 $30\sim54$ 歳で男性全体を上回っている。女性では $18\sim49$ 歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-25 性年齢別区内の産業やお店が元気に活動している認識

<男性> (%)										
	n	そう思う			どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない			
全体	598	6. 9	35. 3	23. 7	13. 7	11. 7	8.7			
18~19歳	14	7. 1	50.0	14. 3	0.0	14. 3	14. 3			
20~24歳	13	7. 7	30.8	15. 4	38. 5	7. 7	0.0			
25~29歳	29	6. 9	31.0	31. 0	6. 9	17. 2	6. 9			
30~34歳	28	3. 6	50.0	28. 6	3. 6	7. 1	7. 1			
35~39歳	48	6. 3	39. 6	18. 8	20.8	6. 3	8.3			
40~44歳	62	9. 7	40. 3	16. 1	16. 1	11.3	6.5			
45~49歳	69	11. 6	49. 3	13. 0	15. 9	4. 3	5.8			
50~54歳	49	6. 1	44. 9	22. 4	10. 2	4. 1	12. 2			
55~59歳	60	1. 7	33. 3	36. 7	11.7	13. 3	3. 3			
60~64歳	52	5. 8	26. 9	21. 2	21. 2	17. 3	7.7			
65~69歳	41	9. 8	19. 5	31. 7	9.8	17. 1	12. 2			
70~74歳	56	1.8	33. 9	17. 9	21. 4	16. 1	8. 9			
75歳以上	76	9. 2	21. 1	32. 9	5. 3	15. 8	15. 8			
年齢不詳	1	0.0	0.0	100. 0	0.0	0.0	0.0			

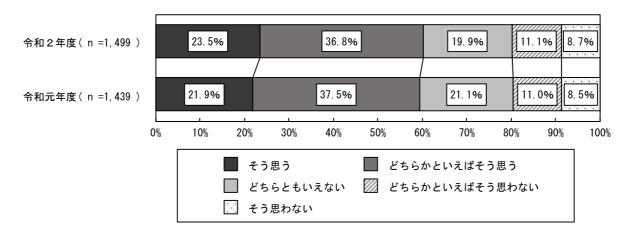
<女性> (%)								
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う		どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない	
全体	776	7. 9	35. 2	22. 7	15. 6	9. 1	9.5	
18~19歳	12	8. 3	50.0	25. 0	0.0	8. 3	8.3	
20~24歳	28	21. 4	50.0	3. 6	10. 7	10. 7	3. 6	
25~29歳	41	12. 2	39. 0	9. 8	24. 4	0.0	14. 6	
30~34歳	55	12. 7	49. 1	16. 4	12. 7	1.8	7. 3	
35~39歳	57	1.8	49. 1	19. 3	17. 5	5. 3	7.0	
40~44歳	85	5. 9	42. 4	21. 2	16. 5	2. 4	11.8	
45~49歳	103	5. 8	41.7	12. 6	18. 4	11. 7	9. 7	
50~54歳	74	2. 7	37. 8	27. 0	9. 5	9. 5	13.5	
55~59歳	66	3. 0	31.8	30. 3	19. 7	10. 6	4. 5	
60~64歳	55	9. 1	20. 0	27. 3	18. 2	21.8	3. 6	
65~69歳	50	10. 0	22. 0	30. 0	20.0	10.0	8.0	
70~74歳	65	7. 7	29. 2	24. 6	13.8	13. 8	10.8	
75歳以上	85	12. 9	15. 3	36. 5	10. 6	10. 6	14. 1	
年齢不詳	0	_	_	_	_	_	_	

間 10 あなたは、魅力のある商店街やお店が区内にあると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「どちらかといえばそう思う」が36.8%で最も高く、次いで「そう思う」(23.5%)となっている。
- ・ これらを合わせた『そう思う(計)』は60.3%となっている。
- 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-26 魅力ある商店街やお店があると思う区民の割合



① 地区別

・ 地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(62.5%)、富岡地区(61.6%)、東陽地区(61.1%)、亀戸地区(62.6%)、砂町地区(62.4%)、南砂地区(61.9%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-27 地区別魅力ある商店街やお店があると思う区民の割合

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全体	1, 499	23. 5	36. 8	19. 9	11. 1	8. 7
白河	128	28. 1	34. 4	17. 2	10. 9	9. 4
小松橋	116	20. 7	27. 6	24. 1	12. 9	14. 7
富岡	117	24. 8	36. 8	22. 2	11. 1	5. 1
東陽	113	19. 5	41. 6	23. 0	9. 7	6. 2
豊洲	332	21. 4	38. 9	16. 3	14. 8	8.7
亀戸	163	19. 0	43. 6	17. 8	9.8	9.8
大島	169	24. 9	34. 9	23. 7	10. 1	6. 5
砂町	226	25. 7	36. 7	20. 4	8.0	9.3
南砂	126	30. 2	31. 7	19. 8	9. 5	8. 7
居住地区不詳	9	11. 1	33. 3	33. 3	11.1	11.1

- ・ 男女別にみると、『そう思う(計)』の割合は、女性(62.6%)の方が男性(59.5%)より3.1ポイント高くなっている。
- ・ 年齢別にみると、『そう思う (計) 』の割合は、男性では $18\sim49$ 歳で男性全体を上回っている。 女性では $18\sim59$ 歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-28 性年齢別魅力ある商店街やお店があると思う区民の割合

<男性> (%)

トノバエノ						(, 0)
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全体	600	23. 7	35. 8	20. 8	11.3	8.3
18~19歳	14	50. 0	28. 6	14. 3	0.0	7. 1
20~24歳	13	46. 2	23. 1	7. 7	7.7	15. 4
25~29歳	29	24. 1	48. 3	13. 8	6. 9	6. 9
30~34歳	28	28. 6	35. 7	28. 6	0.0	7. 1
35~39歳	48	29. 2	43. 8	16. 7	8.3	2. 1
40~44歳	62	22. 6	43. 5	14. 5	9. 7	9. 7
45~49歳	69	34. 8	43. 5	13. 0	4. 3	4. 3
50~54歳	49	26. 5	30. 6	20. 4	14. 3	8. 2
55~59歳	60	16. 7	41. 7	21. 7	15. 0	5. 0
60~64歳	52	21. 2	30. 8	21. 2	19. 2	7.7
65~69歳	41	19. 5	31. 7	19. 5	12. 2	17. 1
70~74歳	56	16. 1	30. 4	23. 2	16. 1	14. 3
75歳以上	78	14. 1	25. 6	37. 2	14. 1	9.0
年齢不詳	1	0. 0	0.0	0.0	100.0	0.0

<女性>

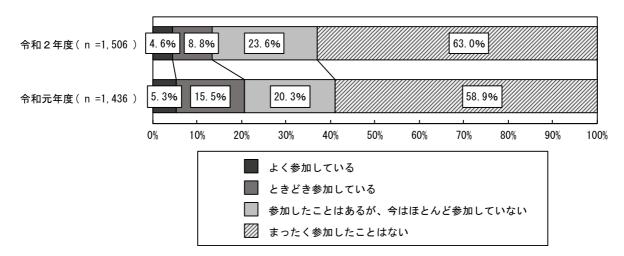
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全体	773	24. 6	38. 0	18. 1	10. 6	8.7
18~19歳	12	58. 3	33. 3	0. 0	8.3	0.0
20~24歳	28	42. 9	32. 1	10. 7	7. 1	7. 1
25~29歳	41	41. 5	31. 7	12. 2	9.8	4. 9
30~34歳	55	30. 9	34. 5	18. 2	9. 1	7.3
35~39歳	57	24. 6	47. 4	14. 0	10. 5	3.5
40~44歳	85	21. 2	43. 5	15. 3	12. 9	7. 1
45~49歳	103	20. 4	43. 7	20. 4	12. 6	2.9
50~54歳	74	17. 6	56. 8	13. 5	4. 1	8. 1
55~59歳	66	25. 8	40. 9	13. 6	10. 6	9. 1
60~64歳	55	18. 2	34. 5	20. 0	10. 9	16. 4
65~69歳	50	14. 0	36. 0	20. 0	14. 0	16.0
70~74歳	65	26. 2	23. 1	23. 1	12. 3	15. 4
75歳以上	82	24. 4	23. 2	30. 5	11.0	11.0
年齡不詳	0	_	_	_	_	_

【人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化】

問 11 町会・自治会、NPO、ボランティアなどが日頃より様々な地域活動を主催しています。この 一年間、あなたはこれらの地域活動に参加したことがありますか。あてはまるものを選び○ 印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「まったく参加したことはない」が 63.0%で最も高く、次いで「参加したことはあるが、今はほとんど参加していない」 (23.6%) となっている。
- ・ 「よく参加している」(4.6%)と「ときどき参加している」(8.8%)を合わせた『参加している(計)』の割合は13.4%となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、『参加している(計)』が7.4ポイント減少している。



図表Ⅳ-29 地域活動に参加したことがある区民の割合

① 地区別

・ 地区別では、『参加している(計)』の割合は、白河地区(14.7%)、小松橋地区(18.9%)、富岡地区(14.3%)、東陽地区(17.8%)、南砂地区(15.0%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-30 地区別地域活動に参加したことがある区民の割合

	n	よく参加している	ときどき参加してい る	参加したことはある が、今はほとんど参 加していない	まったく参加したこ とはない
全体	1, 506	4. 6	8.8	23. 6	63.0
白河	129	5. 4	9.3	25. 6	59. 7
小松橋	116	3. 4	15. 5	20. 7	60.3
富岡	119	5. 9	8. 4	23. 5	62. 2
東陽	112	8. 9	8. 9	17. 0	65. 2
豊洲	334	2. 1	7.8	22. 2	68.0
亀戸	165	5. 5	6. 7	29. 7	58. 2
大島	172	5. 2	5. 8	19.8	69. 2
砂町	224	4. 0	9. 4	23. 2	63. 4
南砂	126	6. 3	8.7	31.7	53. 2
居住地区不詳	9	0.0	33.3	22. 2	44. 4

- ・ 男女別にみると、『参加している(計)』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、『参加している(計)』の割合は、男性では 45~49 歳、55~69 歳、75 歳以上で 男性全体を上回っている。女性では 40~44 歳、50 歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-31 性年齢別地域活動に参加したことがある区民の割合

<男性> (%)

- ヘカエノ					(70)
	n	よく参加している	ときどき参加してい る	参加したことはある が、今はほとんど参 加していない	まったく参加したこ とはない
全体	600	6. 2	8.3	20.8	64. 7
18~19歳	14	0.0	0.0	21.4	78. 6
20~24歳	13	0.0	0.0	23. 1	76. 9
25~29歳	29	0.0	3. 4	17. 2	79. 3
30~34歳	27	0.0	7. 4	11. 1	81.5
35~39歳	48	2. 1	2. 1	8.3	87. 5
40~44歳	63	3. 2	3. 2	17. 5	76. 2
45~49歳	69	1.4	14. 5	15. 9	68. 1
50~54歳	49	4. 1	8. 2	26. 5	61. 2
55~59歳	60	8. 3	8.3	20. 0	63.3
60~64歳	52	3.8	13. 5	23. 1	59. 6
65~69歳	42	14. 3	14. 3	28. 6	42. 9
70~74歳	56	12. 5	1.8	28. 6	57. 1
75歳以上	77	14. 3	14. 3	24. 7	46.8
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0

_ <女性> (%)

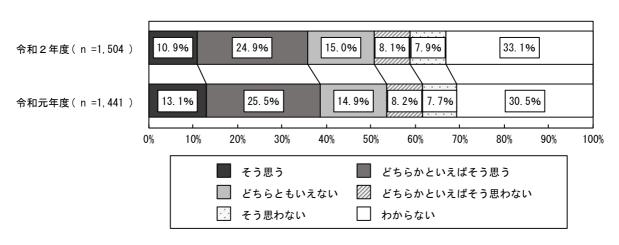
	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはある が、今はほとんど参 加していない	まったく参加したこ とはない
全体	778	3. 1	8.6	23. 4	64. 9
18~19歳	12	0.0	0.0	16. 7	83. 3
20~24歳	28	0.0	3. 6	32. 1	64. 3
25~29歳	41	0.0	0.0	4. 9	95. 1
30~34歳	55	0.0	1.8	9. 1	89. 1
35~39歳	57	1.8	1.8	14. 0	82. 5
40~44歳	85	2. 4	9. 4	11.8	76. 5
45~49歳	103	0.0	2. 9	29. 1	68.0
50~54歳	74	2. 7	13. 5	28. 4	55. 4
55~59歳	66	1. 5	18. 2	27. 3	53.0
60~64歳	56	3. 6	8. 9	37. 5	50.0
65~69歳	48	6.3	16. 7	22. 9	54. 2
70~74歳	67	4. 5	13. 4	25. 4	56.7
75歳以上	86	11.6	10. 5	32. 6	45.3
年齢不詳	0	_	_	_	_

間 12 江東区には、気軽に利用できる地域活動施設があると思いますか。あてはまるものを選び〇 印をおつけください。(〇は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「わからない」が 33.1%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(24.9%)となっている。
- ・ 「そう思う」(10.9%)と「どちらかといえばそう思う」(24.9%)を合わせた『そう思う(計)』 は35.8%となっている。
- ・ 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-32 気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合



① 地区別

・ 地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(38.7%)、富岡地区(43.2%)、豊洲地区(39.3%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-33 地区別気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合

							(%)
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	1, 504	10. 9	24. 9	15. 0	8. 1	7. 9	33. 1
白河	129	14. 7	24. 0	8. 5	7.8	8. 5	36. 4
小松橋	116	9. 5	24. 1	12. 1	7.8	10. 3	36. 2
富岡	118	7. 6	35. 6	16. 1	6.8	8. 5	25. 4
東陽	113	12. 4	19. 5	15. 0	3. 5	6. 2	43. 4
豊洲	333	12. 9	26. 4	12. 9	7.8	7. 2	32. 7
亀戸	165	9. 1	22. 4	18. 8	6. 1	12. 7	30. 9
大島	171	9. 9	23. 4	17. 5	11.1	6. 4	31.6
砂町	225	12. 0	22. 7	16. 9	11.6	4. 9	32. 0
南砂	127	6. 3	26. 8	16. 5	7. 9	8. 7	33. 9
居住地区不詳	7	14. 3	28. 6	28. 6	0.0	14. 3	14. 3

- ・ 男女別にみると、『そう思う(計)』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、『そう思う(計)』の割合は、男性では 18~19歳、35~39歳、45~54歳、65~69歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では 35~39歳、50~54歳、60~64歳、70歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-34 性年齢別気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合

<男性>							(%)
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	600	11. 7	25. 2	16.0	9. 2	6. 2	31.8
18~19歳	14	21. 4	21.4	0.0	7. 1	7. 1	42. 9
20~24歳	13	15. 4	15. 4	7. 7	30.8	0.0	30.8
25~29歳	29	6. 9	24. 1	6. 9	13.8	10. 3	37. 9
30~34歳	28	10. 7	14. 3	17. 9	3. 6	3. 6	50.0
35~39歳	48	6. 3	31.3	16. 7	6. 3	4. 2	35. 4
40~44歳	63	6. 3	25. 4	14. 3	9. 5	17. 5	27.0
45~49歳	69	11. 6	34. 8	10. 1	8. 7	4. 3	30. 4
50~54歳	49	16. 3	34. 7	6. 1	8. 2	4. 1	30.6
55~59歳	60	13. 3	15. 0	25. 0	11.7	5. 0	30.0
60~64歳	52	11. 5	15. 4	15. 4	7.7	5. 8	44. 2
65~69歳	42	16. 7	21. 4	23. 8	2. 4	7. 1	28. 6
70~74歳	56	7. 1	25. 0	23. 2	12. 5	5. 4	26.8
75歳以上	76	15. 8	30. 3	19. 7	7. 9	2. 6	23. 7
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

<女性>	<女性> (%)							
	n	そう思う		どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない	
全体	776	9. 5	24. 9	14. 2	7. 6	9. 4	34. 4	
18~19歳	12	16. 7	8. 3	25. 0	16. 7	0.0	33. 3	
20~24歳	28	3. 6	25. 0	17. 9	14. 3	10. 7	28. 6	
25~29歳	41	14. 6	19. 5	7. 3	9.8	7. 3	41.5	
30~34歳	54	9. 3	22. 2	9. 3	3. 7	7. 4	48. 1	
35~39歳	58	8. 6	31.0	13. 8	6. 9	6. 9	32. 8	
40~44歳	85	8. 2	20. 0	17. 6	7. 1	7. 1	40.0	
45~49歳	103	6. 8	24. 3	15. 5	8. 7	4. 9	39.8	
50~54歳	74	9. 5	28. 4	12. 2	8. 1	12. 2	29. 7	
55~59歳	66	9. 1	21. 2	16. 7	10.6	16. 7	25. 8	
60~64歳	55	7. 3	30. 9	12. 7	7. 3	10. 9	30. 9	
65~69歳	50	6. 0	28. 0	16. 0	4. 0	12. 0	34. 0	
70~74歳	66	16. 7	22. 7	16. 7	3.0	10. 6	30. 3	
75歳以上	84	11. 9	28. 6	10. 7	8.3	10. 7	29.8	
年齢不詳	0	-	_	_	_	_	_	

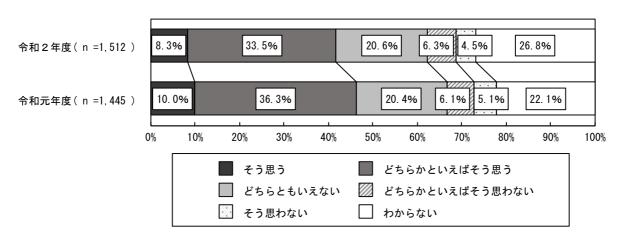
【多様性を認め合う(ダイバーシティ)社会の実現】

問 13 江東区は、性別、年齢、国籍、価値観、生き方など様々な違いを認め合い、だれもが尊重され、暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。 (○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「どちらかといえばそう思う」が33.5%で最も高く、次いで「わからない」(26.8%)となっている。
- 「そう思う」(8.3%)と「どちらかといえばそう思う」(33.5%)を合わせた『そう思う(計)』は41.8%となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が4.5ポイント減少している。

図表Ⅳ-35 多様性を認め合い暮らしやすいまちだと思う区民の割合



① 地区別

・ 地区別では、『そう思う(計)』の割合は、豊洲地区(47.6%)、亀戸地区(47.0%)、砂町地区(42.4%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-36 地区別多様性を認め合い暮らしやすいまちだと思う区民の割合

(%) どちらかといえ どちらともいえ どちらかといえ わからない そう思う そう思わない ばそう思う ない ばそう思わない 1.512 8.3 33.5 4. 5 26.8 全体 20.6 6.3 白河 129 4. 7 33.3 24. 8 3.9 5.4 27.9 117 27. 4 6.0 6.0 36.8 小松橋 6.8 17. 1 8.4 2. 5 119 27.7 6.7 28.6 富岡 26. 1 東陽 113 9.7 31.9 17. 7 7. 1 4. 4 29.2 豊洲 334 11. 1 36.5 17. 7 4. 5 4.8 25.4 166 亀戸 6.6 40.4 9.0 2. 4 26.5 15. 1 171 7.6 33.9 21. 1 8. 2 5.3 24.0 大島 226 21.7 6.6 4. 4 24.8 砂町 6.6 35.8 南砂 128 10.2 27.3 25. 8 6.3 4. 7 25.8 居住地区不詳 9 11.1 22. 2 44. 4 11.1 11. 1 0.0

- ・ 男女別にみると、『そう思う(計)』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、『そう思う(計)』の割合は、男性では 18~19 歳、30~39 歳、50~59 歳、65 歳 以上で男性全体を上回っている。女性では 18~24 歳、30~39 歳、45~64 歳、75 歳以上で女性全体 を上回っている。

図表Ⅳ-37 性年齢別多様性を認め合い暮らしやすいまちだと思う区民の割合

<男性>	<男性> (%)							
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない	
全体	602	8. 0	32. 1	21. 4	6. 5	5. 1	26. 9	
18~19歳	14	21. 4	21.4	28. 6	0.0	14. 3	14. 3	
20~24歳	13	7. 7	30.8	23. 1	15. 4	15. 4	7.7	
25~29歳	29	6. 9	31.0	24. 1	0.0	0.0	37. 9	
30~34歳	28	14. 3	32. 1	14. 3	0.0	3. 6	35. 7	
35~39歳	48	6. 3	37. 5	22. 9	4. 2	0.0	29. 2	
40~44歳	62	9. 7	27. 4	14. 5	16. 1	8. 1	24. 2	
45~49歳	69	4. 3	31.9	23. 2	4. 3	2. 9	33. 3	
50~54歳	49	10. 2	42. 9	12. 2	8. 2	2. 0	24. 5	
55~59歳	60	3. 3	38. 3	28. 3	3. 3	6. 7	20.0	
60~64歳	52	1. 9	11.5	25. 0	9. 6	11.5	40. 4	
65~69歳	42	7. 1	33. 3	26. 2	4. 8	4. 8	23. 8	
70~74歳	57	8.8	31.6	17. 5	12. 3	5. 3	24. 6	
75歳以上	78	12. 8	37. 2	21.8	2. 6	3.8	21.8	
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	

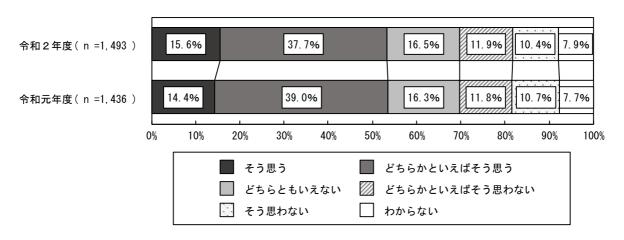
<女性>	<女性> (%)							
	n	そう思う		どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない	
全体	781	7. 6	35. 3	20. 0	6. 3	4. 2	26. 6	
18~19歳	12	25. 0	33. 3	8. 3	0.0	8. 3	25. 0	
20~24歳	28	3. 6	42. 9	14. 3	10. 7	17. 9	10. 7	
25~29歳	41	9. 8	31.7	12. 2	12. 2	4. 9	29. 3	
30~34歳	55	9. 1	40.0	5. 5	9. 1	3. 6	32. 7	
35~39歳	58	8. 6	37. 9	22. 4	1.7	0. 0	29. 3	
40~44歳	85	2. 4	35. 3	20. 0	5. 9	9. 4	27. 1	
45~49歳	103	5. 8	37. 9	19. 4	4. 9	1. 9	30. 1	
50~54歳	74	10. 8	36. 5	14. 9	9. 5	1.4	27. 0	
55~59歳	66	0.0	43. 9	22. 7	4. 5	6. 1	22. 7	
60~64歳	56	10. 7	37. 5	23. 2	10. 7	1.8	16. 1	
65~69歳	50	6. 0	28. 0	26. 0	12. 0	0. 0	28. 0	
70~74歳	67	9. 0	23. 9	31. 3	1.5	6. 0	28. 4	
75歳以上	86	11. 6	31.4	23. 3	2. 3	3. 5	27. 9	
年齢不詳	0	_	_	_	_	_	_	

問 14 あなたは現在、仕事、家庭生活(家事・子育て・介護・家族との交流)、地域・個人の生活 (地域活動・趣味・学習・休養)を自分が希望するバランスで実現することができていると 思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「どちらかといえばそう思う」が 37.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(16.5%)となっている。
- ・ 「そう思う」(15.6%)と「どちらかといえばそう思う」(37.7%)を合わせた『そう思う(計)』は53.3%となっている。
- ・ 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-38 仕事、家庭生活などと自分が希望するバランスがとれていると思う区民の割合



① 地区别

・ 地区別では、『そう思う(計)』の割合は、小松橋地区(57.3%)、豊洲地区(60.1%)、亀戸地 区(56.4%)、南砂地区(54.6%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-39 地区別仕事、家庭生活などと自分が希望するバランスがとれていると思う区民の割合

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	1, 493	15. 6	37. 7	16. 5	11. 9	10. 4	7. 9
白河	129	17. 1	34. 9	14. 0	18. 6	8. 5	7.0
小松橋	117	23. 1	34. 2	12. 0	7. 7	12. 8	10.3
富岡	117	15. 4	36. 8	17. 9	14. 5	6. 8	8.5
東陽	110	22. 7	29. 1	15. 5	10. 9	11.8	10.0
豊洲	331	17. 2	42. 9	12. 7	9. 4	12. 1	5. 7
亀戸	163	14. 7	41. 7	12. 9	16. 0	9. 8	4. 9
大島	169	11.8	32. 5	22. 5	11. 8	12. 4	8.9
砂町	222	9. 5	37. 8	24. 3	10. 8	7. 2	10.4
南砂	128	14. 8	39. 8	14. 8	10. 2	12. 5	7. 8
居住地区不詳	7	0.0	42. 9	28. 6	14. 3	0.0	14. 3

- ・ 男女別にみると、『そう思う(計)』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、『そう思う(計)』の割合は、男性では $18\sim29$ 歳、 $35\sim39$ 歳、 $45\sim59$ 歳で男性 全体を上回っている。女性では $20\sim24$ 歳、 $30\sim39$ 歳、 $45\sim49$ 歳、 $55\sim59$ 歳、 $65\sim69$ 歳で女性全 体を上回っている。

図表Ⅳ-40 性年齢別仕事、家庭生活などと自分が希望するバランスがとれていると思う区民の割合

<男性>							(%)
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	594	17. 0	36. 7	16. 7	9.9	11.8	7. 9
18~19歳	14	42. 9	28. 6	0.0	14. 3	14. 3	0.0
20~24歳	12	25. 0	58. 3	0.0	0.0	8. 3	8.3
25~29歳	29	44. 8	34. 5	6. 9	10.3	0.0	3. 4
30~34歳	28	10. 7	32. 1	25. 0	7. 1	21. 4	3. 6
35~39歳	48	12. 5	43.8	16. 7	10. 4	12. 5	4. 2
40~44歳	62	16. 1	30. 6	16. 1	17.7	12. 9	6.5
45~49歳	70	14. 3	50.0	11. 4	8.6	7. 1	8.6
50~54歳	49	22. 4	36. 7	10. 2	8. 2	12. 2	10. 2
55~59歳	59	13. 6	42. 4	10. 2	11.9	18. 6	3. 4
60~64歳	51	7. 8	41. 2	19. 6	9.8	15. 7	5. 9
65~69歳	42	16. 7	33. 3	28. 6	7. 1	14. 3	0.0
70~74歳	54	13. 0	27. 8	20. 4	11.1	13. 0	14.8
75歳以上	75	17. 3	25. 3	26. 7	6. 7	5. 3	18. 7
年齡不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

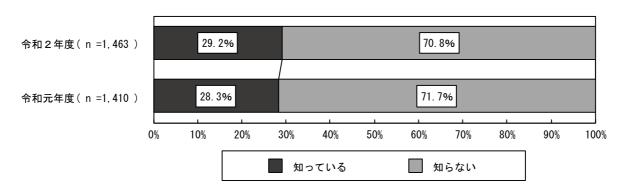
<女性>							(%)
	n	そう思う		どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	775	14. 7	39. 4	15. 0	14. 2	9.8	7.0
18~19歳	12	0.0	41.7	25. 0	8. 3	8. 3	16. 7
20~24歳	28	21. 4	53. 6	0.0	3. 6	3. 6	17. 9
25~29歳	41	17. 1	31.7	4. 9	26.8	9. 8	9.8
30~34歳	55	23. 6	38. 2	12. 7	21.8	3. 6	0.0
35~39歳	57	12. 3	43. 9	15. 8	19. 3	8. 8	0.0
40~44歳	85	12. 9	41. 2	11. 8	16.5	12. 9	4. 7
45~49歳	102	11.8	49. 0	9. 8	15. 7	10. 8	2. 9
50~54歳	73	15. 1	35. 6	19. 2	13. 7	13. 7	2. 7
55~59歳	66	15. 2	43. 9	10. 6	18. 2	10. 6	1.5
60~64歳	55	14. 5	27. 3	23. 6	16. 4	12. 7	5. 5
65~69歳	50	16. 0	46. 0	18. 0	2. 0	6. 0	12.0
70~74歳	66	16. 7	36. 4	22. 7	7. 6	6. 1	10.6
75歳以上	85	11.8	28. 2	20. 0	8. 2	11.8	20.0
年齡不詳	0	_	_	_	_	_	_

問 15 あなたは、「ドメスティックバイオレンス(DV=配偶者等からの暴力)」について相談できる窓口を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「知らない」が70.8%で、「知っている」(29.2%)を上回っている。
- 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-41 ドメスティックバイオレンスについて相談できる窓口の認知度



① 地区別

・ 地区別では、「知っている」の割合は、小松橋地区(33.0%)、富岡地区(30.3%)、豊洲地区(31.1%)、 大島地区(32.1%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-42 地区別ドメスティックバイオレンスについて相談できる窓口の認知度

知らない 知っている 全体 1, 463 29. 2 70.8 124 27. 4 72.6 白河 67.0 115 小松橋 33.0 富岡 119 30.3 69.7 108 74. 1 東陽 25. 9 豊洲 325 31.1 68.9 亀戸 159 28. 3 71.7 大島 162 32. 1 67.9 220 27. 7 72. 3 砂町 124 25. 0 75.0 南砂 7 14. 3 85.7 居住地区不詳

- ・ 男女別にみると、「知っている」の割合は、女性(33.1%)の方が男性(24.5%)より 8.6 ポイント高くなっている。
- ・ 年齢別にみると、「知っている」の割合は、男性では 20~24 歳、35~49 歳、55~59 歳、70~74 歳 で男性全体を上回っている。女性では 30~59 歳、65~69 歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-43 性年齢別ドメスティックバイオレンスについて相談できる窓口の認知度

<男性>			(%)
	n	知っている	知らない
全体	588	24. 5	75. 5
18~19歳	13	15. 4	84. 6
20~24歳	12	33. 3	66. 7
25~29歳	28	10. 7	89. 3
30~34歳	28	17. 9	82. 1
35~39歳	48	31. 3	68. 8
40~44歳	61	24. 6	75. 4
45~49歳	69	29. 0	71.0
50~54歳	49	18. 4	81. 6
55~59歳	60	31. 7	68. 3
60~64歳	51	17. 6	82. 4
65~69歳	42	23. 8	76. 2
70~74歳	52	30. 8	69. 2
75歳以上	74	23. 0	77. 0
年齢不詳	1	0. 0	100.0

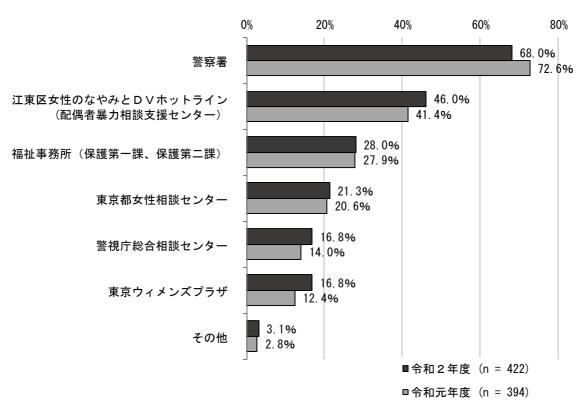
<女性>			(%)
	n	知っている	知らない
全体	762	33. 1	66. 9
18~19歳	12	0.0	100.0
20~24歳	28	21. 4	78. 6
25~29歳	40	17. 5	82. 5
30~34歳	54	38. 9	61. 1
35~39歳	58	43. 1	56. 9
40~44歳	85	34. 1	65. 9
45~49歳	103	36. 9	63. 1
50~54歳	74	41. 9	58. 1
55~59歳	65	40. 0	60. 0
60~64歳	54	29. 6	70. 4
65~69歳	47	36. 2	63.8
70~74歳	65	29. 2	70. 8
75歳以上	77	22. 1	77. 9
年齢不詳	0	_	_

問 15-1 問 15 で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。 相談できると知っていた窓口(機関)を次の中から、あてはまるものを選び○印をおつけく ださい。(○はいくつでも)

<全体/経年比較>

- ・ 相談できると知っていた相談窓口では、「警察署」が 68.0%で最も高く、次いで「江東区女性のな やみと DV ホットライン(配偶者暴力相談支援センター)」(46.0%)となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「江東区女性のなやみと DV ホットライン(配偶者暴力相談支援センター)」 が 4.6 ポイント増加、「警察署」が 4.6 ポイント減少している。

図表Ⅳ-44 ドメスティックバイオレンスについて相談窓口



【生涯にわたり学習できる環境の充実】

問 16 あなたは、以下のような学習講座や地域の集まりなどに参加していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

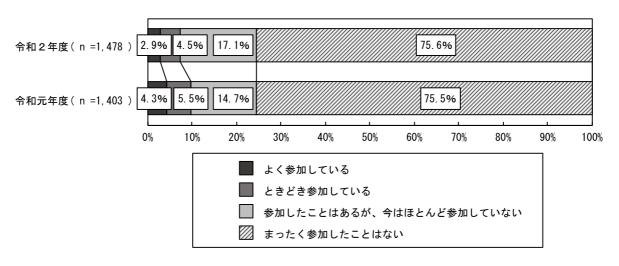
【学習講座や地域の集まりの例】

①趣味(茶道・生け花・囲碁・将棋など)、②教養(英会話など)、③芸術、④文化、⑤教室(料理など)

<全体/経年比較>

- ・ 「まったく参加したことはない」が 75.6%で最も高く、次いで「参加したことはあるが、今はほと んど参加していない」 (17.1%) となっている。
- ・ 「よく参加している」 (2.9%) と「ときどき参加している」 (4.5%) を合わせた『参加している (計)』 の割合は 7.4%となっている。
- · 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-45 生涯学習講座や地域の集まりなどに参加している区民の割合



① 地区别

・ 地区別では、『参加している(計)』の割合は、富岡地区(10.1%)、東陽地区(9.0%)、砂町 地区(10.0%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-46 地区別生涯学習講座や地域の集まりなどに参加している区民の割合

	n	よく参加している	ときどき参加してい る	参加したことはある が、今はほとんど参 加していない	まったく参加したこ とはない
全体	1, 478	2. 9	4. 5	17. 1	75. 6
白河	129	0.8	3.9	14. 0	81.4
小松橋	114	3. 5	0.9	15. 8	79.8
富岡	119	3. 4	6. 7	19. 3	70. 6
東陽	112	2. 7	6.3	13. 4	77.7
豊洲	326	1.8	4. 9	17. 8	75. 5
亀戸	159	3. 1	3.8	18. 2	74. 8
大島	169	2. 4	4. 7	20. 1	72. 8
砂町	220	4. 5	5. 5	15. 5	74. 5
南砂	123	4. 9	2. 4	17. 1	75. 6
居住地区不詳	7	0.0	0.0	28. 6	71. 4

- ・ 男女別にみると、『参加している(計)』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、『参加している(計)』の割合は、男性では 50~54歳、65歳以上で男性全体を 上回っている。女性では 50~54歳、60歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-47 性年齢別生涯学習講座や地域の集まりなどに参加している区民の割合

<男性> (%)

<u> </u>					(70)
	n	よく参加している	ときどき参加してい る	参加したことはある が、今はほとんど参 加していない	まったく参加したこ とはない
全体	587	2. 4	4. 3	11.4	81. 9
18~19歳	14	0.0	0.0	42. 9	57. 1
20~24歳	12	0.0	0.0	8.3	91. 7
25~29歳	28	0.0	0.0	10. 7	89. 3
30~34歳	28	0.0	0.0	7. 1	92. 9
35~39歳	47	4. 3	2. 1	8.5	85. 1
40~44歳	61	0.0	4. 9	6.6	88. 5
45~49歳	66	1.5	0.0	13. 6	84. 8
50~54歳	48	2. 1	6.3	6.3	85. 4
55~59歳	60	1.7	1.7	13. 3	83. 3
60~64歳	51	0.0	3.9	3.9	92. 2
65~69歳	41	2. 4	14. 6	9.8	73. 2
70~74歳	57	1.8	10. 5	12. 3	75. 4
75歳以上	73	9. 6	4. 1	17.8	68. 5
年齡不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0

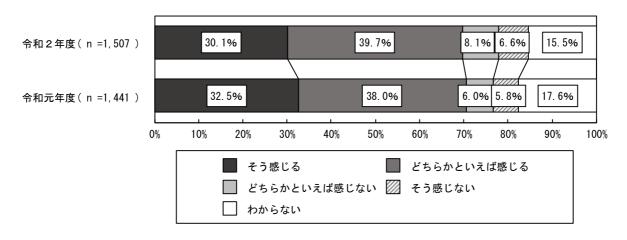
	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはある が、今はほとんど参 加していない	まったく参加したこ とはない
全体	767	2. 9	5.0	20. 5	71.7
18~19歳	12	0.0	0.0	25. 0	75. 0
20~24歳	28	0.0	0.0	17. 9	82. 1
25~29歳	41	0.0	2. 4	4. 9	92. 7
30~34歳	54	1.9	0.0	9.3	88. 9
35~39歳	56	1.8	1.8	7. 1	89. 3
40~44歳	85	1. 2	5. 9	14. 1	78. 8
45~49歳	103	1.0	4. 9	16. 5	77.7
50~54歳	74	2. 7	6.8	17. 6	73.0
55~59歳	64	0.0	4. 7	37. 5	57.8
60~64歳	54	0.0	9.3	33. 3	57. 4
65~69歳	50	8. 0	2. 0	26. 0	64. 0
70~74歳	64	6. 3	6.3	29. 7	57.8
75歳以上	82	9.8	9.8	26.8	53. 7
年齢不詳	0	_	_	_	_

問 17 あなたは、図書館が学びの場として役に立っていると感じていますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は 1 つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「どちらかといえばそう感じる」が 39.7%で最も高く、次いで「そう感じる」(30.1%)となっている。
- ・ これらを合わせた『そう感じる(計)』は69.8%となっている。
- · 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-48 図書館が学びの場として役立っていると感じる区民の割合



① 地区別

居住地区不詳

7

14. 3

・ 地区別では、『そう感じる(計)』の割合は、白河地区(73.8%)、東陽地区(76.1%)、亀戸地区(71.4%)、砂町地区(70.6%)、南砂地区(71.8%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-49 地区別図書館が学びの場として役立っていると感じる区民の割合

(%) どちらかといえ どちらかといえ n そう感じる そう感じない わからない ば感じる ば感じない 1,507 39. 7 15.5 全体 30. 1 8. 1 6.6 白河 130 21.5 52. 3 5. 4 6. 2 14.6 小松橋 116 27. 6 35. 3 9.5 7.8 19.8 10. 1 7.6 14.3 富岡 119 30.3 37.8 東陽 113 36. 3 39.8 3. 5 4.4 15.9 334 32. 3 37. 1 13.5 豊洲 9.9 7.2 7. 3 11.6 亀戸 164 29.9 41.5 9.8 大島 171 26. 3 39. 2 8. 2 8.8 17.5 40.4 19.1 砂町 225 30. 2 7. 1 3.1 南砂 128 35. 9 35. 9 10. 2 3.9 14.1

57. 1

0.0

14.3

14.3

- ・ 男女別にみると、『そう感じる(計)』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、『そう感じる(計)』の割合は、男性で25~29歳、40~44歳、50~54歳、60~64歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18~39歳、50~59歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-50 性年齢別図書館が学びの場として役立っていると感じる区民の割合

<男性> (%)

CHIL)	n	そう感じる	どちらかといえ ば感じる	どちらかといえ ば感じない	そう感じない	わからない
全体	601	31.9	38. 1	7. 0	7.7	15. 3
18~19歳	14	35. 7	21. 4	7. 1	21.4	14. 3
20~24歳	12	8. 3	58. 3	0.0	8.3	25. 0
25~29歳	29	48. 3	24. 1	3. 4	6. 9	17. 2
30~34歳	28	21. 4	35. 7	3. 6	7. 1	32. 1
35~39歳	48	27. 1	37. 5	8. 3	4. 2	22. 9
40~44歳	63	23. 8	47. 6	4. 8	12. 7	11. 1
45~49歳	70	28. 6	41. 4	7. 1	11. 4	11.4
50~54歳	49	40. 8	36. 7	8. 2	4. 1	10. 2
55~59歳	60	31. 7	38. 3	8. 3	8. 3	13. 3
60~64歳	52	38. 5	38. 5	5. 8	5.8	11.5
65~69歳	43	27. 9	30. 2	14. 0	9.3	18. 6
70~74歳	55	27. 3	38. 2	10. 9	9. 1	14. 5
75歳以上	77	41. 6	39. 0	3. 9	1.3	14. 3
年齡不詳	1	0.0	0. 0	0.0	0.0	100.0

<女性> (%)

	n	そう感じる	どちらかといえ ば感じる	どちらかといえ ば感じない	そう感じない	わからない
全体	781	28. 2	42. 3	9. 1	5. 9	14. 6
18~19歳	12	50. 0	33. 3	8. 3	0.0	8.3
20~24歳	28	42. 9	35. 7	10. 7	3. 6	7. 1
25~29歳	41	26. 8	46. 3	0. 0	2. 4	24. 4
30~34歳	55	40. 0	34. 5	7. 3	1.8	16. 4
35~39歳	58	36. 2	36. 2	6. 9	12. 1	8.6
40~44歳	85	15. 3	54. 1	14. 1	4. 7	11.8
45~49歳	103	22. 3	45. 6	7. 8	12. 6	11.7
50~54歳	74	35. 1	47. 3	10. 8	1.4	5. 4
55~59歳	66	33. 3	43. 9	10. 6	6. 1	6. 1
60~64歳	56	19. 6	50. 0	12. 5	8. 9	8.9
65~69歳	50	24. 0	34. 0	14. 0	6.0	22.0
70~74歳	66	33. 3	33. 3	9. 1	4. 5	19. 7
75歳以上	87	21. 8	37. 9	4. 6	3. 4	32. 2
年齡不詳	0	_	_	_	-	_

【スポーツを楽しめる環境の充実】

問 18 あなたは、週にどれくらいの頻度でスポーツ・運動を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- 「しない」が41.0%で最も高く、次いで「週1日」(20.3%)となっている。
- ・ 「しない」(41.0%)を除いた『週1日以上』スポーツ・運動を行う人の割合は59.0%となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、『週1日以上』が13.9ポイントと大きく増加している。

20.3% 13.2% 16.9% 8.6% 41.0% 令和2年度(n=1,504) 10.9% 10.5% 3.7% 54.9% 20.0% 令和元年度(n=1,440) 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■ 週2日 週1日 週3日以上週6日以下 毎日 しない

図表Ⅳ-51 スポーツ・運動の頻度

① 地区別

・ 地区別では、『週1日以上』の割合は、小松橋地区(64.9%)、富岡地区(60.5%)、東陽地区(72.6%)、 豊洲地区(59.7%)、亀戸地区(66.8%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-52 地区別スポーツ・運動の頻度

	n	週 1 日	週2日	週3日以上週6 日以下	毎日	しない
全体	1, 504	20. 3	13. 2	16. 9	8. 6	41.0
白河	129	21. 7	12. 4	14. 0	10. 1	41.9
小松橋	117	26. 5	12. 0	17. 9	8. 5	35.0
富岡	119	20. 2	12. 6	15. 1	12. 6	39. 5
東陽	113	19. 5	20. 4	22. 1	10. 6	27. 4
豊洲	333	22. 8	12. 9	17. 1	6. 9	40. 2
亀戸	163	23. 9	16. 6	20. 2	6. 1	33. 1
大島	172	13. 4	11. 6	14. 5	9. 3	51.2
砂町	224	17. 0	12. 1	15. 2	9.8	46. 0
南砂	127	18. 1	9. 4	16. 5	6. 3	49. 6
居住地区不詳	7	14. 3	14. 3	28. 6	14. 3	28. 6

- ・ 男女別にみると、『週1日以上』の割合は、男性(62.8%)の方が女性(56.7%)より6.1ポイント高くなっている。
- ・ 年齢別にみると、『週1日以上』の割合は、男性では45~64歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では45~64歳、70歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-53 性年齢別スポーツ・運動の頻度

<男性> (%) 週3日以上週6 週2日 毎日 n 週1日 しない 日以下 全体 601 21.3 13.6 18.6 9.3 37.1 14 14. 3 14. 3 21.4 50.0 18~19歳 0.0 12 0.0 50.0 20~24歳 8.3 25. 0 16.7 25~29歳 29 13.8 17. 2 13.8 6.9 48.3 30~34歳 28 25. 0 21.4 14. 3 0.0 39.3 27. 1 43.8 35~39歳 48 10.4 12. 5 6.3 23.8 40~44歳 63 19.0 11. 1 1.6 44.4 70 45~49歳 30.0 11.4 15. 7 11.4 31.4 50~54歳 49 30.6 18. 4 22. 4 12. 2 16.3 55~59歳 60 35.0 6. 7 20.0 6.7 31.7 60~64歳 52 28.8 13.5 17. 3 3.8 36.5 65~69歳 43 9.3 16.3 18.6 7.0 48.8 70~74歳 56 5. 4 8. 9 32. 1 16. 1 37.5 76 34. 2 75歳以上 10.5 14. 5 19. 7 21.1 年齢不詳 1 0.0 0.0 100.0 0.0 0.0

<女性>	<女性>									
	n	週1日	週2日	週3日以上週6日以下	毎日	しない				
全体	780	20. 3	13. 6	15. 6	7. 2	43.3				
18~19歳	12	8. 3	25. 0	0.0	8.3	58. 3				
20~24歳	28	21. 4	10. 7	10. 7	0.0	57. 1				
25~29歳	41	14. 6	2. 4	17. 1	7. 3	58. 5				
30~34歳	55	18. 2	16. 4	10. 9	5. 5	49. 1				
35~39歳	58	24. 1	12. 1	6. 9	3. 4	53. 4				
40~44歳	85	31.8	10. 6	10. 6	1.2	45. 9				
45~49歳	103	32. 0	14. 6	15. 5	5. 8	32. 0				
50~54歳	74	24. 3	17. 6	12. 2	4. 1	41.9				
55~59歳	66	18. 2	12. 1	21. 2	7. 6	40. 9				
60~64歳	56	16. 1	16. 1	21. 4	14. 3	32. 1				
65~69歳	50	6. 0	12. 0	22. 0	14. 0	46. 0				
70~74歳	66	12. 1	15. 2	21. 2	12. 1	39. 4				
75歳以上	86	12. 8	15. 1	19. 8	10.5	41.9				
年齢不詳	0	-	-	-	-	-				

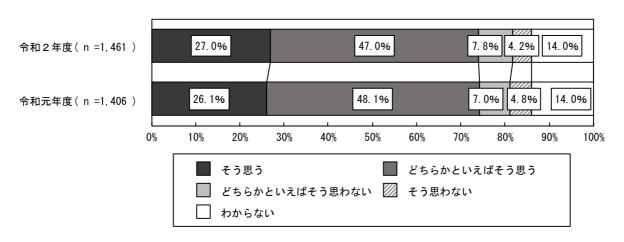
【文化・歴史の継承と観光振興】

問 19 あなたは、江東区内に魅力的な文化観光資源があると思いますか。あてはまるものを選び○ 印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「どちらかといえばそう思う」が47.0%で最も高く、次いで「そう思う」(27.0%)となっている。
- ・ これらを合わせた『そう思う(計)』は74.0%となっている。
- ・ 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-54 江東区内に魅力的な文化観光資源があるという認識



① 地区別

・ 地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(82.0%)、富岡地区(78.6%)、東陽地区(78.9%)、亀戸地区(76.7%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-55 地区別江東区内に魅力的な文化観光資源があるという認識

						(70)
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	1, 461	27. 0	47. 0	7. 8	4. 2	14. 0
白河	128	32. 8	49. 2	4. 7	4. 7	8. 6
小松橋	113	30. 1	42. 5	6. 2	4. 4	16.8
富岡	117	31. 6	47. 0	7. 7	0.9	12. 8
東陽	109	25. 7	53. 2	4. 6	3.7	12. 8
豊洲	327	27. 5	44. 6	9. 8	4. 6	13. 5
亀戸	159	25. 8	50. 9	6. 3	3.8	13. 2
大島	167	23. 4	47. 9	9. 0	4.8	15. 0
砂町	215	23. 7	46. 0	11. 6	3. 3	15. 3
南砂	120	25. 8	44. 2	4. 2	7. 5	18. 3
居住地区不詳	6	33. 3	50. 0	0.0	0.0	16. 7

年齢不詳

1

0.0

- ・ 男女別にみると、『そう思う(計)』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、『そう思う(計)』の割合は、男性では 18~24 歳、45~59 歳、70 歳以上で男性 全体を上回っている。女性では 35~39 歳、45~69 歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-56 性年齢別江東区内に魅力的な文化観光資源があるという認識

<男性> (%) どちらかといえ どちらかといえ n そう思う そう思わない わからない ばそう思う ばそう思わない 全体 12. 2 589 26. 5 46. 5 9.5 5.3 18~19歳 7. 1 14 35. 7 50.0 0.0 7. 1 20~24歳 12 25. 0 8.3 50.0 16. 7 0.0 17. 2 25~29歳 29 48. 3 24. 1 3.4 6.9 30~34歳 7. 1 35.7 28 25.0 32. 1 0.0 48 18.8 35~39歳 16.7 50.0 8.3 6.3 9.7 62 41.9 14. 5 9.7 40~44歳 24. 2 17. 4 2.9 45~49歳 69 29.0 44. 9 5.8 49 14.3 50~54歳 28. 6 46. 9 8. 2 2.0 60 8.3 55~59歳 25. 0 50.0 13. 3 3.3 50 2.0 18.0 60~64歳 18.0 52. 0 10.0 42 65~69歳 26. 2 42. 9 4. 8 14.3 11.9 70~74歳 52 17. 3 59.6 9.6 3.8 9.6 75歳以上 73 41.1 43.8 4. 1 1.4 9.6

0.0

100.0

0.0

0.0

<女性>						(%)
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	755	28. 2	47. 7	6. 6	3.3	14. 2
18~19歳	12	58. 3	16. 7	0.0	8.3	16. 7
20~24歳	28	28. 6	39. 3	10. 7	7. 1	14. 3
25~29歳	41	34. 1	31. 7	7. 3	7. 3	19. 5
30~34歳	54	24. 1	50. 0	7. 4	1.9	16. 7
35~39歳	57	22. 8	57. 9	7. 0	0.0	12. 3
40~44歳	83	18. 1	53. 0	9. 6	3. 6	15. 7
45~49歳	99	30. 3	47. 5	9. 1	4.0	9. 1
50~54歳	74	32. 4	51. 4	5. 4	1.4	9. 5
55~59歳	65	35. 4	52. 3	3. 1	3. 1	6. 2
60~64歳	54	24. 1	53. 7	3. 7	5. 6	13.0
65~69歳	46	32. 6	43. 5	13. 0	4. 3	6.5
70~74歳	63	27. 0	39. 7	3. 2	3. 2	27. 0
75歳以上	79	26. 6	46. 8	3.8	1.3	21.5
年齢不詳	0	-	_	-	-	-

間 19-1 間 19 で「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」を選んだ方におたずねします。 あなたにとって魅力的だと思う観光資源を次の中から、あてはまるものを選び〇印をつけ てください。(〇はいくつでも)

<全体/経年比較>

- ・ 魅力的な文化観光資源としては、「東京都現代美術館、日本科学未来館、深川江戸資料館などの美術館・科学館・博物館・資料館」が77.8%で最も高く、次いで「神社仏閣・文化財・史跡」(68.8%)となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「河川運河、東京湾、遊歩道、親水公園などの水辺環境」が8.9 ポイント増加、「祭り・イベント」が11.1 ポイント減少している。

図表Ⅳ-57 魅力的だと思う文化観光資源 0% 20% 40% 60% 80% 100% 東京都現代美術館、日本科学未来館、深川江戸 77.8% 資料館などの美術館・科学館・博物館・資料館 73.8% 68.8% 神社仏閣・文化財・史跡 66.6% 河川運河、東京湾、遊歩道、 63.0% 親水公園などの水辺環境 54.1% 52. 0% 祭り・イベント 63.1% 49.4% 江戸切子、木場の角乗などの伝統工芸・民俗芸能 48.8% 大江戸温泉物語、パレットタウン、 39.6% キッザニア東京などの娯楽施設 37. 7% 38.5% 豊洲市場及び関連施設 40.4% オリンピック・パラリンピック開催競技場 38.0% 42.0% などのスポーツ施設 キャンプ・バーベキューなどアウトドアが 35.6% 31.9% 体験できる公園・施設 35.0% ゲートブリッジ、永代橋、夢の大橋などの橋 31.9% 34.9% 郷土料理(深川めし)やご当地グルメなどの食文化 34.6% 2.3% その他 3.1% ■令和2年度(n = 1,072)

■令和元年度 (n = 1,036)

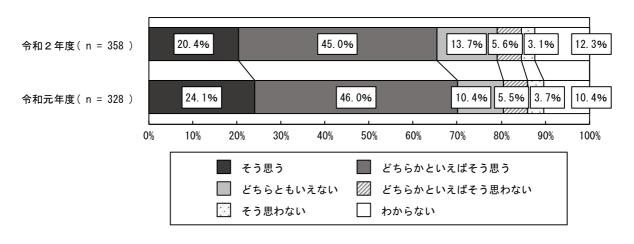
【切れ目のない支援による母子保健の充実】

問 20 中学生以下のお子さんがいる保護者の方におたずねします。 江東区は健診、相談支援、産前・産後支援等の母子保健サービスが充実していると思います か。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「どちらかといえばそう思う」が 45.0%で最も高く、次いで「そう思う」(20.4%)となっている。
- ・ これらを合わせた『そう思う(計)』が65.4%となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が4.7ポイント減少している。

図表Ⅳ-58 母子保健サービスが充実していると思う区民の割合



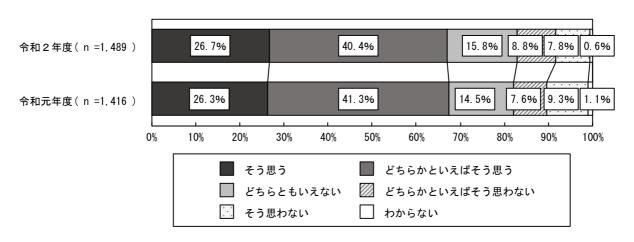
【健康づくりの推進と保健・医療体制の充実】

問 21 あなたは、ご自身が健康であると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。 (○は 1 つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「どちらかといえばそう思う」が 40.4%で最も高く、次いで「そう思う」(26.7%)となっている。
- ・ これらを合わせた『そう思う(計)』が67.1%となっている。
- ・ 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-59 自分が健康である認識



① 地区別

・ 地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(75.0%)、小松橋地区(68.1%)、豊洲地区(71.7%)、亀戸地区(70.7%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-60 地区別自分が健康である認識

(%) どちらかといえ どちらともいえ どちらかといえ そう思う そう思わない わからない ばそう思わない ばそう思う ない 1, 489 26.7 40.4 15.8 8.8 7.8 0.6 全体 白河 128 28. 1 46.9 12. 5 8.6 3.9 0.0 小松橋 116 32.8 35.3 18. 1 3.4 8.6 1.7 富岡 118 28.8 35.6 16.9 7.6 9.3 1.7 112 0.0 東陽 23. 2 37. 5 19.6 8.0 11.6 豊洲 329 41.9 13. 1 7. 6 7. 6 0.0 29.8 亀戸 164 28.0 42.7 12. 2 10.4 5.5 1.2 170 18. 2 11. 2 8. 2 1.2 大島 18.8 42.4 0.5 砂町 216 25. 9 38.0 16. 2 10.6 8.8 127 11.0 7. 9 南砂 22. 0 40. 2 18. 9 0.0 9 33.3 33. 3 33. 3 0.0 0.0 0.0 居住地区不詳

- ・ 男女別にみると、『そう思う(計)』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、『そう思う(計)』の割合は、男性では 20~29 歳、35~54 歳で男性全体を上回っている。女性では 18~49 歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-61 性年齢別自分が健康である認識

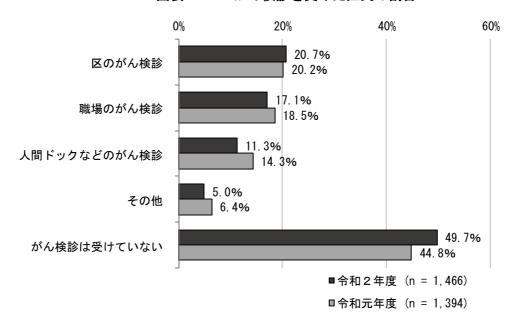
<男性>							(%)
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	594	26. 6	41.4	14. 0	9. 1	7. 9	1.0
18~19歳	14	57. 1	7. 1	7. 1	14. 3	14. 3	0.0
20~24歳	13	30. 8	61.5	7. 7	0.0	0.0	0.0
25~29歳	29	48. 3	27. 6	17. 2	6. 9	0.0	0.0
30~34歳	28	32. 1	32. 1	21. 4	3. 6	3. 6	7. 1
35~39歳	48	35. 4	33. 3	14. 6	12. 5	4. 2	0.0
40~44歳	63	25. 4	47. 6	4. 8	11.1	9. 5	1.6
45~49歳	70	28. 6	42. 9	15. 7	8. 6	4. 3	0.0
50~54歳	48	29. 2	50.0	10. 4	4. 2	4. 2	2. 1
55~59歳	60	16. 7	46. 7	11. 7	11.7	11.7	1.7
60~64歳	51	13. 7	51.0	17. 6	9.8	7. 8	0.0
65~69歳	43	16. 3	41.9	16. 3	4. 7	20. 9	0.0
70~74歳	54	29. 6	35. 2	18. 5	11.1	5. 6	0.0
75歳以上	72	22. 2	38. 9	15. 3	11.1	11. 1	1.4
年齡不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<女性> (%)									
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない		
全体	774	27. 0	41. 2	15. 9	8. 3	7. 2	0.4		
18~19歳	12	75. 0	16. 7	0. 0	0.0	8. 3	0.0		
20~24歳	28	42. 9	42. 9	7. 1	3. 6	3. 6	0.0		
25~29歳	40	47. 5	30. 0	7. 5	12. 5	0. 0	2. 5		
30~34歳	55	41.8	43. 6	7. 3	5. 5	1.8	0.0		
35~39歳	58	25. 9	51. 7	8. 6	10. 3	3. 4	0.0		
40~44歳	85	23. 5	47. 1	16. 5	7. 1	5. 9	0.0		
45~49歳	103	23. 3	48. 5	17. 5	8. 7	1. 9	0.0		
50~54歳	74	24. 3	43. 2	16. 2	10.8	5. 4	0.0		
55~59歳	65	20. 0	43. 1	21. 5	7. 7	7. 7	0.0		
60~64歳	53	18. 9	43. 4	13. 2	9. 4	15. 1	0.0		
65~69歳	48	25. 0	33. 3	25. 0	10. 4	6. 3	0.0		
70~74歳	67	28. 4	31. 3	22. 4	7. 5	9. 0	1.5		
75歳以上	86	17. 4	33. 7	19. 8	7. 0	20. 9	1.2		
年齡不詳	0	_	_	_	_	_	_		

問 22 あなたは、この 1 年間で何らかのがん検診を受けましたか。あてはまるものを選び○印をおっけください。(○はいくつでも)

<全体/経年比較>

- ・ 「がん検診は受けていない」が 49.7%で最も高く、次いで「区のがん検診」(20.7%)となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「がん検診は受けていない」が4.9ポイント増加している。



図表Ⅳ-62 がん検診を受けた区民の割合

① 地区別

・ 地区別では、いずれの地区でも1位は「がん検診は受けていない」となっている。白河地区、小松 橋地区、豊洲地区では「職場のがん検診」が2位で、富岡地区、東陽地区、亀戸地区、大島地区、 砂町地区、南砂地区では「区のがん検診」が2位となっている。

図表Ⅳ-63 地区別がん検診を受けた区民の割合

						(%)
	n	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックなど のがん検診	その他	がん検診は受け ていない
全体	1, 466	20. 7	17. 1	11. 3	5. 0	49.7
白河	127	18. 1	22. 8	12. 6	4. 7	45. 7
小松橋	112	18. 8	19. 6	10. 7	2. 7	51.8
富岡	118	22. 0	16. 1	11. 0	2. 5	50.0
東陽	112	22. 3	14. 3	12. 5	8.9	45. 5
豊洲	327	19. 6	20. 8	14. 4	2. 1	47. 7
亀戸	158	22. 8	17. 1	13. 9	7.0	44. 3
大島	169	19. 5	13. 0	7. 7	8.3	54. 4
砂町	212	22. 6	13. 2	7. 5	6. 1	53.8
南砂	123	20. 3	15. 4	10. 6	4. 9	52. 8
居住地区不詳	8	25. 0	12. 5	0.0	0.0	62. 5

- ・ 男女別にみると、何らかのがん検診を受けた区民の割合 (n-i) がん検診は受けていない/n は、女性 (53.8%) の方が男性 (45.4%) より 8.4 ポイント高くなっている。
- ・ 何らかのがん検診を受けた区民の内、男性では「職場のがん検診」が 18.2%で最も高く、女性では「区のがん検診」が 24.7%で最も高くなっている。
- ・ 年齢別にみると、何らかのがん検診を受けた区民の割合は、男性では 40~49 歳、55 歳以上で 男性全体を上回っている。女性では 35~64 歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-64 性年齢別がん検診を受けた区民の割合

<男性>	<男性>									
	n	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックなど のがん検診	その他	がん検診は受け ていない				
全体	584	13. 4	18. 2	12. 3	3.6	54. 6				
18~19歳	13	0.0	0.0	0. 0	0.0	100.0				
20~24歳	13	0. 0	7. 7	0. 0	0.0	92. 3				
25~29歳	29	0. 0	6. 9	0. 0	0.0	93. 1				
30~34歳	28	0. 0	7. 1	7. 1	0.0	85. 7				
35~39歳	48	0. 0	14. 6	8. 3	2. 1	75. 0				
40~44歳	63	3. 2	30. 2	23. 8	1.6	42. 9				
45~49歳	70	7. 1	31. 4	10. 0	0.0	51.4				
50~54歳	48	10. 4	20. 8	14. 6	2. 1	56. 3				
55~59歳	60	10. 0	40. 0	16. 7	0.0	35. 0				
60~64歳	50	14. 0	26. 0	20. 0	8.0	40.0				
65~69歳	42	26. 2	9. 5	16. 7	7. 1	45. 2				
70~74歳	54	27. 8	3. 7	13. 0	11. 1	48. 1				
75歳以上	65	41. 5	0.0	4. 6	7.7	46. 2				
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0				

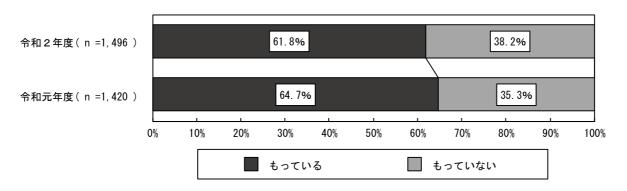
_<女性> (%)													
	n	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックなど のがん検診	その他	がん検診は受け ていない							
全体	764	24. 7	17. 7	11. 1	5. 4	46. 2							
18~19歳	12	8. 3	8. 3	0.0	0.0	91. 7							
20~24歳	28	10. 7	10. 7	3. 6	0.0	75. 0							
25~29歳	41	12. 2	14. 6	0.0	2. 4	70. 7							
30~34歳	55	23. 6	20. 0	5. 5	5. 5	47. 3							
35~39歳	58	19. 0	20. 7	15. 5	6. 9	44. 8							
40~44歳	84	21. 4	32. 1	14. 3	1.2	36. 9							
45~49歳	103	24. 3	31. 1	10. 7	2. 9	35. 9							
50~54歳	74	23. 0	28. 4	18. 9	5. 4	35. 1							
55~59歳	66	24. 2	18. 2	21. 2	3.0	42. 4							
60~64歳	53	22. 6	15. 1	13. 2	11.3	43. 4							
65~69歳	48	25. 0	2. 1	20. 8	10.4	50.0							
70~74歳	63	36. 5	0.0	4. 8	4.8	54. 0							
75歳以上	79	41. 8	1. 3	1. 3	11. 4	46.8							
年齢不詳	0	-	_		_	_							

問23 あなたは、①かかりつけ医・②かかりつけ歯科医・③かかりつけ薬局をもっていますか。それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つずつ)

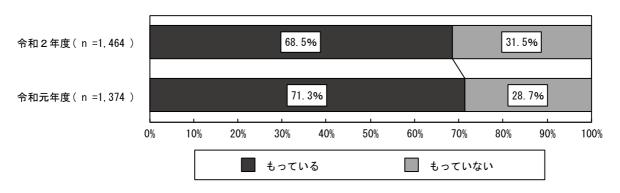
<全体/経年比較>

- 「もっている」の割合でみると、"かかりつけ歯科医"が68.5%で最も高く、次いで"かかりつけ 医"(61.8%)、"かかりつけ薬局"(55.1%)の順となっている。
- 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

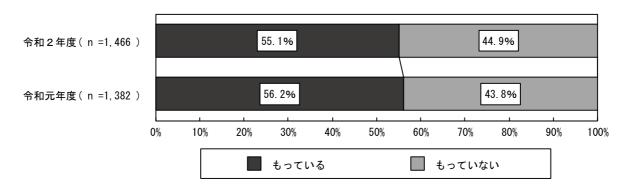
図表Ⅳ-65 かかりつけ医を持っている区民の割合



図表Ⅳ-66 かかりつけ歯科医を持っている区民の割合



図表Ⅳ-67 かかりつけ薬局を持っている区民の割合



① 地区別

・ 地区別にみると、"かかりつけ医"をもっている割合は、白河地区(70.3%)が最も高く、"かかりつけ歯科医"をもっている割合は、東陽地区(70.9%)が最も高く、"かかりつけ薬局"をもっている割合は、東陽地区(59.5%)が最も高くなっている。

図表Ⅳ-68 地区別かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持っている区民の割合

	n	かかりつけ医		n	かかりつけ歯科医		n	かかりつけ薬局	
		もっている	もっていない		もっている	もっていない		もっている	もっていない
全体	1, 496	61. 8	38. 2	1, 464	68. 5	31.5	1, 466	55. 1	44. 9
白河	128	70. 3	29. 7	127	70. 1	29. 9	125	57. 6	42. 4
小松橋	116	52. 6	47. 4	115	67.0	33. 0	116	46. 6	53. 4
富岡	120	70. 0	30. 0	118	63. 6	36. 4	118	52. 5	47. 5
東陽	112	69. 6	30. 4	110	70. 9	29. 1	111	59. 5	40. 5
豊洲	334	54. 8	45. 2	326	69. 6	30. 4	327	54. 7	45. 3
亀戸	164	65. 2	34. 8	159	68. 6	31.4	160	54. 4	45. 6
大島	170	59. 4	40. 6	167	68. 9	31.1	168	56. 5	43. 5
砂町	218	63. 3	36. 7	213	67. 6	32. 4	212	57. 1	42. 9
南砂	126	59. 5	40. 5	121	66. 9	33. 1	121	54. 5	45. 5
居住地区不詳	8	100.0	0.0	8	100.0	0.0	8	75. 0	25. 0

年齢不詳

100.0

0.0

- ・ 男女別にみると、"かかりつけ医"をもっている割合に、特に大きな違いはみられないが、"かかりつけ歯科医"をもっている割合は、女性(71.5%)の方が男性(62.5%)より9.0ポイント高く、 "かかりつけ薬局"をもっている割合は女性(57.1%)の方が男性(50.3%)より6.8ポイント高くなっている。
- ・ 年齢別にみると、男性では、"かかりつけ医"をもっている割合は、75歳以上が最も高く、"かかりつけ歯科医"をもっている割合は、70~74歳が最も高く、"かかりつけ薬局"をもっている割合は、75歳以上が最も高くなっている。女性では、"かかりつけ医""かかりつけ歯科医""かかりつけ薬局"をもっている割合は、いずれも75歳以上が最も高くなっている。

図表Ⅳ-69 性年齢別かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持っている区民の割合

<男性> (%)かかりつけ医 かかりつけ歯科医 かかりつけ薬局 もっている もっていない もっている もっていない もっている もっていない 596 581 37. 5 585 全体 41.1 62.5 50.3 18~19歳 14 57. 1 42.9 13 23. 1 76.9 13 38.5 61.5 53. 8 20~24歳 13 61.5 38.5 13 53.8 46.2 13 46. 2 25~29歳 72. 4 44. 8 55. 2 29 29 69.0 29 27.6 31.0 30~34歳 28 39.3 60.7 28 32. 1 67.9 28 32. 1 67.9 48 35~39歳 48 70.8 50.0 50.0 48 70.8 29 2 29 2 40~44歳 63 39. 7 60.3 63 57.1 42.9 63 42.9 57.1 45~49歳 70 48.6 51.4 68 64. 7 35.3 69 39. 1 60.9 50~54歳 45.8 54. 2 48 62.5 37.5 48 41.7 58.3 48 59 28.8 59 55~59歳 60 63.3 36.7 71.2 55.9 44. 1 49 60~64歳 51 27. 5 51 76. 5 23.5 72.5 53. 1 46.9 65~69歳 43 79. 1 20. 9 42 59.5 40.5 42 64. 3 35. 7 70~74歳 54 72. 2 27. 8 51 82. 4 17. 6 54 61.1 38.9 75歳以上 74 87.8 12.2 67 82.1 17.9 69 81. 2 18.8

100.0

0.0

100.0

0.0

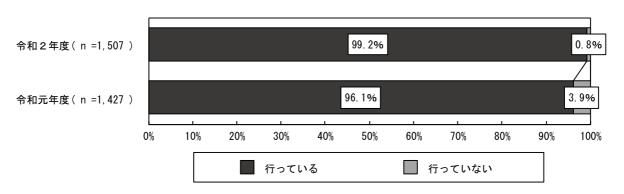
<女性> かかりつけ医 かかりつけ歯科医 かかりつけ薬局 n もっている もっている もっていない もっている もっていない もっていない 全体 777 61.4 38.6 771 71.5 28.5 771 57. 1 42.9 50.0 75. 0 18~19歳 41 7 58.3 12 50.0 12 25.0 12 20~24歳 28 28 28 46. 4 53.6 46.4 53.6 42.9 57.1 25~29歳 41 34. 1 65.9 41 46.3 53.7 41 29.3 70.7 55 55 30~34歳 55 47.3 52. 7 56.4 43.6 47.3 52.7 58 35~39歳 58 44. 8 55. 2 58.6 41.4 58 39.7 60.3 85 40~44歳 85 54. 1 45. 9 65.9 34. 1 85 47. 1 52.9 45~49歳 103 56. 3 43.7 103 68.0 32.0 103 54. 4 45.6 50~54歳 74 73 76.7 73 44 6 55.4 23.3 46 6 53.4 55~59歳 66 62. 1 37.9 65 78.5 21.5 66 59.1 40.9 60~64歳 54 68. 5 31.5 55 87.3 12.7 55 56.4 43.6 65~69歳 49 83. 7 16.3 49 85.7 14.3 48 75.0 25.0 70~74歳 65 66 83. 3 16.7 66 80.3 19.7 80.0 20.0 86 95. 3 4. 7 81 88. 9 11.1 82 7.3 75歳以上 92. 7 年齢不詳 0 0 0

【感染症対策と生活衛生の確保】

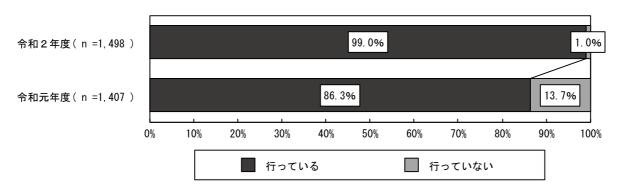
問24 あなたは、感染症予防のために、「①手洗い」「②咳エチケット」を励行していますか。それ ぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つずつ) ※咳エチケットとは:咳やくしゃみをするときにマスクをつけたり、ティッシュで口と鼻を 覆う等、周りの人に感染させないように配慮すること

- ・ 「行っている」の割合でみると、"手洗い"が99.2%、"咳エチケット"が99.0%となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「"手洗い"を行っている」が 3.1 ポイント、「"咳エチケット"を行っている」が 12.7 ポイント増加している。

図表Ⅳ-70 手洗いの励行状況



図表Ⅳ-71 咳エチケットの励行状況



① 地区別

・ 地区別にみると、"手洗い"を行っている割合は、富岡地区(100.0%)、東陽地区(100.0%)、 南砂地区(100.0%)が最も高く、"咳エチケット"を行っている割合は、富岡地区(100.0%)、 東陽地区(100.0%)が最も高くなっている。

図表Ⅳ-72 地区別手洗い・咳エチケットの励行状況

(%)

			_			
	n	手流	先い	n	咳エチ	ケット
	"	行っている	行っていない	"	行っている	行っていない
全体	1, 507	99. 2	0.8	1, 498	99. 0	1.0
白河	130	98. 5	1.5	129	97. 7	2. 3
小松橋	116	97. 4	2. 6	116	98. 3	1. 7
富岡	120	100.0	0.0	120	100.0	0.0
東陽	112	100.0	0.0	112	100.0	0.0
豊洲	332	99. 4	0.6	330	99. 1	0. 9
亀戸	166	98. 2	1.8	166	98.8	1. 2
大島	172	99. 4	0.6	171	98. 2	1. 8
砂町	221	99. 5	0. 5	218	99. 5	0. 5
南砂	128	100.0	0.0	126	99. 2	0.8
居住地区不詳	10	100.0	0.0	10	100.0	0.0

/ / ||| || \

- ・ 男女別にみると、"手洗い"及び"咳エチケット"を行っている割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、男性では、"手洗い"を行っている割合は、18~24歳、35~49歳、55~59歳、65~69歳が最も高く、"咳エチケット"を行っている割合は、18~24歳、40~44歳、55~59歳、65~69歳、75歳以上が最も高い。女性では、"手洗い"を行っている割合は、18~19歳、25歳以上が最も高く、"咳エチケット"を行っている割合は、18~69歳が最も高くなっている。

図表Ⅳ-73 性年齢別手洗い・咳エチケットの励行状況

<男性>						(%)
	n	手法	先い	n	咳エチ	ケット
	11	行っている	行っていない	"	行っている	行っていない
全体	597	98. 2	1.8	595	98. 5	1.5
18~19歳	14	100.0	0.0	14	100.0	0.0
20~24歳	13	100.0	0.0	13	100.0	0.0
25~29歳	29	96. 6	3. 4	29	93. 1	6. 9
30~34歳	28	89. 3	10. 7	28	96. 4	3. 6
35~39歳	48	100.0	0.0	48	95. 8	4. 2
40~44歳	63	100.0	0.0	63	100.0	0.0
45~49歳	70	100.0	0.0	70	98. 6	1.4
50~54歳	48	97. 9	2. 1	48	97. 9	2. 1
55~59歳	60	100.0	0.0	60	100.0	0.0
60~64歳	51	98.0	2. 0	51	98. 0	2. 0
65~69歳	43	100.0	0.0	43	100.0	0.0
70~74歳	55	96. 4	3.6	55	98. 2	1.8
75歳以上	74	95. 9	4. 1	72	100.0	0.0
年齢不詳	1	100.0	0.0	1	100.0	0.0

<u><女性></u>						(%)
	n	手沒	先い	n	咳エチ	ケット
	11	行っている	行っていない	11	行っている	行っていない
全体	783	99. 9	0. 1	781	99. 6	0. 4
18~19歳	12	100.0	0.0	12	100.0	0.0
20~24歳	27	96. 3	3. 7	27	100.0	0.0
25~29歳	41	100.0	0.0	41	100.0	0.0
30~34歳	55	100.0	0.0	55	100.0	0.0
35~39歳	58	100.0	0.0	58	100.0	0.0
40~44歳	85	100.0	0.0	85	100.0	0.0
45~49歳	103	100.0	0.0	103	100.0	0.0
50~54歳	74	100.0	0.0	74	100.0	0.0
55~59歳	66	100.0	0.0	66	100.0	0.0
60~64歳	55	100.0	0.0	55	100.0	0.0
65~69歳	50	100.0	0.0	50	100.0	0.0
70~74歳	68	100.0	0.0	68	98. 5	1.5
75歳以上	89	100.0	0.0	87	97. 7	2. 3
年齢不詳	0	_	_	0	_	_

(0/)

【高齢者支援と活躍の推進】

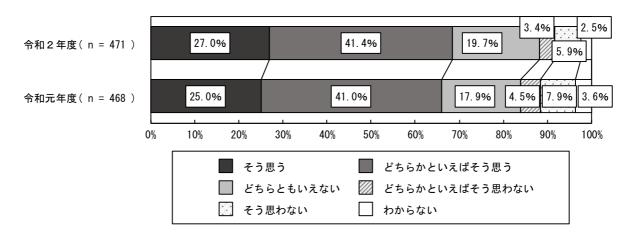
問 25 65歳以上の方におたずねします。

あなたは、現在生きがいや幸せを感じる生活を送ることができていると思いますか。あては まるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「どちらかといえばそう思う」が41.4%で最も高く、次いで「そう思う」(27.0%)となっている。
- ・ これらを合わせた『そう思う(計)』は68.4%となっている。
- ・ 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-74 生きがいや幸せを感じる生活を送ることができている認識

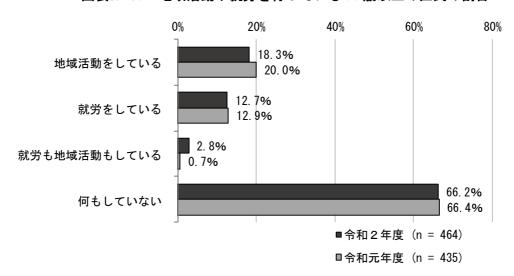


問 26 65 歳以上の方におたずねします。

あなたは、ボランティアなどの地域活動や就労を行っていますか。あてはまるものを選び○ 印をおつけください。(○はいくつでも)

- ・ 「何もしていない」が66.2%で最も高く、次いで「地域活動をしている」(18.3%)となっている。
- ・ 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

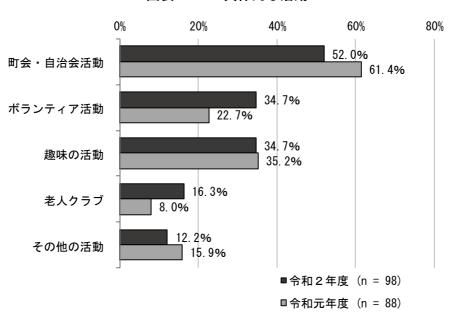
図表Ⅳ-75 地域活動や就労を行っている 65 歳以上の区民の割合



問 26-1 問 26 で「2. 地域活動をしている」を選んだ方におたずねします。 具体的な活動内容について、あてはまるものを選び○印をおつけください。 (○はいくつでも)

- ・ 「町会・自治会活動」が52.0%で最も高く、次いで「ボランティア活動」(34.7%)となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「ボランティア活動」が12.0 ポイント増加、「町会・自治会活動」が9.4 ポイント減少している。

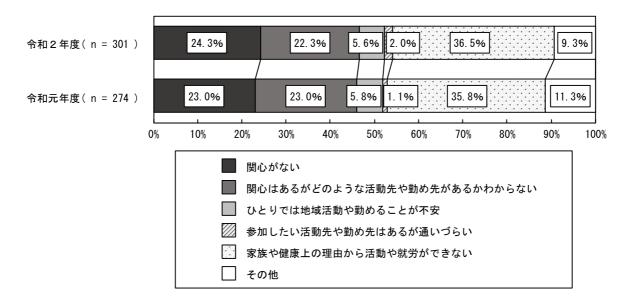
図表Ⅳ-76 具体的な活動



間 26-2 間 26 で「3.何もしていない」を選んだ方におたずねします。 地域活動や就労を行っていない理由について、あてはまるものを選び〇印をおつけくださ い。(〇は1つ)

- ・ 「家族や健康上の理由から活動や就労ができない」が 36.5%で最も高く、次いで「関心がない」 (24.3%)、「関心はあるがどのような活動先や勤め先があるかわからない」 (22.3%) となっている。
- ・ 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-77 地域活動や就労を行っていない理由

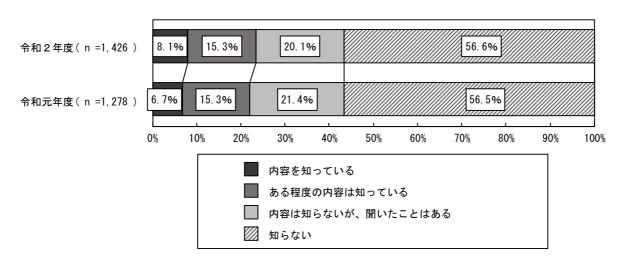


問27 地域包括支援センター(長寿サポートセンター)では、保健師(看護師)、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職が互いに連携しながら高齢者の方が住み慣れた地域で暮らしていけるよう支援しています。あなたは、その活動内容を知っていますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「知らない」が 56.6%で最も高く、次いで「内容は知らないが、聞いたことはある」 (20.1%) となっている。
- ・ 「内容を知っている」 (8.1%) と「ある程度の内容は知っている」 (15.3%) を合わせた『内容を 知っている (計) 』の割合は 23.4% となっている。
- · 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-78 地域包括支援センター(長寿サポートセンター)の活動の認知度



① 地区別

・ 地区別では、『内容を知っている(計)』の割合は、東陽地区(24.7%)、亀戸地区(31.8%)、 砂町地区(26.6%)、南砂地区(26.9%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-79 地区別地域包括支援センター(長寿サポートセンター)の活動の認知度

(%)

	n	内容を知っている	ある程度の内容は 知っている	内容は知らないが、 聞いたことはある	知らない
全体	1, 426	8. 1	15. 3	20. 1	56. 6
白河	122	4. 9	15. 6	18. 9	60. 7
小松橋	110	14. 5	8. 2	10. 9	66. 4
富岡	109	7. 3	12. 8	24. 8	55. 0
東陽	109	11. 9	12. 8	12. 8	62. 4
豊洲	312	6. 1	11.9	18. 9	63. 1
亀戸	154	10. 4	21. 4	20. 8	47. 4
大島	164	5. 5	15. 9	27. 4	51. 2
砂町	214	7. 0	19. 6	22. 9	50. 5
南砂	123	9.8	17. 1	18. 7	54. 5
居住地区不詳	9	11. 1	33. 3	22. 2	33. 3

- ・ 男女別にみると、『内容を知っている(計)』の割合は、女性(24.6%)の方が男性(18.8%)より5.8 ポイント高くなっている。
- ・ 年齢別にみると、『内容を知っている(計)』の割合は、男性では 55 歳以上で男性全体を上回っている。女性でも 55 歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-80 性年齢別地域包括支援センター(長寿サポートセンター)の活動の認知度

<男性> (%)

	n	内容を知っている	ある程度の内容は 知っている	内容は知らないが、 聞いたことはある	知らない
全体	576	6.8	12. 0	18. 4	62. 8
18~19歳	14	0. 0	0.0	28. 6	71. 4
20~24歳	13	0. 0	7.7	0.0	92. 3
25~29歳	26	3.8	0.0	0.0	96. 2
30~34歳	27	0. 0	0.0	14. 8	85. 2
35~39歳	41	2. 4	12. 2	12. 2	73. 2
40~44歳	57	3. 5	1.8	15. 8	78. 9
45~49歳	64	3. 1	14. 1	20. 3	62. 5
50~54歳	43	2. 3	2. 3	11.6	83. 7
55~59歳	59	6. 8	13. 6	18. 6	61.0
60~64歳	51	9.8	13. 7	19. 6	56. 9
65~69歳	43	9. 3	20. 9	23. 3	46. 5
70~74歳	58	8. 6	12. 1	22. 4	56. 9
75歳以上	79	17. 7	26. 6	26. 6	29. 1
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0

_<女性> (%)

	n	内容を知っている	ある程度の内容は 知っている	内容は知らないが、 聞いたことはある	知らない
全体	725	8.0	16. 6	20. 6	54. 9
18~19歳	12	0.0	0.0	25. 0	75.0
20~24歳	25	4. 0	16.0	0.0	80.0
25~29歳	39	2. 6	2. 6	12. 8	82. 1
30~34歳	52	1. 9	3.8	9. 6	84. 6
35~39歳	50	4. 0	10.0	12. 0	74. 0
40~44歳	69	1. 4	8. 7	14. 5	75. 4
45~49歳	87	4. 6	6.9	16. 1	72. 4
50~54歳	70	7. 1	12. 9	21. 4	58. 6
55~59歳	62	11. 3	24. 2	25. 8	38.7
60~64歳	54	13. 0	29. 6	22. 2	35. 2
65~69歳	50	10.0	18. 0	36.0	36.0
70~74歳	65	10.8	21.5	32. 3	35. 4
75歳以上	90	18. 9	36. 7	26. 7	17. 8
年齡不詳	0	_	_	_	

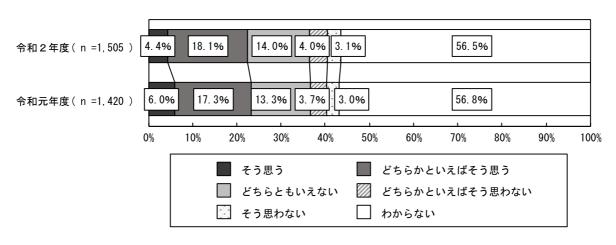
【障害者支援と共生社会の実現】

問 28 江東区は、障害者が地域活動やスポーツ、趣味、イベント等の社会活動に参加しやすい環境 が整っていると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「わからない」が56.5%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(18.1%)となっている。
- 「そう思う」(4.4%)と「どちらかといえばそう思う」(18.1%)を合わせた『そう思う(計)』は22.5%となっている。
- 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-81 障害者が社会活動に参加しやすい環境が整っていると思う区民の割合



① 地区別

・ 地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(26.8%)、豊洲地区(24.3%)、亀戸地区 (22.6%)、大島地区(23.2%)、砂町地区(24.4%)、南砂地区(23.4%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-82 地区別障害者が社会活動に参加しやすい環境が整っていると思う区民の割合

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	1, 505	4. 4	18. 1	14. 0	4. 0	3. 1	56. 5
白河	127	7. 1	19. 7	13. 4	3. 9	4. 7	51.2
小松橋	115	1. 7	13. 9	10. 4	5. 2	3. 5	65. 2
富岡	119	4. 2	13. 4	13. 4	10. 1	5. 0	53.8
東陽	111	4. 5	11. 7	17. 1	1.8	0. 9	64. 0
豊洲	334	4. 5	19.8	10. 8	2. 1	2. 4	60. 5
亀戸	164	4. 9	17. 7	15. 9	3. 7	2. 4	55. 5
大島	172	2. 3	20. 9	15. 7	4. 7	1. 7	54. 7
砂町	226	5. 8	18. 6	16. 8	4. 0	4. 4	50. 4
南砂	128	3. 1	20. 3	14. 1	3. 1	2. 3	57.0
居住地区不詳	9	11.1	33. 3	11. 1	11.1	11. 1	22. 2

- ・ 男女別にみると、『そう思う(計)』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、『そう思う(計)』の割合は、男性では 18~24 歳、45~49 歳、65~69 歳、75 歳以上で男性全体を上回っている。女性では 35~39 歳、45~49 歳、55~59 歳、65~69 歳、75 歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-83 性年齢別障害者が社会活動に参加しやすい環境が整っていると思う区民の割合

<男性> (%) どちらかといえ どちらともいえ どちらかといえ そう思う n そう思わない わからない ばそう思う ない ばそう思わない 602 4. 5 17.4 15.8 3.8 54. 2 全体 4.3 18~19歳 14 14. 3 28.6 0.0 0.0 14.3 42.9 20~24歳 13 0.0 30.8 7. 7 7.7 7. 7 46. 2 25~29歳 28 3.6 3.6 3.6 3.6 7. 1 78.6 30~34歳 28 3.6 10.7 3.6 0.0 3.6 78.6 48 56.3 35~39歳 0.0 18.8 14.6 8.3 2. 1 40~44歳 62 4.8 64.5 12.9 11.3 4.8 1.6 45~49歳 70 5. 7 22. 9 7.1 0.0 48.6 15. 7 50~54歳 48 4. 2 16.7 6.3 2.1 2. 1 68.8 55~59歳 60 1. 7 15.0 23. 3 3.3 6.7 50.0 60~64歳 52 1.9 11.5 19. 2 5.8 1.9 59.6 65~69歳 43 9.3 18.6 18.6 2.3 4. 7 46.5 70~74歳 58 0.0 20.7 27. 6 3.4 39.7 8.6 77 10.4 3.9 2. 6 75歳以上 22. 1 19.5 41.6 年齢不詳 1 0.0 0.0 100.0 0.0 0.0 0.0

<女性>							(%)
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	775	3. 5	18. 2	12. 5	3. 5	2. 3	60.0
18~19歳	12	0.0	8. 3	16. 7	0.0	0.0	75. 0
20~24歳	28	0.0	17. 9	7. 1	10. 7	3. 6	60. 7
25~29歳	41	4. 9	14. 6	7. 3	2. 4	2. 4	68.3
30~34歳	55	3. 6	16. 4	0. 0	5. 5	1.8	72.7
35~39歳	55	1.8	21.8	7. 3	0.0	0.0	69. 1
40~44歳	84	1. 2	17. 9	9. 5	0.0	0.0	71.4
45~49歳	101	2. 0	20. 8	11. 9	3.0	2. 0	60. 4
50~54歳	74	1.4	16. 2	13. 5	2. 7	1.4	64. 9
55~59歳	64	4. 7	20. 3	20. 3	4. 7	3. 1	46. 9
60~64歳	56	0.0	16. 1	14. 3	5. 4	8. 9	55. 4
65~69歳	50	4. 0	22. 0	10.0	4. 0	2. 0	58.0
70~74歳	65	7. 7	10.8	18. 5	7.7	1.5	53.8
75歳以上	90	8. 9	22. 2	20. 0	2. 2	3. 3	43.3
年齢不詳	0	-	_	_	_	_	_

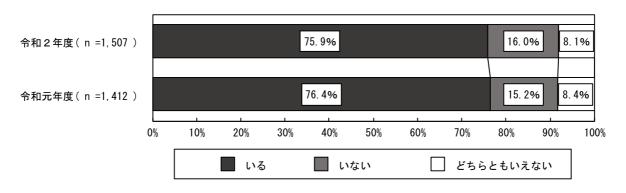
【地域福祉と生活支援の充実】

問 29 日々の暮らしの中で、悩みや困りごとなど、生活の相談をすることが出来る相手があなたの 身近にいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- 「いる」が75.9%で、「いない」(16.0%)を上回っている。
- ・ 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-84 身近に相談相手がいる区民の割合



① 地区別

・ 地区別では、「いる」の割合は、富岡地区(80.7%)、東陽地区(76.8%)、豊洲地区(79.0%)、 亀戸地区(79.5%)、南砂地区(77.3%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-85 地区別身近に相談相手がいる区民の割合

(%) いる いない どちらともいえない 全体 1,507 75. 9 16.0 8. 1 白河 128 75.8 16.4 7.8 小松橋 115 75. 7 19.1 5. 2 119 80.7 12.6 6.7 富岡 112 16. 1 7. 1 東陽 76.8 333 79.0 13.8 7. 2 豊洲 亀戸 166 79.5 13.9 6.6 171 17.0 9.9 大島 73. 1 226 67.7 19.5 12.8 砂町 128 77.3 16. 4 南砂 6.3 9 66.7 22. 2 居住地区不詳 11.1

- ・ 男女別にみると、「いる」の割合は、女性(81.6%)の方が男性(69.9%)より11.7ポイント高くなっている。
- ・ 年齢別にみると、「いる」の割合は、男性では 18~29 歳、35~39 歳、45~49 歳、65~69 歳で男性 全体を上回っている。女性では 18~24 歳、35~49 歳、65~69 歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-86 性年齢別身近に相談相手がいる区民の割合

<男性>				(%)
	n	いる	いない	どちらともいえない
全体	601	69. 9	21.6	8. 5
18~19歳	14	71. 4	14. 3	14. 3
20~24歳	13	76. 9	0.0	23. 1
25~29歳	27	85. 2	14. 8	0.0
30~34歳	28	67. 9	17. 9	14. 3
35~39歳	47	76. 6	14. 9	8. 5
40~44歳	63	66. 7	31. 7	1.6
45~49歳	70	82. 9	5. 7	11.4
50~54歳	48	66. 7	20. 8	12. 5
55~59歳	60	66. 7	28. 3	5. 0
60~64歳	52	61.5	23. 1	15. 4
65~69歳	43	72. 1	18. 6	9. 3
70~74歳	57	59. 6	35. 1	5. 3
75歳以上	78	66. 7	26. 9	6. 4
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0

<女性>				(%)
	n	いる	いない	どちらともいえない
全体	776	81. 6	11.1	7. 3
18~19歳	12	83. 3	8. 3	8. 3
20~24歳	27	88. 9	7. 4	3. 7
25~29歳	41	80. 5	17. 1	2. 4
30~34歳	55	80. 0	14. 5	5. 5
35~39歳	56	89. 3	5. 4	5. 4
40~44歳	83	84. 3	6. 0	9. 6
45~49歳	101	84. 2	8. 9	6. 9
50~54歳	74	77. 0	16. 2	6.8
55~59歳	63	76. 2	15. 9	7. 9
60~64歳	56	71. 4	14. 3	14. 3
65~69歳	50	88. 0	6.0	6. 0
70~74歳	67	80. 6	13. 4	6.0
75歳以上	91	81.3	9. 9	8.8
年齢不詳	0		_	-

間 29-1 間 29 で「1. いる」と答えた方におたずねします。相談する相手は、どのような方ですか。(○はいくつでも)

<全体/経年比較>

- ・ 「同居している家族」が72.6%で最も高く、次いで「友人」(51.6%)となっている。
- · 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

80% 0% 20% 40% 60% 72.6% 同居している家族 70.7% 51.6% 友人 53.5% 49.7% 親族 48.6% 5.4% 区役所や施設など相談機関の職員 5.9% 2.5% その他 4.1% ■令和2年度(n = 1,144) ■令和元年度(n = 1,076)

図表Ⅳ-87 具体的な相談相手

① 地区別

・ 地区別にみると、全ての地区で「同居している家族」が1位となっている。

図表Ⅳ-88 地区別具体的な相談相手

(%) 区役所や施設など 友人 その他 n 同居している家族 親族 相談機関の職員 全体 1, 144 72.6 49.7 51.6 5.4 2.5 52. 6 63. 9 白河 97 52.6 6. 2 2. 1 74. 7 小松橋 87 57.5 54.0 5.7 2.3 富岡 96 77. 1 46.9 43.8 4. 2 5. 2 86 64. 0 50.0 57.0 5.8 0.0 東陽 47.5 豊洲 263 79.5 48.7 3.8 2.3 4. 5 4.5 亀戸 132 66. 7 52.3 56. 1 71. 2 51.2 55. 2 6.4 2. 4 大島 125 153 70.6 55.6 7. 2 2.6 砂町 46.4 99 47.5 南砂 76.8 43.4 6. 1 1.0 居住地区不詳 6 66. 7 16.7 83.3 16.7 0.0

75歳以上

年齡不詳

52

1

61.5

0.0

- ・ 男女別にみると、男女ともに「同居している家族」が1位となっている。男性(76.0%)の方が女性(72.4%)より3.6ポイント高くなっている。
- ・ 年齢別にみると、男性では 18~24 歳、30 歳以上で「同居している家族」が 1 位となっている。女性では 18~24 歳、30~69 歳、75 歳以上で「同居している家族」が 1 位となっている。

図表Ⅳ-89 性年齢別具体的な相談相手

<男性> (%) 区役所や施設など 同居している家族 親族 友人 その他 n 相談機関の職員 44.5 40.7 1.9 全体 420 76. 0 5. 7 18~19歳 90.0 40.0 10.0 10 30.0 0.0 10 70.0 0.0 20~24歳 80.0 20.0 0.0 25~29歳 23 60.9 47.8 65. 2 4. 3 4.3 30~34歳 19 78. 9 52.6 63.2 0.0 0.0 35~39歳 36 75.0 61.1 0.0 0.0 55.6 40~44歳 42 76. 2 45. 2 0.0 0.0 31.0 45~49歳 89. 7 37.9 3.4 1.7 58 43.1 50~54歳 32 93.8 25.0 3. 1 3. 1 28. 1 5.0 0.0 55~59歳 40 92. 5 40.0 57.5 60~64歳 32 25.0 40.6 9.4 3. 1 65. 6 65~69歳 31 45. 2 3. 2 61.3 45. 2 16. 1 70~74歳 34 67.6 52.9 20.6 2. 9 0.0

55.8

100.0

25.0

0.0

17. 3

0.0

3.8

0.0

<女性>						(%)
	n	同居している家族	親族	友人	区役所や施設など 相談機関の職員	その他
全体	633	72. 4	53. 4	59. 4	4. 4	2. 5
18~19歳	10	100. 0	10. 0	70.0	0.0	0.0
20~24歳	24	79. 2	29. 2	66. 7	0.0	4. 2
25~29歳	33	66. 7	57. 6	72. 7	6. 1	0.0
30~34歳	44	81. 8	65. 9	72. 7	4. 5	6.8
35~39歳	50	84. 0	78. 0	66. 0	4. 0	4. 0
40~44歳	70	72. 9	64. 3	64. 3	2. 9	0.0
45~49歳	85	74. 1	51.8	61. 2	1. 2	1.2
50~54歳	57	89. 5	42. 1	63. 2	7. 0	1.8
55~59歳	48	81. 3	37. 5	47. 9	10. 4	4. 2
60~64歳	40	65. 0	45. 0	62. 5	0.0	5. 0
65~69歳	44	70. 5	52. 3	54. 5	0.0	2. 3
70~74歳	54	55. 6	64. 8	63. 0	1. 9	1.9
75歳以上	74	51. 4	48. 6	33.8	12. 2	2. 7
年齢不詳	0	-	_		_	

間 29-2 間 29 で「2. いない」と答えた方におたずねします。あなたが相談相手がいないと感じている理由について、最もあてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「誰に相談すればいいかわからないから」が 38.1%で最も高く、次いで「相談するまでの悩みや困りごとがないから」 (32.9%) となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「相談するまでの悩みや困りごとがないから」が 5.2 ポイント増加している。

32.9% 1.7% 16.0% 11.3% 38.1% 令和2年度(n = 231) 17.8% 9.4% 39.6% 27.7% 5.4% 令和元年度(n = 202) 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 100% 0% 90% ■ 悩みや困りごとを他人に話したくないから 相談すると相手の負担になるから ■ 誰に相談すればいいかわからないから ☑ 相談するまでの悩みや困りごとがないから □ その他

図表Ⅳ-90 相談相手がいない理由

① 地区別

・ 地区別にみると、富岡地区、豊洲地区以外では「誰に相談すればいいかわからないから」が1位となっている。富岡地区、豊洲地区では「相談するまでの悩みや困りごとがないから」が1位となっている。また、亀戸地区、砂町地区、南砂地区では「相談するまでの悩みや困りごとがないから」が同率1位となっている。

図表Ⅳ-91 地区別相談相手がいない理由

,	•	
(0/6	

						(70)
	n	悩みや困りごとを 他人に話したくな いから	相談すると相手の 負担になるから	誰に相談すればい いかわからないか ら	相談するまでの悩 みや困りごとがな いから	その他
全体	231	16. 0	11. 3	38. 1	32. 9	1.7
白河	21	4. 8	14. 3	42. 9	38. 1	0.0
小松橋	22	18. 2	0.0	50.0	18. 2	13. 6
富岡	15	33. 3	0.0	26. 7	40. 0	0.0
東陽	18	11. 1	16. 7	44. 4	27. 8	0.0
豊洲	41	12. 2	9.8	34. 1	43. 9	0.0
亀戸	23	17. 4	8.7	34. 8	34. 8	4. 3
大島	28	14. 3	10. 7	50.0	25. 0	0.0
砂町	41	22. 0	14. 6	31. 7	31. 7	0.0
南砂	20	15. 0	25. 0	30.0	30.0	0.0
居住地区不詳	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0

- ・ 男女別にみると、男女ともに、「誰に相談すればいいかわからないから」が1位となっている。割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、男性では 18~19 歳、25~29 歳、35~39 歳、45~49 歳、60~64 歳、70 歳以上で 「誰に相談すればいいかわからないから」が 1 位となっている。女性では 25~34 歳、40~64 歳、 70 歳以上で「誰に相談すればいいかわからないから」が 1 位となっている。

図表Ⅳ-92 性年齢別相談相手がいない理由

<男性> (%) |誰に相談すればい |相談するまでの悩 悩みや困りごとを 相談すると相手の 他人に話したくな |いかわからないか |みや困りごとがな |その他 n 負担になるから いから ら いから 全体 128 14. 1 8.6 39.1 37. 5 0.8 0.0 50.0 18~19歳 2 0.0 50.0 0.0 0 20~24歳 25~29歳 4 25. 0 0.0 50.0 25. 0 0.0 30~34歳 5 0.0 40.0 0.0 20.0 40.0 35~39歳 7 57.1 0.0 28. 6 0.0 14. 3 19 42. 1 5.3 40~44歳 15.8 0.0 36.8 3 0.0 66.7 0.0 45~49歳 0.0 33. 3 50~54歳 10 0.0 20.0 0.0 20.0 60.0 55~59歳 17 17.6 17.6 23.5 41. 2 0.0 60~64歳 12 16. 7 16.7 58.3 8.3 0.0 65~69歳 8 0.0 0.0 25.0 75.0 0.0 70~74歳 20 10.0 45.0 40.0 5.0 0.0 75歳以上 4.8 23.8 42.9 28. 6 0.0 21 年齢不詳 0

<女性>						(%)
	n	悩みや困りごとを 他人に話したくな いから	相談すると相手の 負担になるから		相談するまでの悩 みや困りごとがな いから	その他
全体	78	16. 7	16. 7	39.7	24. 4	2. 6
18~19歳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
20~24歳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
25~29歳	5	0.0	20. 0	40.0	20. 0	20.0
30~34歳	7	0.0	14. 3	85.7	0.0	0.0
35~39歳	2	0.0	0.0	0.0	100. 0	0.0
40~44歳	5	40. 0	20. 0	40.0	0.0	0.0
45~49歳	8	0.0	37. 5	37. 5	25. 0	0.0
50~54歳	12	16. 7	33. 3	33. 3	16. 7	0.0
55~59歳	10	40. 0	10.0	40.0	10.0	0.0
60~64歳	8	25. 0	0.0	37. 5	25. 0	12. 5
65~69歳	3	0.0	0.0	33. 3	66. 7	0.0
70~74歳	8	12. 5	12. 5	37. 5	37. 5	0.0
75歳以上	8	25. 0	0.0	37. 5	37. 5	0.0
年齢不詳	0	_	_	-	-	_

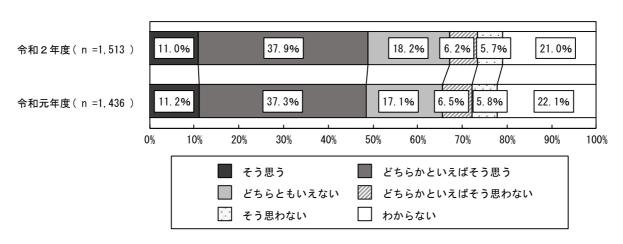
【計画的なまちづくりの推進】

問30 江東区は、地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを 選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

く全体/経年比較>

- ・ 「どちらかといえばそう思う」が 37.9%で最も高く、次いで「わからない」(21.0%) となっている。
- ・ 「そう思う」(11.0%)と「どちらかといえばそう思う」(37.9%)を合わせた『そう思う(計)』 は48.9%となっている。
- 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-93 地域の特色を活かしたまちづくりへの評価



① 地区別

・ 地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(56.9%)、小松橋地区(53.5%)、富岡地 区(49.1%)、東陽地区(53.1%)、豊洲地区(61.6%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-94 地区別地域の特色を活かしたまちづくりへの評価

(%) どちらかといえ どちらともいえ どちらかといえ n そう思う そう思わない わからない ばそう思う ばそう思わない ない 37.9 全体 1, 513 11.0 18. 2 6. 2 5. 7 21.0 白河 130 13.8 43.1 22. 3 3.8 3.8 13.1 19.0 小松橋 116 12.1 41.4 15. 5 4.3 7.8 118 9.3 39.8 23. 7 5.9 3.4 17.8 富岡 113 9.7 43.4 14. 2 6.2 4.4 22.1 東陽 336 5.7 17.0 豊洲 16.4 45. 2 12. 2 3.6 亀戸 163 7.4 31.3 23. 9 6.1 9.8 21.5 大島 173 9. 2 31.8 21. 4 10.4 7. 5 19.7 226 27.4 砂町 8.8 32.3 19.9 5.3 6. 2 129 4. 7 31.0 7.8 34.9 南砂 15. 5 6. 2 居住地区不詳 9 33. 3 22. 2 33. 3 11.1 0.0 0.0

- ・ 男女別にみると、『そう思う(計)』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、『そう思う(計)』の割合は、男性では 18~24 歳、30~34 歳、45~59 歳、75 歳以上で男性全体を上回っている。女性では 18~49 歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-95 性年齢別地域の特色を活かしたまちづくりへの評価

<男性>							(%)
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	606	11. 1	37. 0	19. 6	8. 1	5. 9	18.3
18~19歳	14	35. 7	35. 7	14. 3	0.0	7. 1	7. 1
20~24歳	13	30. 8	30.8	15. 4	15. 4	0.0	7.7
25~29歳	29	13. 8	27. 6	17. 2	6. 9	6. 9	27. 6
30~34歳	28	17. 9	42. 9	0.0	0.0	3. 6	35. 7
35~39歳	47	2. 1	36. 2	21. 3	10.6	2. 1	27. 7
40~44歳	63	12. 7	25. 4	15. 9	14. 3	7. 9	23.8
45~49歳	70	10. 0	51.4	14. 3	7. 1	4. 3	12. 9
50~54歳	49	16. 3	36. 7	22. 4	4. 1	2. 0	18. 4
55~59歳	60	11. 7	36. 7	21. 7	11.7	8. 3	10.0
60~64歳	52	7. 7	36. 5	26. 9	11.5	5. 8	11.5
65~69歳	43	7. 0	32. 6	18. 6	9. 3	11.6	20. 9
70~74歳	58	6. 9	34. 5	25. 9	8. 6	8. 6	15. 5
75歳以上	79	8. 9	41.8	22. 8	2. 5	5. 1	19.0
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

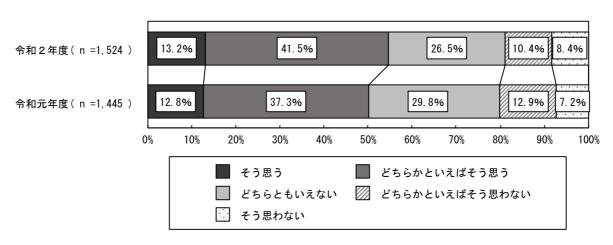
<女性>							(%)
	n	そう思う		どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	776	10. 6	38.8	16.8	5. 2	5. 4	23. 3
18~19歳	12	25. 0	33. 3	8. 3	0.0	0.0	33. 3
20~24歳	28	10. 7	46. 4	7. 1	14. 3	3. 6	17. 9
25~29歳	41	12. 2	39. 0	7. 3	2. 4	4. 9	34. 1
30~34歳	55	18. 2	41.8	5. 5	5. 5	5. 5	23. 6
35~39歳	58	8. 6	48. 3	15. 5	1.7	1.7	24. 1
40~44歳	84	10. 7	40. 5	17. 9	3. 6	4. 8	22. 6
45~49歳	103	8. 7	47. 6	16. 5	8. 7	4. 9	13. 6
50~54歳	74	5. 4	39. 2	23. 0	5. 4	4. 1	23. 0
55~59歳	66	7. 6	39. 4	22. 7	4. 5	9. 1	16. 7
60~64歳	55	5. 5	43. 6	14. 5	1.8	7. 3	27. 3
65~69歳	50	8. 0	28. 0	20. 0	10.0	4. 0	30.0
70~74歳	64	17. 2	25. 0	18. 8	4. 7	6. 3	28. 1
75歳以上	86	12. 8	29. 1	20. 9	3. 5	8. 1	25. 6
年齢不詳	0	_	-	_	_	-	_

間 31 あなたは、江東区のまち並みについて美しいと思いますか。あてはまるものを選び \bigcirc 印をおっけください。 $(\bigcirc$ は1っ)

<全体/経年比較>

- ・ 「どちらかといえばそう思う」が 41.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(26.5%)となっている。
- 「そう思う」(13.2%)と「どちらかといえばそう思う」(41.5%)を合わせた『そう思う(計)』は54.7%となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が4.6ポイント増加している。

図表Ⅳ-96 江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合



① 地区別

・ 地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(66.4%)、富岡地区(56.3%)、東陽地区 (56.1%)、豊洲地区(67.5%)、南砂地区(55.1%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-97 地区別江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全体	1, 524	13. 2	41. 5	26. 5	10. 4	8.4
白河	131	16. 8	49. 6	21. 4	5. 3	6. 9
小松橋	116	9. 5	40. 5	24. 1	10. 3	15. 5
富岡	119	12. 6	43. 7	22. 7	15. 1	5. 9
東陽	114	17. 5	38. 6	28. 9	9. 6	5. 3
豊洲	336	19. 6	47. 9	20. 5	7. 4	4. 5
亀戸	168	7. 1	38. 1	28. 0	13. 7	13. 1
大島	175	10. 3	36. 0	33. 7	10. 9	9. 1
砂町	227	9. 7	32. 6	35. 2	13. 7	8.8
南砂	129	10. 1	45. 0	24. 0	9. 3	11. 6
居住地区不詳	9	22. 2	44. 4	22. 2	11.1	0.0

- ・ 男女別にみると、『そう思う(計)』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、『そう思う(計)』の割合は、男性では 18~29 歳、35~39 歳、45~59 歳で男性 全体を上回っている。女性では 18~19 歳、25~49 歳、75 歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-98 性年齢別江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合

<男性> (%) どちらかといえ どちらともいえ どちらかといえ そう思う そう思わない n ばそう思わない ばそう思う ない 607 41. 2 全体 11. 7 27. 2 10.7 9.2 18~19歳 14 35. 7 42. 9 14. 3 7. 1 0.0 7.7 7.7 20~24歳 13 23. 1 53.8 7.7 29 17. 2 3.4 25~29歳 10.3 51.7 17. 2 17.9 30~34歳 28 21.4 28. 6 28. 6 3.6 47 35~39歳 4. 3 48. 9 23. 4 17.0 6.4 25. 4 40~44歳 63 12.7 39.7 15.9 6.3 45~49歳 70 48. 6 10.0 11.4 22. 9 7. 1 49 50~54歳 8. 2 44. 9 30.6 8.2 8.2 55~59歳 60 10.0 46. 7 25.0 11.7 6.7 52 11.5 60~64歳 5.8 40.4 32. 7 9.6 65~69歳 43 11.6 37. 2 25. 6 16.3 9.3 70~74歳 58 5. 2 34. 5 31.0 15.5 13.8 80 11.3 75歳以上 18.8 31.3 36. 3 2.5 年齢不詳 1 0.0 0.0 100.0 0.0 0.0

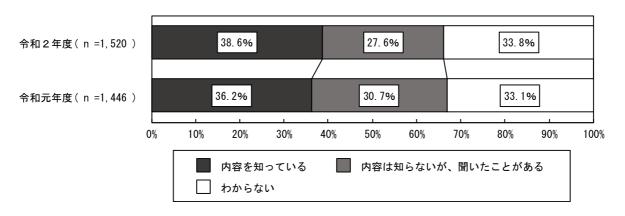
<女性>						(%)
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全体	785	13. 2	42. 2	27. 1	10. 2	7.3
18~19歳	12	41. 7	25. 0	25. 0	8.3	0.0
20~24歳	28	7. 1	32. 1	21. 4	32. 1	7. 1
25~29歳	41	14. 6	51. 2	24. 4	2. 4	7. 3
30~34歳	55	25. 5	47. 3	20. 0	5. 5	1.8
35~39歳	58	13. 8	46. 6	24. 1	10. 3	5. 2
40~44歳	85	12. 9	49. 4	24. 7	8. 2	4. 7
45~49歳	103	12. 6	50. 5	19. 4	12. 6	4. 9
50~54歳	74	13. 5	39. 2	31. 1	10.8	5. 4
55~59歳	66	9. 1	39. 4	25. 8	10. 6	15. 2
60~64歳	56	10. 7	39. 3	30. 4	12. 5	7. 1
65~69歳	50	4. 0	38. 0	34. 0	16.0	8.0
70~74歳	67	9. 0	29. 9	43. 3	7. 5	10. 4
75歳以上	90	16. 7	38. 9	27. 8	5. 6	11. 1
年齢不詳	0	-	-	-	_	-

間 32 あなたは、「ユニバーサルデザイン」について知っていますか。あてはまるものを選び \bigcirc 印 をおつけください。 $(\bigcirc$ は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「内容を知っている」が 38.6%で最も高く、次いで「わからない」(33.8%)、「内容は知らないが、聞いたことがある」(27.6%)となっている。
- ・ 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-99 「ユニバーサルデザイン」の認知状況



① 地区別

・ 地区別では、「内容を知っている」の割合は、白河地区(45.4%)、小松橋地区(47.0%)、富岡 地区(46.2%)、豊洲地区(47.5%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-100 地区別「ユニバーサルデザイン」の認知状況

				(%)
	n	内容を知っている	内容は知らないが、 聞いたことがある	わからない
全体	1, 520	38. 6	27. 6	33.8
白河	130	45. 4	21.5	33. 1
小松橋	117	47. 0	23. 9	29. 1
富岡	119	46. 2	28. 6	25. 2
東陽	114	29. 8	33. 3	36.8
豊洲	337	47. 5	25. 8	26. 7
亀戸	167	37. 1	30. 5	32. 3
大島	174	35. 6	31.6	32. 8
砂町	225	27. 1	28. 0	44. 9
南砂	129	29. 5	24. 8	45. 7
居住地区不詳	8	12. 5	50.0	37. 5

- ・ 男女別にみると、「内容を知っている」の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、「内容を知っている」の割合は、男性では 18~59 歳で男性全体を上回っている。 女性でも 18~59 歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-101 性年齢別「ユニバーサルデザイン」の認知状況

<男性>				(%)
	n	内容を知っている	内容は知らないが、 聞いたことがある	わからない
全体	607	40. 4	23. 7	35.9
18~19歳	14	64. 3	21. 4	14. 3
20~24歳	13	76. 9	7. 7	15. 4
25~29歳	29	72. 4	10. 3	17. 2
30~34歳	28	42. 9	14. 3	42. 9
35~39歳	47	48. 9	21. 3	29.8
40~44歳	63	54. 0	22. 2	23. 8
45~49歳	70	48. 6	28. 6	22. 9
50~54歳	49	51.0	24. 5	24. 5
55~59歳	60	56. 7	13. 3	30.0
60~64歳	52	21. 2	25. 0	53.8
65~69歳	43	23. 3	25. 6	51.2
70~74歳	59	22. 0	22. 0	55. 9
75歳以上	79	11. 4	40. 5	48. 1
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0

<女性>			-	(%)
	n	内容を知っている	内容は知らないが、 聞いたことがある	わからない
全体	782	40. 2	29. 9	29.9
18~19歳	12	66. 7	25. 0	8.3
20~24歳	28	82. 1	17. 9	0.0
25~29歳	41	75. 6	19. 5	4. 9
30~34歳	55	54. 5	20. 0	25. 5
35~39歳	58	48. 3	31.0	20. 7
40~44歳	85	41. 2	27. 1	31.8
45~49歳	102	52. 9	27. 5	19. 6
50~54歳	74	45. 9	31. 1	23.0
55~59歳	66	45. 5	27. 3	27. 3
60~64歳	56	28. 6	30. 4	41.1
65~69歳	49	24. 5	34. 7	40.8
70~74歳	65	9. 2	35. 4	55. 4
75歳以上	91	7. 7	44. 0	48. 4
年齡不詳	0	_	_	_

【良好な住宅の形成と住環境の向上】

間 33 あなたは、今お住まいの周辺の環境について満足していますか。あてはまるものを選び○印 をおつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- 「どちらかといえば満足している」が 49.5%と最も高く、次いで「満足している」(26.7%)とな っている。
- これらを合わせた『満足している(計)』は76.2%となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、『満足している(計)』が4.4ポイント増加している。

26.7% 49.5% 13. 2% 6. 7% 3. 8% 令和2年度(n=1,526) 23.1% 48.7% 13.6% 9.8% 4.8% 令和元年度(n=1,448) 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■ 満足している ■ どちらかといえば満足している ■ どちらともいえない ② どちらかといえば不満である 不満である

図表Ⅳ-102 住宅の周辺環境への満足度

① 地区別

地区別では、『満足している(計)』の割合は、白河地区(87.1%)、小松橋地区(76.9%)、富 岡地区(76.6%)、東陽地区(80.7%)、豊洲地区(82.8%)、南砂地区(76.8%)で全体を上回 っている。

(%) どちらかといえ どちらともいえ どちらかといえ 満足している 不満である n ば満足している ない ば不満である 1.526 26. 7 49.5 13. 2 全体 6.7 3.8 57. 3 1.5 3.8 白河 131 29.8 7. 6 51.3 4.3 小松橋 117 25.6 10.3 8.5 120 33.3 43.3 10.8 3.3 富岡 9.2 114 52. 6 12.3 4.4 2.6 東陽 28. 1 336 30. 7 52. 1 7. 1 3.9 豊洲 6.3 鲁戸 168 44. 6 17. 9 23. 2 8.3 6.0 174 大島 24. 7 46.6 18. 4 6.3 4.0 228 46. 9 19.7 3.1 砂町 20.6 9.6 51. 2 15. 5 南砂 129 25. 6 4.7 3.1 22. 2 11.1 0.0 居住地区不詳 9 22. 2 44. 4

図表Ⅳ-103 地区別住宅の周辺環境への満足度

- ・ 男女別にみると、『満足している(計)』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、『満足している(計)』の割合は、男性では $18\sim24$ 歳、 $30\sim39$ 歳、 $45\sim54$ 歳、 $60\sim64$ 歳で男性全体を上回っている。女性では $18\sim19$ 歳、 $25\sim54$ 歳、 $70\sim74$ 歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-104 性年齢別住宅の周辺環境への満足度

<男性> (%)

くガほノ						(%)
	n	満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらともいえ ない	どちらかといえ ば不満である	不満である
全体	608	28. 1	48. 7	12. 5	6. 7	3.9
18~19歳	14	50. 0	35. 7	7. 1	7. 1	0.0
20~24歳	13	53. 8	46. 2	0.0	0.0	0.0
25~29歳	29	27. 6	48. 3	13. 8	3. 4	6. 9
30~34歳	28	32. 1	53. 6	7. 1	3. 6	3. 6
35~39歳	47	12. 8	70. 2	10. 6	2. 1	4. 3
40~44歳	63	27. 0	47. 6	9. 5	9. 5	6. 3
45~49歳	70	34. 3	47. 1	7. 1	10.0	1.4
50~54歳	49	32. 7	49. 0	8. 2	6. 1	4. 1
55~59歳	60	15. 0	60. 0	10.0	11. 7	3.3
60~64歳	52	26. 9	57. 7	9. 6	3.8	1.9
65~69歳	43	27. 9	39. 5	18. 6	4. 7	9.3
70~74歳	59	23. 7	40. 7	22. 0	10. 2	3.4
75歳以上	80	35. 0	36. 3	20. 0	5.0	3.8
年齢不詳	1	0.0	0.0	100. 0	0.0	0.0

<女性> (%)

	n	満足している	どちらかといえ ば満足している	どちらともいえ ない	どちらかといえ ば不満である	不満である
全体	786	26. 3	50. 0	13. 2	6. 6	3.8
18~19歳	12	41. 7	58. 3	0. 0	0.0	0.0
20~24歳	28	28. 6	42. 9	10. 7	10. 7	7. 1
25~29歳	41	48. 8	31. 7	9. 8	7. 3	2. 4
30~34歳	55	34. 5	47. 3	7. 3	5. 5	5. 5
35~39歳	58	27. 6	56. 9	10. 3	3. 4	1.7
40~44歳	85	25. 9	56. 5	9. 4	7. 1	1.2
45~49歳	103	23. 3	59. 2	8. 7	3. 9	4. 9
50~54歳	74	20. 3	59. 5	12. 2	5. 4	2.7
55~59歳	66	27. 3	42. 4	16. 7	9. 1	4. 5
60~64歳	56	19. 6	41. 1	16. 1	17. 9	5. 4
65~69歳	50	20. 0	44. 0	22. 0	8.0	6.0
70~74歳	68	22. 1	55. 9	14. 7	1.5	5.9
75歳以上	90	26. 7	42. 2	22. 2	6. 7	2. 2
年齡不詳	0					

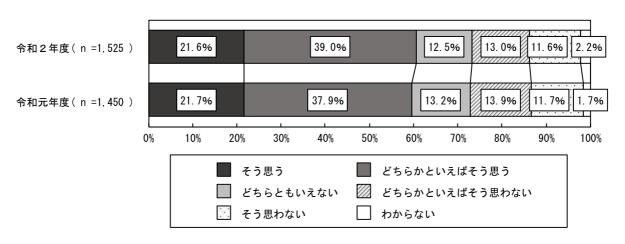
【便利で安全な道路・交通ネットワークの整備】

問34 あなたは、江東区内を便利で快適に移動できると思いますか。あてはまるものを選び○印を おつけください。(○は1つ)

く全体/経年比較>

- ・ 「どちらかといえばそう思う」が39.0%で最も高く、次いで「そう思う」(21.6%)となっている。
- ・ これらを合わせた『そう思う(計)』は60.6%となっている。
- 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-105 公共交通による移動の利便性



① 地区別

・ 地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(75.4%)、富岡地区(69.2%)、東陽地区(71.9%)、南砂地区(62.0%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-106 地区別公共交通による移動の利便性

(%) どちらかといえ どちらともいえ どちらかといえ そう思う そう思わない わからない ばそう思う ない ばそう思わない 1.525 39.0 12. 5 13.0 11.6 2. 2 全体 21.6 白河 130 25. 4 50.0 5. 4 9.2 6. 2 3.8 9. 5 16.4 15. 5 2.6 116 18.1 37.9 小松橋 120 8.3 9. 2 2. 5 31.7 37.5 10.8 富岡 東陽 114 42. 1 11.4 10.5 4.4 1.8 29.8 337 1.2 豊洲 21. 1 35. 3 12. 5 16.9 13. 1 168 34. 5 14. 3 16. 1 19.6 3.0 亀戸 12.5 大島 174 23.0 36. 2 18. 4 12.6 7. 5 2. 3 228 42. 1 16. 2 9.6 11.8 1.8 砂町 18.4 14. 0 南砂 129 20.9 41.1 9.3 12.4 2.3 居住地区不詳 9 33.3 33.3 0.0 22. 2 0.0 11.1

- ・ 男女別にみると、『そう思う(計)』の割合は、女性(62.8%)の方が男性(57.3%)より5.5ポイント高くなっている。
- ・ 年齢別にみると、『そう思う(計)』の割合は、男性では $18\sim19$ 歳、 $45\sim54$ 歳、65 歳以上で男性全体を上回っている。女性では $18\sim34$ 歳、 $45\sim49$ 歳、 $60\sim64$ 歳、70 歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-107 性年齢別公共交通による移動の利便性

<男性> (%)

く 男性 /							(%)
	n	そう思う			どちらかといえ ばそう思わない		わからない
全体	608	20. 1	37. 2	13. 2	14. 1	13. 5	2.0
18~19歳	14	42. 9	28. 6	14. 3	7. 1	7. 1	0.0
20~24歳	13	23. 1	23. 1	7. 7	23. 1	23. 1	0.0
25~29歳	29	24. 1	24. 1	6. 9	24. 1	20. 7	0.0
30~34歳	28	21. 4	35. 7	17. 9	7. 1	10. 7	7. 1
35~39歳	47	8. 5	42. 6	12. 8	17. 0	17. 0	2. 1
40~44歳	63	15. 9	30. 2	12. 7	20. 6	19. 0	1.6
45~49歳	70	22. 9	40.0	7. 1	14. 3	15. 7	0.0
50~54歳	49	18. 4	42. 9	8. 2	12. 2	16. 3	2.0
55~59歳	60	13. 3	41.7	11. 7	16. 7	16. 7	0.0
60~64歳	52	11.5	44. 2	11. 5	19. 2	9. 6	3.8
65~69歳	43	23. 3	37. 2	14. 0	9. 3	14. 0	2. 3
70~74歳	59	22. 0	39.0	22. 0	11.9	5. 1	0.0
75歳以上	80	30.0	33. 8	17. 5	6. 3	7. 5	5. 0
年齢不詳	1	0.0	0.0	100. 0	0.0	0.0	0.0

_<女性> (%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	786	21.6	41.2	11.5	12. 6	10.8	2. 3
18~19歳	12	33. 3	41.7	16. 7	8. 3	0.0	0.0
20~24歳	28	32. 1	32. 1	10. 7	17. 9	7. 1	0.0
25~29歳	41	41.5	36. 6	2. 4	9.8	7. 3	2. 4
30~34歳	55	32. 7	32. 7	10. 9	10. 9	12. 7	0.0
35~39歳	58	8. 6	51.7	6. 9	19.0	10. 3	3. 4
40~44歳	85	18. 8	42. 4	10. 6	17. 6	9. 4	1.2
45~49歳	103	18. 4	45. 6	8. 7	13. 6	12. 6	1.0
50~54歳	74	13. 5	41.9	9. 5	18. 9	16. 2	0.0
55~59歳	66	15. 2	40. 9	9. 1	15. 2	16. 7	3.0
60~64歳	56	14. 3	51.8	16. 1	7. 1	10. 7	0.0
65~69歳	50	14. 0	40.0	18. 0	8. 0	14. 0	6.0
70~74歳	67	35. 8	29. 9	16. 4	7. 5	6. 0	4. 5
75歳以上	91	25. 3	40. 7	15. 4	6. 6	6. 6	5. 5
年齡不詳	0	-	_	_	_	_	_

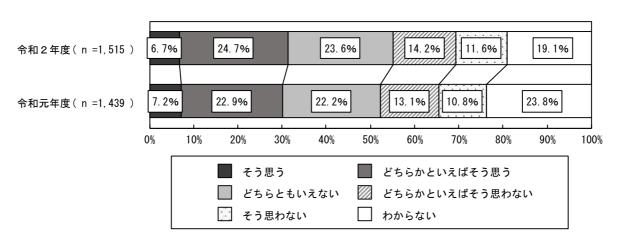
【災害に強い都市の形成】

問35 江東区は、災害に強いまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び○印を おつけください。(○は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「どちらかといえばそう思う」が 24.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(23.6%)となっている。
- 「そう思う」(6.7%)と「どちらかといえばそう思う」(24.7%)を合わせた『そう思う(計)』が31.4%となっている。
- · 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-108 災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合



① 地区別

・ 地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(35.9%)、豊洲地区(41.3%)、大島地区(32.2%)、南砂地区(32.1%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-109 地区別災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合

(%) どちらかといえ どちらともいえ どちらかといえ そう思わない n そう思う わからない ばそう思う ばそう思わない ない 1, 515 6. 7 24. 7 23. 6 14. 2 11.6 19.1 全体 白河 131 6.9 29.0 18.3 13.7 13.0 19.1 117 16. 2 11. 1 24.8 小松橋 4.3 21.4 22. 2 119 6.7 16.0 9. 2 15.1 富岡 23.5 29. 4 23.4 東陽 111 7. 2 21.6 32. 4 9.9 5.4 豊洲 334 8. 1 33. 2 19.8 12.3 9.0 17.7 164 3.0 20.7 20. 7 17. 1 21.3 17.1 亀戸 13. 2 大島 174 8.6 23.6 24. 7 12. 1 17.8 砂町 228 6. 1 17. 1 28. 5 16. 2 10. 1 21.9 128 6.3 25.8 21.9 14.8 13.3 18.0 南砂 居住地区不詳 9 33.3 11.1 11.1 22. 2 11.1 11.1

- ・ 男女別にみると、『そう思う(計)』の割合は、男性(32.6%)の方が女性(29.1%)より3.5ポイント高くなっている。
- ・ 年齢別にみると、『そう思う(計)』の割合は、男性では18~24歳、60歳以上で男性全体を上回っている。女性では45~49歳、55歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-110 性年齢別災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合

<男性>							(%)
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	606	7. 4	25. 2	24. 4	15.0	13. 7	14. 2
18~19歳	14	7. 1	50.0	7. 1	7. 1	28. 6	0.0
20~24歳	13	15. 4	23. 1	23. 1	23. 1	15. 4	0.0
25~29歳	29	10. 3	13. 8	17. 2	20. 7	10. 3	27. 6
30~34歳	28	0.0	17. 9	28. 6	21.4	10. 7	21.4
35~39歳	48	4. 2	16. 7	20. 8	12. 5	18.8	27. 1
40~44歳	63	6. 3	22. 2	17. 5	15. 9	19.0	19.0
45~49歳	70	5. 7	22. 9	18. 6	20.0	15. 7	17. 1
50~54歳	49	6. 1	18. 4	32. 7	16.3	10. 2	16.3
55~59歳	60	5. 0	23. 3	30.0	13. 3	13. 3	15.0
60~64歳	52	7. 7	28. 8	26. 9	11.5	13. 5	11.5
65~69歳	42	9. 5	28. 6	23. 8	23. 8	11. 9	2. 4
70~74歳	59	5. 1	37. 3	25. 4	11.9	10. 2	10. 2
75歳以上	78	15. 4	30.8	29. 5	7.7	10. 3	6. 4
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女性>							(%)
	n	そう思う		どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	779	5. 1	24. 0	23. 4	14. 6	9. 9	23.0
18~19歳	11	0.0	0.0	18. 2	18. 2	9. 1	54. 5
20~24歳	28	0.0	25. 0	7. 1	21. 4	10. 7	35. 7
25~29歳	41	7. 3	17. 1	19. 5	19. 5	12. 2	24. 4
30~34歳	54	1. 9	22. 2	18. 5	16. 7	13. 0	27. 8
35~39歳	58	3. 4	22. 4	20. 7	15. 5	6. 9	31.0
40~44歳	84	2. 4	17. 9	26. 2	19.0	10. 7	23. 8
45~49歳	102	2. 0	29. 4	16. 7	16. 7	10.8	24. 5
50~54歳	74	4. 1	23. 0	21. 6	13. 5	14. 9	23. 0
55~59歳	65	9. 2	24. 6	26. 2	15. 4	9. 2	15. 4
60~64歳	56	5. 4	28. 6	21. 4	17. 9	12. 5	14. 3
65~69歳	50	0.0	36. 0	28. 0	10.0	6. 0	20.0
70~74歳	67	14. 9	26. 9	28. 4	9. 0	4. 5	16.4
75歳以上	89	9. 0	20. 2	34. 8	6. 7	7. 9	21.3
年齡不詳	0						

問 36 あなたは、江東区洪水ハザードマップを見たことがありますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」が 62.0%で最も高く、次いで「見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない」(28.2%)となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」が23.4 ポイントと大きく増加している。

62.0% 28. 2% 7. 8% 2. 0% 令和2年度(n=1,523) 4.5% 38.6% 34.1% 22.8% 令和元年度(n=1,447) 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■ 見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している 見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない 見たことはない 図 あることも知らない

図表Ⅳ-111 江東区のハザードマップの認知度

① 地区別

・ 地区別では、「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合は、小松橋地区(62.4%)、 富岡地区(67.5%)、東陽地区(63.1%)、亀戸地区(68.9%)、大島地区(62.3%)、南砂地区 (62.8%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-112 地区別江東区のハザードマップの認知度

					(%)
	n	見たことがあり、自 宅周辺の状況も把握 している	見たことはあるが、 自宅周辺の状況はわ からない	見たことはない	あることも知らない
全体	1, 523	62.0	28. 2	7. 8	2. 0
白河	131	58.8	26. 7	12. 2	2. 3
小松橋	117	62. 4	28. 2	6.8	2. 6
富岡	120	67. 5	25. 8	5. 0	1. 7
東陽	111	63. 1	25. 2	9. 9	1.8
豊洲	335	61.5	26. 6	8. 7	3. 3
亀戸	167	68. 9	25. 7	4. 2	1. 2
大島	175	62. 3	29. 7	7. 4	0. 6
砂町	228	54. 4	34. 6	9. 2	1.8
南砂	129	62.8	29. 5	6. 2	1. 6
居住地区不詳	10	80.0	20.0	0.0	0.0

<男性>

55~59歳

60~64歳

65~69歳

70~74歳

75歳以上

年齢不詳

60

52

43

59

78

1

- ・ 男女別にみると、「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合は、男性(65.2%) の方が女性(60.1%)より5.1ポイント高くなっている。
- ・ 年齢別にみると、「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合は、男性では35~59 歳で男性全体を上回っている。女性では30~64歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-113 性年齢別江東区のハザードマップの認知度

(%)

1.7

0.0

2. 3

1.7

1.3

0.0

見たことがあり、自 見たことはあるが、 宅周辺の状況も把握 自宅周辺の状況はわ 見たことはない あることも知らない している からない 607 全体 65. 2 26. 7 6. 1 2. 0 18~19歳 14 42.9 42.9 14. 3 0.0 20~24歳 13 30.8 30.8 0.0 38. 5 25~29歳 29 55. 2 31.0 13.8 0.0 30~34歳 28 53.6 25. 0 14.3 7. 1 35~39歳 48 77.1 18.8 4. 2 0.0 40~44歳 63 79.4 15.9 3. 2 1.6 70 2. 9 72.9 18.6 5. 7 45~49歳 50~54歳 49 73.5 14.3 6. 1 6. 1

18.3

44. 2

32.6

37. 3

33.3

0.0

1.7

1.9

4. 7

5. 1

6.4

0.0

78.3

53. 8 60. 5

55.9

59.0

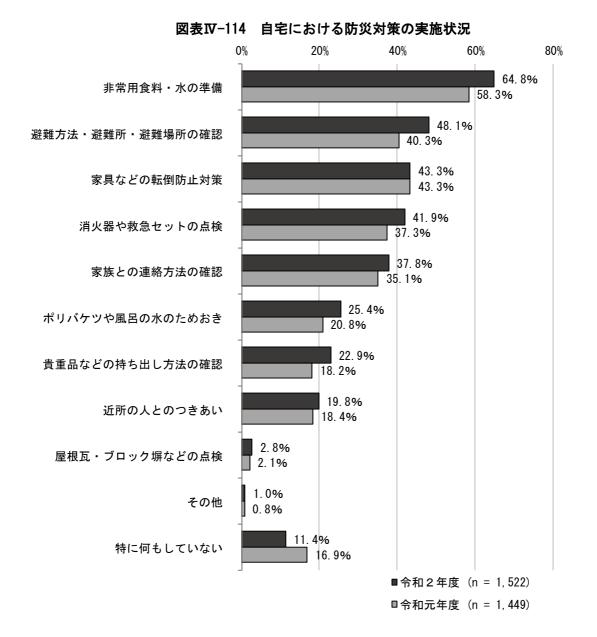
100.0

	n	見たことがあり、自 宅周辺の状況も把握 している	見たことはあるが、 自宅周辺の状況はわ からない	見たことはない	あることも知らない
全体	784	60. 1	29. 8	8. 0	2. 0
18~19歳	11	36.4	45. 5	9. 1	9. 1
20~24歳	27	37.0	40. 7	18. 5	3. 7
25~29歳	41	51.2	36. 6	9.8	2. 4
30~34歳	55	65. 5	23. 6	7. 3	3. 6
35~39歳	58	79. 3	17. 2	1.7	1. 7
40~44歳	85	61.2	32. 9	4. 7	1. 2
45~49歳	103	69.9	23. 3	6.8	0.0
50~54歳	74	63.5	25. 7	10. 8	0.0
55~59歳	66	68. 2	27. 3	3. 0	1. 5
60~64歳	56	64. 3	28. 6	5. 4	1.8
65~69歳	50	54.0	32.0	12. 0	2. 0
70~74歳	68	52. 9	36.8	10. 3	0.0
75歳以上	90	43. 3	37. 8	12. 2	6. 7
年齡不詳	0	-		_	

【地域防災力の強化】

問37 あなたの家庭では、以下のような防災対策を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

- ・ 「非常用食料・水の準備」が 64.8%で最も高く、次いで「避難方法・避難所・避難場所の確認」(48.1%) となっている。
- ・ 前回調査と比較すると、いずれの項目も増加傾向にあり、「避難方法・避難所・避難場所の確認」が 7.8 ポイント、「非常用食料・水の準備」が 6.5 ポイントと大きく増加している。また、「特に何もしていない」が 5.5 ポイント減少している。



101

① 地区別

・ すべての地区で1位は「非常用食料・水の準備」となっている。2位は、白河地区、小松橋地区、 富岡地区、東陽地区、大島地区、南砂地区では「避難方法・避難所・避難場所の確認」、豊洲地区、 亀戸地区では「消火器や救急セットの点検」、砂町地区では「家具などの転倒防止対策」となって いる。

図表Ⅳ-115 地区別自宅における防災対策の実施状況

(%)

												(%)
	n	家具など の転倒防 止対策	屋根瓦・ ブロック 塀などの 点検	消火器や 救急セッ トの点検	非常用食料・水の準備	避難方 法・避難 所・避難 場所の確 認	貴重品な どの持ち 出し方法 の確認	家族との 連絡方法 の確認	ポリバケ ツや風呂 の水のた めおき	近所の人 とのつき あい	その他	特に何も していな い
全体	1, 522	43. 3	2. 8	41. 9	64. 8	48. 1	22. 9	37. 8	25. 4	19. 8	1.0	11.4
白河	131	35. 9	3. 8	34. 4	61.8	46. 6	24. 4	38. 9	22. 9	16. 0	0.0	9. 9
小松橋	117	39. 3	3. 4	37. 6	64. 1	45. 3	21.4	41.9	23. 1	25. 6	1.7	14. 5
富岡	120	45. 0	4. 2	39. 2	76. 7	54. 2	27. 5	38. 3	22. 5	22. 5	1. 7	7. 5
東陽	111	45. 0	1.8	39. 6	73. 0	61.3	18.0	33. 3	27. 9	17. 1	1.8	9. 0
豊洲	336	45. 5	0. 3	54. 8	70. 5	50. 3	23. 5	39. 6	21. 1	17. 3	0. 9	8. 3
亀戸	165	46. 1	4. 8	47. 3	67. 3	46. 7	24. 8	35. 2	26. 7	18. 2	0.6	12. 1
大島	175	41. 1	2. 3	36. 0	57. 7	46. 3	19.4	38. 9	28. 0	20. 0	1. 7	13. 1
砂町	229	42. 4	3. 9	34. 5	57. 2	39. 7	22. 3	36. 2	27. 9	21. 0	0. 9	15. 7
南砂	129	45. 7	3. 1	38. 8	55. 0	48. 1	23. 3	35. 7	28. 7	24. 0	0.0	12. 4
居住地区不詳	9	55. 6	0.0	44. 4	66. 7	55. 6	44. 4	44. 4	66.7	33. 3	0.0	11. 1

年齢不詳

100.0

- 男女別にみると、男女ともに1位が「非常用食料・水の準備」、2位が「避難方法・避難所・避難 場所の確認」となっている。
- 年齢別にみると、男性では 18~64 歳、70~74 歳の 1 位が「非常用食料・水の準備」、65~69 歳、 75 歳以上の 1 位が「避難方法・避難所・避難場所の確認」となっている。60~64 歳では「避難方 法・避難所・避難場所の確認」が同率1位となっている。女性では18歳以上の全ての年齢で1位 が「非常用食料・水の準備」となっている。20~24歳では「消火器や救急セットの点検」が同率1 位となっている。

図表Ⅳ-116 性年齢別自宅における防災対策の実施状況

<男性>	<男性> (%)											
	n	家具など の転倒防 止対策	屋根瓦・ ブロック 塀などの 点検	救急セッ	非常用食料・水の 準備	避難方 法・避難 所・避難 場所の確 認	貴重品な どの持ち 出し方法 の確認	家族との 連絡方法 の確認	ポリバケ ツや風呂 の水のた めおき	近所の人 とのつき あい	その他	特に何も していな い
全体	606	42. 4	3. 3	40. 4	61. 2	47. 4	21. 9	39. 1	20. 3	19. 6	0.8	12. 4
18~19歳	14	64. 3	7. 1	35. 7	71. 4	57. 1	28. 6	35. 7	7. 1	14. 3	0.0	14. 3
20~24歳	13	46. 2	0.0	38. 5	69. 2	30.8	0.0	61.5	0.0	7.7	0.0	15. 4
25~29歳	29	37. 9	3. 4	20. 7	58. 6	41.4	17. 2	41.4	0.0	10.3	0.0	17. 2
30~34歳	28	21.4	0.0	32. 1	60. 7	14. 3	7. 1	21.4	3. 6	14. 3	0.0	25. 0
35~39歳	48	29. 2	0.0	25. 0	54. 2	39. 6	14. 6	43. 8	14. 6	12. 5	4. 2	14. 6
40~44歳	63	38. 1	1.6	46. 0	68. 3	42. 9	11.1	28. 6	7. 9	11. 1	0.0	12. 7
45~49歳	70	35. 7	1.4	35. 7	58. 6	48. 6	17. 1	47. 1	20.0	21.4	2. 9	5. 7
50~54歳	49	36. 7	2. 0	46. 9	71. 4	53. 1	14. 3	38. 8	20. 4	20. 4	0.0	14. 3
55~59歳	60	50.0	3. 3	45. 0	63. 3	43. 3	25. 0	43. 3	25. 0	21. 7	0.0	15. 0
60~64歳	52	26. 9	0.0	36. 5	48. 1	48. 1	15. 4	32. 7	15. 4	13. 5	1.9	13. 5
65~69歳	43	60.5	9. 3	53. 5	65. 1	69.8	32. 6	44. 2	37. 2	30. 2	0.0	4. 7
70~74歳	59	47. 5	8. 5	39. 0	61. 0	39. 0	30. 5	28. 8	33. 9	22. 0	0.0	11. 9
75歳以上	77	58. 4	5. 2	49. 4	58. 4	62. 3	42. 9	46.8	32. 5	32. 5	0.0	10. 4

0.0 100.0 100.0 100.0

100.0

0. 0 100. 0

0.0

0.0

0.0

<女性>												(%)
	n	家具など の転倒防 止対策	屋根瓦・ ブロック 塀などの 点検	消火器や 救急セッ トの点検	非常用食 料・水の 準備	避難方 法・避難 所・避難 場所の確 認	貴重品な どの持ち 出し方法 の確認	家族との 連絡方法 の確認	ポリバケ ツや風呂 の水のた めおき	近所の人 とのつき あい	その他	特に何も していな い
全体	784	42. 7	2. 2	43. 4	68. 4	48. 1	22. 6	36. 6	27. 0	18. 2	0.8	11. 2
18~19歳	12	41.7	0.0	41.7	75. 0	50.0	0.0	50.0	16. 7	0.0	0.0	0.0
20~24歳	28	25. 0	0.0	53. 6	53. 6	46. 4	25. 0	39. 3	17. 9	14. 3	0.0	10. 7
25~29歳	41	17. 1	0.0	22. 0	46. 3	36. 6	14. 6	31. 7	7. 3	4. 9	0.0	31. 7
30~34歳	55	20.0	0.0	30. 9	72. 7	38. 2	16.4	29. 1	16.4	14. 5	0.0	14. 5
35~39歳	56	35. 7	0.0	37. 5	73. 2	48. 2	25. 0	33. 9	14. 3	14. 3	1.8	12. 5
40~44歳	85	51.8	1. 2	41. 2	75. 3	50.6	17. 6	35. 3	17. 6	5. 9	0.0	9. 4
45~49歳	103	48. 5	1.0	50. 5	68. 9	57. 3	13. 6	43. 7	21.4	15. 5	1.0	7. 8
50~54歳	74	47. 3	2. 7	58. 1	74. 3	58. 1	25. 7	33. 8	33.8	18. 9	1.4	10.8
55~59歳	66	54. 5	6. 1	50.0	66. 7	45. 5	24. 2	33. 3	25. 8	25. 8	3.0	12. 1
60~64歳	56	37. 5	0.0	48. 2	71. 4	46. 4	25. 0	35. 7	41.1	21. 4	0.0	7. 1
65~69歳	50	44. 0	2. 0	40.0	66. 0	46. 0	14. 0	34. 0	24. 0	20.0	0.0	12. 0
70~74歳	68	39.7	2. 9	42. 6	70. 6	50.0	33. 8	41.2	39. 7	29. 4	1.5	5. 9
75歳以上	90	55. 6	6. 7	37. 8	63. 3	41.1	36. 7	38. 9	48. 9	30.0	0.0	12. 2
年齢不詳	0	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

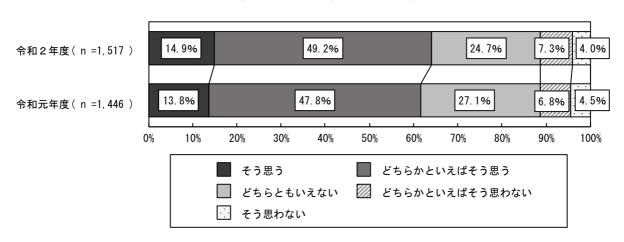
【犯罪のないまちづくり】

問 38 あなたは、江東区内の治安は良いと思いますか。あてはまるものを選び \bigcirc 印をおつけください。 $(\bigcirc$ は1つ)

<全体/経年比較>

- ・ 「どちらかといえばそう思う」が 49.2%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(24.7%)となっている。
- 「そう思う」(14.9%)と「どちらかといえばそう思う」(49.2%)を合わせた『そう思う(計)』が64.1%となっている。
- ・ 前回調査と比較して大きな変化はみられない。

図表Ⅳ-117 江東区の治安の良さ



① 地区別

・ 地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(76.9%)、小松橋地区(66.7%)、富岡地 区(68.4%)、東陽地区(64.8%)、豊洲地区(73.3%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-118 地区別江東区の治安の良さ

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全体	1, 517	14. 9	49. 2	24. 7	7. 3	4. 0
白河	130	20. 0	56. 9	16. 9	3. 1	3. 1
小松橋	117	12. 0	54. 7	22. 2	6.8	4. 3
富岡	120	19. 2	49. 2	21. 7	6. 7	3. 3
東陽	111	16. 2	48. 6	23. 4	6.3	5. 4
豊洲	333	15. 3	58. 0	21. 0	4. 5	1. 2
亀戸	166	10. 2	41. 6	28. 9	12. 0	7. 2
大島	175	13. 7	48. 0	30. 3	5. 7	2. 3
砂町	229	14. 4	37. 6	31. 0	10. 5	6. 6
南砂	128	12. 5	47. 7	24. 2	10. 9	4. 7
居住地区不詳	8	50. 0	25. 0	12. 5	12. 5	0.0

② 性年齢別

- ・ 男女別にみると、『そう思う(計)』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・ 年齢別にみると、『そう思う(計)』の割合は、男性では $20\sim29$ 歳、 $40\sim59$ 歳、 $70\sim74$ 歳で男性 全体を上回っている。女性では $18\sim34$ 歳、 $40\sim49$ 歳、 $55\sim59$ 歳、 $70\sim74$ 歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ-119 性年齢別江東区の治安の良さ

<男性> (%)

1771117						(70)
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらともいえ ない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない
全体	605	15. 7	50. 4	23. 3	6. 6	4. 0
18~19歳	14	14. 3	42. 9	42. 9	0.0	0.0
20~24歳	13	23. 1	46. 2	15. 4	7.7	7.7
25~29歳	29	31. 0	48. 3	3. 4	3. 4	13. 8
30~34歳	28	21. 4	35. 7	28. 6	10. 7	3. 6
35~39歳	48	16. 7	47. 9	20. 8	8.3	6. 3
40~44歳	62	14. 5	53. 2	19. 4	8. 1	4. 8
45~49歳	70	15. 7	60. 0	15. 7	7. 1	1.4
50~54歳	49	16. 3	53. 1	16. 3	10. 2	4. 1
55~59歳	60	6. 7	60. 0	20. 0	8.3	5. 0
60~64歳	52	13. 5	46. 2	28. 8	9. 6	1. 9
65~69歳	43	16. 3	41. 9	34. 9	2. 3	4. 7
70~74歳	59	10. 2	57. 6	27. 1	3. 4	1.7
75歳以上	77	19. 5	41. 6	32. 5	3.9	2. 6
年齡不詳	1	0. 0	100. 0	0.0	0.0	0.0

<女性> (%) どちらかといえ どちらともいえ どちらかといえ そう思わない n そう思う ばそう思う ばそう思わない ない 全体 783 13. 2 49.9 25. 2 7.8 4.0 18~19歳 12 8.3 58. 3 25. 0 8.3 0.0 28 20~24歳 10.7 53.6 28. 6 7. 1 0.0 25~29歳 41 17. 1 58. 5 14.6 4.9 4.9 30~34歳 55 5. 5 16.4 5.5 23.6 49. 1 35~39歳 58 15. 5 46.6 27. 6 8.6 1.7 40~44歳 85 8. 2 57. 6 27. 1 3.5 3.5 45~49歳 102 13.7 51.0 21.6 10.8 2.9 50~54歳 74 4. 1 58. 1 24. 3 9.5 4. 1 55~59歳 66 9. 1 56. 1 25. 8 6. 1 3.0 60~64歳 56 12.5 46. 4 28. 6 7. 1 5.4 65~69歳 50 16.0 40.0 28. 0 16.0 0.0 70~74歳 68 19. 1 44. 1 26. 5 5.9 4.4 75歳以上 88 13.6 38. 6 37. 5 1.1 9.1 0 年齢不詳

江東区長期計画 区民アンケートのお願い

~江東区の取り組みの評価のためのアンケート~

区民の皆様におかれましては、日頃より江東区政にご理解とご協力を賜り、誠にありがと うございます。

さて、江東区では、令和2年度~11年度を計画期間とする、江東区のまちづくりと区政運営の具体的指針となる「江東区長期計画」を令和2年3月に策定いたしました。

計画では、教育や福祉、環境などの各施策における目標の達成度合いを測るための「成果指標」を設定することで、計画の進ちょく状況を数値で把握し、区の現状が目標に向かって進んでいるか、評価を行っています。

本アンケート調査は、区民の皆様の意識や生活実態に基づく成果指標の現状値を把握することを目的に、毎年実施しているものです。

今回、区内にお住まいの満18歳以上の方3,000人を住民基本台帳より無作為に選ばせていただき、送付しております。

お忙しいところ恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、本調査は区が委託した調査機関である株式会社タイム・エージェントの協力により 実施しています。

令和3年1月 江東区

ご記入にあたってのお願い

- 1. 回答は、封筒のあて名のご本人さまにお願いいたします。
- 2. あて名のご本人さまが記入困難な場合、ご家族の方がご本人さまの考えを尊重してご記入ください。
- 3. 選択肢で「その他()」を選ばれた場合には、()内に出来るだけ具体的な内容をご記入ください。
- 4. 回答は、あてはまる答えの番号を1つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがございます。お手数ですが 質問を確認のうえ番号にOをおつけください。
- 5. 質問の中には、Oをつけた番号により、次の質問が問われるものがありますのでご注意ください。
- 6. 回答は無記名でご記入していただき、回答結果は統計的処理を行いますので、<u>回答された方が特定されるようなことは一切ございません。</u>
- 7. 本アンケートに関するご質問、ご意見などがございましたら、下記までお問合せください。

担 当:江東区政策経営部企画課企画担当

住 所: 〒135-8383 江東区東陽四丁目11番28号

電 話:03-3647-9168 FAX:03-3699-8771

Eメール: kikaku@city.koto.lg.jp



江東区観光キャラクター

ご投函期限 令和3年2月5日(金)まで

お手数ですが、ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れてご投函ください (切手不要)。返信用封筒にご住所やお名前を記載する必要はございません。

I. はじめに、あなたご自身についておうかがいします。

F 1 から F 6 まで、それぞれあなたにあてはまる番号に○をつけてください。

F1. 性 別	1. 男 性	2. 女 性 3. その他			
F2. 年 齢	1. 18~19 歳 5. 35~39 歳 9. 55~59 歳 13. 75 歳以上	2. 20~24 歳 3. 25~29 歳 4. 30~34 歳 6. 40~44 歳 7. 45~49 歳 8. 50~54 歳 10. 60~64 歳 11. 65~69 歳 12. 70~74 歳			
F3. ご職業	1. 会社員・団体職員2. 商工自営業3. 公務員4. 会社役員・団体役員5. パート・アルバイト6. 学生7. 無職(専業主婦・主夫含む)8. その他()				
	地区名	該当する町丁名			
	1. 白河	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋			
	2. 小松橋	千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利			
	3. 富岡 佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石 場、越中島				
	4. 東陽	木場、東陽、南砂2丁目(1番1号~5号・5番~7番)、新砂1 丁目1番、海の森			
F4. ご自宅	5. 豊洲 (西)	豊洲、東雲、有明、青海			
(居住地区)	6. 豊洲(東) 塩浜、枝川、辰巳、潮見				
	7. 亀戸				
	8. 大島 大島				
	9. 砂町	北砂、南砂1丁目・5丁目、南砂2丁目(24番~34番)、東砂 1丁目~5丁目			
	10. 南砂	東砂6丁目~8丁目、南砂2丁目(1番1号~5号·5番~7番· 24番~34番を除く)、南砂3・4・6・7丁目、新砂1丁目(1 番を除く)、新砂2・3丁目、新木場、夢の島、若洲			
F5. 世帯の構成	1. ひとり暮らし 2. 夫婦だけ 3. 親と子(2世代) 4. 祖父母と親と子(3世代以上) 5. その他()				
	F5-1 右記に該当 居されている場合に 番号に○をつけて〈	は、あてはまる 2. 家族に 65 歳以上の高齢者かいる			
F6. 住宅の形態	1. 一戸建持ち家 3. 一戸建借家 5. 賃貸アパート 7. 同居・間借り	2. 分譲マンション(公団・公社*含む) 4. 賃貸マンション(公団・公社*含む) 6. 社宅・公務員宿舎・社員寮など ・住み込み 8. その他()			

*公団とは「UR都市機構(旧日本住宅公団、住宅・都市整備公団、都市基盤整備公団)」、公社とは「東京都住宅供給公社」を指します。

Ⅱ. 次に、あなたの身近な生活環境等についておうかがいします。

【みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現】

- 問1 あなたは、江東区内の水辺と緑に満足していますか。あてはまるものを選び〇印をおつけく ださい。(〇は1つ)
 - 1. 満足している
- 2. どちらかといえば満足している

3. どちらともいえない

4. どちらかといえば不満である

5. 不満である

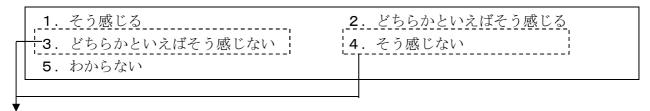
6. わからない

【地球温暖化対策と環境保全】

- 問2 あなたは、以下のような環境に配慮した行動に取り組んでいますか。あてはまるものを選び 〇印をおつけください。(〇はいくつでも)
 - 1. 環境を意識した行動を日常生活の中で行っている
 - 2. 外出時や通勤時になるべく公共交通機関(電車・バス)や自転車を利用している
 - 3. 節電、節水などの省資源・省エネルギーを進めている
 - 4. 電気製品を買う際は、省エネ性を考えて選ぶようにしている
 - 5. 使い捨て製品の使用を避け、繰り返し使用できる製品や詰め替え製品を購入している
 - 6. ネットオークションやリサイクルショップなどを活用している
 - 7. ごみの分別 (燃やすごみ、燃やさないごみ など)をしている
 - 8. びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している
 - 9. 買い物にはマイバッグを持参している
 - 10. 環境問題(地球温暖化や脱プラスチック等)に関心を持ち、日頃からニュース等で情報を得ている
 - 11. 環境を守る地域活動に参加している
 - 12. 特に何もしていない

【みんなで取り組む子育て家庭への支援】

問3 <u>中学生以下のお子さんがいる保護者の方におたずねします。</u> あなたは、地域に見守られて子育てしていると感じますか。あてはまるものを選び〇印をお つけください。(〇は1つ)



問3-1 問3で「<u>3. どちらかといえばそう感じない</u>」「<u>4. そう感じない</u>」を選んだ方におたずねします。

地域に見守られて子育てしていると感じない理由について、自由にご記入ください。

問4 <u>中学生以下のお子さんがいる保護者の方におたずねします。</u> あなたけ、必要な子育で情報を入手しやすいと思いますか。あてけまるも

あなたは、必要な子育て情報を入手しやすいと思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

- 1. そう思う
 2. どちらかといえばそう思う

 3. どちらかといえばそう思わない
 4. そう思わない

 5. わからない
 3. どちらかといえばそう思わない
- 問 4-1 問 4 で $\lceil 3$. どちらかといえばそう思わない」 $\lceil 4$. そう思わない」 を選んだ方におたずねします。

必要な子育て情報を入手しやすいと思わない理由について、自由にご記入ください。

- 問5 こどものしつけと体罰の考え方についてうかがいます。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)
 - 1. しつけであっても体罰はすべきではない
 - 2. しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない
 - 3. しつけのためなら、体罰は必要である
 - 4. わからない

【多様なニーズに応じた教育環境の充実】

問6 江東区では、一人ひとりを大切にした教育が行われていると思いますか。あてはまるものを 選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

1. そう思う

2. どちらかといえばそう思う

3. どちらともいえない

4. どちらかといえばそう思わない

5. そう思わない

6. わからない

【こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり】

問7 あなたは、行政や地域の活動(こども 110 番の家、地域でのパトロールなど)が、こどもたちを犯罪や事故から守る地域環境づくりに役立っていると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

1. そう思う

2. どちらかといえばそう思う

3. どちらともいえない

4. どちらかといえばそう思わない

5. そう思わない

6. わからない

【次代を担う青少年の健全育成の推進】

問8 江東区は、青少年への支援や相談窓口の定着・充実など、青少年が健全に育つ環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

1. そう思う

2. どちらかといえばそう思う

3. どちらともいえない

4. どちらかといえばそう思わない

5. そう思わない

6. わからない

「青少年」とは、中・高生~35歳未満の青年期の者[子供・若者白書(内閣府)]。 なお、事業によっては40歳未満の者。

【魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成】

問9 あなたは、区内の企業やお店が元気に活動していると思いますか。あてはまるものを選びO 印をおつけください。(Oは1つ)

1. そう思う

3. どちらともいえない

5. そう思わない

2. どちらかといえばそう思う

4. どちらかといえばそう思わない

6. わからない

問 10 あなたは、魅力のある商店街やお店が区内にあると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

1. そう思う

3. どちらともいえない

5. そう思わない

2. どちらかといえばそう思う

4. どちらかといえばそう思わない

【人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化】

問 11 町会・自治会、NPO、ボランティアなどが日頃より様々な地域活動を主催しています。この 一年間、あなたはこれらの地域活動に参加したことがありますか。あてはまるものを選び〇 印をおつけください。(○は1つ)

1. よく参加している

2. ときどき参加している

3. 参加したことはあるが、今はほとんど参加していない

4. まったく参加したことはない

問 12 江東区には、気軽に利用できる地域活動施設があると思いますか。あてはまるものを選びO 印をおつけください。(〇は1つ)

1. そう思う

3. どちらともいえない

5. そう思わない

2. どちらかといえばそう思う

4. どちらかといえばそう思わない

6. わからない

【多様性を認め合う(ダイバーシティ)社会の実現】

問 13 江東区は、性別、年齢、国籍、価値観、生き方など様々な違いを認め合い、だれもが尊重され、暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。 (〇は1つ)

1. そう思う

3. どちらともいえない

5. そう思わない

2. どちらかといえばそう思う

4. どちらかといえばそう思わない

6. わからない

問 14 あなたは現在、仕事、家庭生活(家事・子育て・介護・家族との交流)、地域・個人の生活 (地域活動・趣味・学習・休養)を自分が希望するバランスで実現することができていると 思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

1. そう思う

3. どちらともいえない

5. そう思わない

2. どちらかといえばそう思う

4. どちらかといえばそう思わない

6. わからない

問 15 あなたは、「ドメスティックバイオレンス(DV=配偶者等からの暴力)」について相談できる窓口を知っていますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

「1. 知っている」を選んだ方は問 15-1 へ、「2. 知らない」を選んだ方は問 16 へお進みください。

|-----| **1**. 知っている

2. 知らない───問 16 へ

問 15-1 <u>問 15 で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。</u> 相談できると知っていた窓口(機関)を次の中から、あてはまるものを選び〇印をおつ けください。<u>(〇はいくつでも)</u>

- 1. 江東区女性のなやみと DV ホットライン(配偶者暴力相談支援センター)
- 2. 福祉事務所(保護第一課、保護第二課)
- 3. 警察署
- 4. 警視庁総合相談センター
- 5. 東京都女性相談センター
- 6. 東京ウィメンズプラザ
- 7. その他(具体的に:

【生涯にわたり学習できる環境の充実】

問 16 あなたは、以下のような学習講座や地域の集まりなどに参加していますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

【学習講座や地域の集まりの例】

- ①趣味(茶道・生け花・囲碁・将棋など)、②教養(英会話など)、③芸術、④文化、⑤教室 (料理など)
- 1. よく参加している
- 2. ときどき参加している
- 3. 参加したことはあるが、今はほとんど参加していない
- 4. まったく参加したことはない

問 17 あなたは、図書館が学びの場として役に立っていると感じていますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

1. そう感じる

2. どちらかといえば感じる

3. どちらかといえば感じない

4. そう感じない

5. わからない

【スポーツを楽しめる環境の充実】

問 18 あなたは、週にどれくらいの頻度でスポーツ・運動を行っていますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

1. 週1日

2. 週2日

3. 週3日以上週6日以下

4. 毎日

5. しない

「スポーツ・運動」には、散歩や体操などの体を動かすことを意識して行う運動も含む。

【文化・歴史の継承と観光振興】

問 19 あなたは、江東区内に魅力的な文化観光資源があると思いますか。あてはまるものを選び〇 印をおつけください。(〇は1つ)

問 19-1 <u>問 19 で「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」を選んだ方におたずねしま</u>す。

あなたにとって魅力的だと思う観光資源を次の中から、あてはまるものを選び〇印をつけてください。(〇はいくつでも)

- 1. 神社仏閣·文化財·史跡
- 2. 郷土料理 (深川めし) やご当地グルメなどの食文化
- 3. 江戸切子、木場の角乗などの伝統工芸・民俗芸能
- 4. 祭り・イベント
- 5. 大江戸温泉物語、パレットタウン、キッザニア東京などの娯楽施設
- 6. 東京都現代美術館、日本科学未来館、深川江戸資料館などの美術館・科学館・博物館・ 資料館
- 7. オリンピック・パラリンピック開催競技場などのスポーツ施設
- 8. キャンプ・バーベキューなどアウトドアが体験できる公園・施設
- 9. 河川運河、東京湾、遊歩道、親水公園などの水辺環境
- 10. ゲートブリッジ、永代橋、夢の大橋などの橋
- 11. 豊洲市場及び関連施設
- 12. その他(具体的に:

)

【切れ目のない支援による母子保健の充実】

問 20 中学生以下のお子さんがいる保護者の方におたずねします。

江東区は健診、相談支援、産前・産後支援等の母子保健サービスが充実していると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

1. そう思う

2. どちらかといえばそう思う

3. どちらともいえない

4. どちらかといえばそう思わない

5. そう思わない

6. わからない

【健康づくりの推進と保健・医療体制の充実】

問 21 あなたは、ご自身が健康であると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。 (〇は1つ)

1. そう思う

2. どちらかといえばそう思う

3. どちらともいえない

4. どちらかといえばそう思わない

)

5. そう思わない

6. わからない

問 22 あなたは、この 1 年間で何らかのがん検診を受けましたか。あてはまるものを選び〇印をおっけください。(〇はいくつでも)

1. 区のがん検診

2. 職場のがん検診

3. 人間ドックなどのがん検診

4. その他 (具体的に:

5. がん検診は受けていない

問 23 あなたは、①かかりつけ医・②かかりつけ歯科医・③かかりつけ薬局をもっていますか。それぞれについて、あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つずつ)

①かかりつけ医	1. もっている	2. もっていない
②かかりつけ歯科医	1. もっている	2. もっていない
③かかりつけ薬局	1. もっている	2. もっていない

【感染症対策と生活衛生の確保】

問24 あなたは、感染症予防のために、「①手洗い」「②咳エチケット」を励行していますか。それぞれについて、あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つずつ)

※咳エチケットとは:咳やくしゃみをするときにマスクをつけたり、ティッシュで口と鼻を 覆う等、周りの人に感染させないように配慮すること

①手洗い	1 . 行っている	2. 行っていない
②咳エチケット	1 . 行っている	2. 行っていない

【高齢者支援と活躍の推進】

問 25 65歳以上の方におたずねします。

あなたは、現在生きがいや幸せを感じる生活を送ることができていると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

- 1. そう思う
- 3. どちらともいえない
- 5. そう思わない

- 2. どちらかといえばそう思う
- 4. どちらかといえばそう思わない
- 6. わからない

問 26 65歳以上の方におたずねします。

あなたは、ボランティアなどの地域活動や就労を行っていますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇はいくつでも)

「2. 地域活動をしている」を選んだ方は問 26-1 へ「3. 何もしていない」を選んだ方は 問 26-2 へお進みください。

- 1. 就労をしている
- 2. 地域活動をしている
- 3. 何もしていない
- 問 26-1 <u>問 26 で「2. 地域活動をしている」を選んだ方におたずねします。</u> 具体的な活動内容について、あてはまるものを選び〇印をおつけください。 (〇はいくつでも)
 - 1. ボランティア活動

2. 町会·自治会活動

3. 老人クラブ

4. 趣味の活動

- 5. その他の活動
- --->問 26-2 問 26 で「3.何もしていない」を選んだ方におたずねします。 地域活動や就労を行っていない理由について、あてはまるものを選び〇印をおつけく ださい。(○は1つ)
 - 1. 関心がない
 - 2. 関心はあるがどのような活動先や勤め先があるかわからない
 - 3. ひとりでは地域活動や勤めることが不安
 - 4. 参加したい活動先や勤め先はあるが通いづらい
 - 5. 家族や健康上の理由から活動や就労ができない
 - 6. その他()

問 27 地域包括支援センター(長寿サポートセンター)では、保健師(看護師)、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職が互いに連携しながら高齢者の方が住み慣れた地域で暮らしていけるよう支援しています。あなたは、その活動内容を知っていますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

1. 内容を知っている

2. ある程度の内容は知っている

3. 内容は知らないが、聞いたことはある

4. 知らない

【障害者支援と共生社会の実現】

問 28 江東区は、障害者が地域活動やスポーツ、趣味、イベント等の社会活動に参加しやすい環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

1. そう思う

どちらかといえばそう思う

3. どちらともいえない

4. どちらかといえばそう思わない

5. そう思わない

6. わからない

)

【地域福祉と生活支援の充実】

問 29 日々の暮らしの中で、悩みや困りごとなど、生活の相談をすることが出来る相手があなたの 身近にいますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

問 $\underline{^{29}-1}$ <u>問 $\underline{^{29}}$ で「1. いる」と答えた方におたずねします。</u>相談する相手は、どのような方ですか。 $\underline{^{(O)}}$ (Oはいくつでも)

- 1. 同居している家族
- 2. 親族
- 3. 友人
- 4. 区役所や施設など相談機関の職員
- 5. その他(

ずわします あかたが相談相手がいかいと感

ⁱ-▶問 29-2 <u>問 29 で「2.いない」と答えた方におたずねします。</u>あなたが相談相手がいないと感じている理由について、<u>最も</u>あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

- 1. 悩みや困りごとを他人に話したくないから
- 2. 相談すると相手の負担になるから
- 3. 誰に相談すればいいかわからないから
- 4. 相談するまでの悩みや困りごとがないから
- 5. その他 ()

【計画的なまちづくりの推進】

問30 江東区は、地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

1. そう思う

3. どちらともいえない

5. そう思わない

2. どちらかといえばそう思う

4. どちらかといえばそう思わない

6. わからない

問31 あなたは、江東区のまち並みについて美しいと思いますか。あてはまるものを選び〇印をおっけください。(Oは1つ)

1. そう思う

3. どちらともいえない

5. そう思わない

2. どちらかといえばそう思う

4. どちらかといえばそう思わない

問 32 あなたは、「ユニバーサルデザイン」について知っていますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

1. 内容を知っている

2. 内容は知らないが、聞いたことがある

3. わからない

「ユニバーサルデザイン」とは、万人のための設計思想であり、年齢、性別、国籍、個人 の能力に関わらず、できるだけ多くの人が自立して安全、快適、安心に暮らせる生活環境 をデザインすること。

【良好な住宅の形成と住環境の向上】

問33 あなたは、今お住まいの周辺の環境について満足していますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

1. 満足している

3. どちらともいえない

5. 不満である

- 2. どちらかといえば満足している
- 4. どちらかといえば不満である

【便利で安全な道路・交通ネットワークの整備】

問34 あなたは、江東区内を便利で快適に移動できると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)

1. そう思う

3. どちらともいえない

5. そう思わない

- 2. どちらかといえばそう思う
- 4. どちらかといえばそう思わない

6. わからない

【災害に強い都市の形成】

- 問 35 江東区は、災害に強いまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)
 - 1. そう思う
 - 3. どちらともいえない
 - 5. そう思わない

- 2. どちらかといえばそう思う
- 4. どちらかといえばそう思わない
- 6. わからない
- 問36 あなたは、江東区洪水ハザードマップを見たことがありますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)
 - 1. 見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している
 - 2. 見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない
 - 3. 見たことはない
 - 4. あることも知らない

【地域防災力の強化】

- 問37 あなたの家庭では、以下のような防災対策を行っていますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇はいくつでも)
 - 1. 家具などの転倒防止対策
 - 3. 消火器や救急セットの点検
 - 5. 避難方法・避難所・避難場所の確認
 - 7. 家族との連絡方法の確認
 - 9. 近所の人とのつきあい
 - 11. 特に何もしていない

- 2. 屋根瓦・ブロック塀などの点検
- 4. 非常用食料・水の準備
- 6. 貴重品などの持ち出し方法の確認
 - 8. ポリバケツや風呂の水のためおき
 - 10. その他(具体的に:

)

【犯罪のないまちづくり】

- 問38 あなたは、江東区内の治安は良いと思いますか。あてはまるものを選び〇印をおつけください。(〇は1つ)
 - 1. そう思う
 - 3. どちらともいえない
 - 5. そう思わない

- 2. どちらかといえばそう思う
- 4. どちらかといえばそう思わない

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。 お手数ですが同封の返信用封筒に入れ、<u>令和3年2月5日(金)</u>までに 投函してください。

ご不明な点がございましたら、お手数ですが下記までご連絡ください。

担 当:江東区政策経営部企画課企画担当

住 所: 〒135-8383 江東区東陽四丁目11番28号

電 話: 03-3647-9168 FAX: 03-3699-8771

Eメール: kikaku@city.koto.lg.jp

令和2年度 江東区長期計画区民アンケート調査報告書

令和3年3月 印刷物登録番号 (2)99号

編集発行 江東区政策経営部企画課

東京都江東区東陽 4 - 1 1 - 2 8 電話 (3 6 4 7) 9 1 1 1 (大代表)